



NEXT21
U-CoRo

OSAKA
CASTLE

UEMACHI HEIGHTS



Community Design

上町台地

つながりのスタイルブック

Style Book

企画 ● U-CoRo プロジェクト・ワーキング

発行 ● 大阪ガス(株) エネルギー・文化研究所 (CEL)



上町台地 つながりのスタイルブック

目次

CONTENTS

はじめに 3

Style
1

上町台地の 時空につながる扉から 4

1. 春・夏・秋・冬 まつりをめぐる 4
2. 子どもと遊びいま・むかしをたずねる 8
3. 緑と鳥 いのちの回廊をたどる 14

Style
2

まちで育む 地野菜とつながり 18

1. なにわ伝統野菜から広がる人の輪 18
2. 玉造黒門越瓜栽培で“ツルつながり” 22

Style
3

日常から減災へ 思いをつなぐ 32

1. 風土特性と災害リスクに思いを馳せる 32
2. 全国の“いのちをまもる智慧”に学ぶ 35
3. 減災ゲームでその日その時に身を置く 38
4. 土の人と風の人ともに歩む減災への道 44

Style
4

“本”でつながる ネットワーク 48

1. 52人の大切な一冊とお気に入りの場所 48

U-CoRo プロジェクトに寄せて
コメント《わたしたちの情報》発信拠点の未来 高田光雄 56

NEXT21/U-CoRo ウィンドウ・エキジビション 01～09 協力者等一覧 56

付録 上町台地等高線図 58 なにわ伝統野菜ミニレシピ集 59



はじめに

近未来の住まいと暮らしを探究する大阪ガス実験集合住宅NEXT21は、大阪の歴史・文化の原点ともいえる上町台地に立地しています。上町台地界限には多くの学校や神社・寺院をはじめ、たくさんの長屋が残るまちやコリアタウンなど、地域資源の魅力的な集積があります。一方で、高齢化や世帯の小規模化、マンション居住者の増加などを背景にした、新たな地域の課題も浮かび上がってきています。

そこで、NEXT21の第3フェーズ（2007年から5年間で予定）に際して、居住実験の一環として、地域資源を活かしながら人々の交流を促し、新たなつながりを紡いでいく試みを始めました。1階に設けた、U-CoRo（ゆーころ＝上町台地コミュニケーション・ルーム）のガラス・ウォールをインターフェイスに、上町台地の時空につながり、出会いを紡ぎ、暮らしを豊かに育む、ウィンドウ展示やワークショップ、交流イベントなどのプログラムを展開しています。

第3フェーズの折り返し点に立ち、第1回目から第9回目までの展示やイベントを通して、地域のみなさまと共有してきた貴重な情報や経験をもとに、上町台地ならではのつながりのスタイルをご紹介します。

この冊子は、U-CoRoプロジェクトをさまざまな形で支えてくださっているみなさまのご理解ご協力によって実現しているものです。みなさまのご厚意に心からお礼申し上げます。

弘本由香里

大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所
U-CoRoプロジェクト・ワーキング

※なお、文中に登場する方々の肩書・所属はそれぞれの展示・イベント時点のものです。



近未来の住まいと暮らしを探究する大阪ガス実験集合住宅NEXT21



NEXT21/U-CoRo ウィンドウ・エキジビション 01～09



NEXT21の1階に
設けたU-CoRo



U-CoRo（ゆーころ）とは、NEXT21の1階「上町台地コミュニケーション・ルーム」の愛称です。この窓をインターフェイスに、上町台地の時空につながり、出会いを紡ぎ、暮らしを育む取り組みを少しずつ重ねていくことができればと願っています。

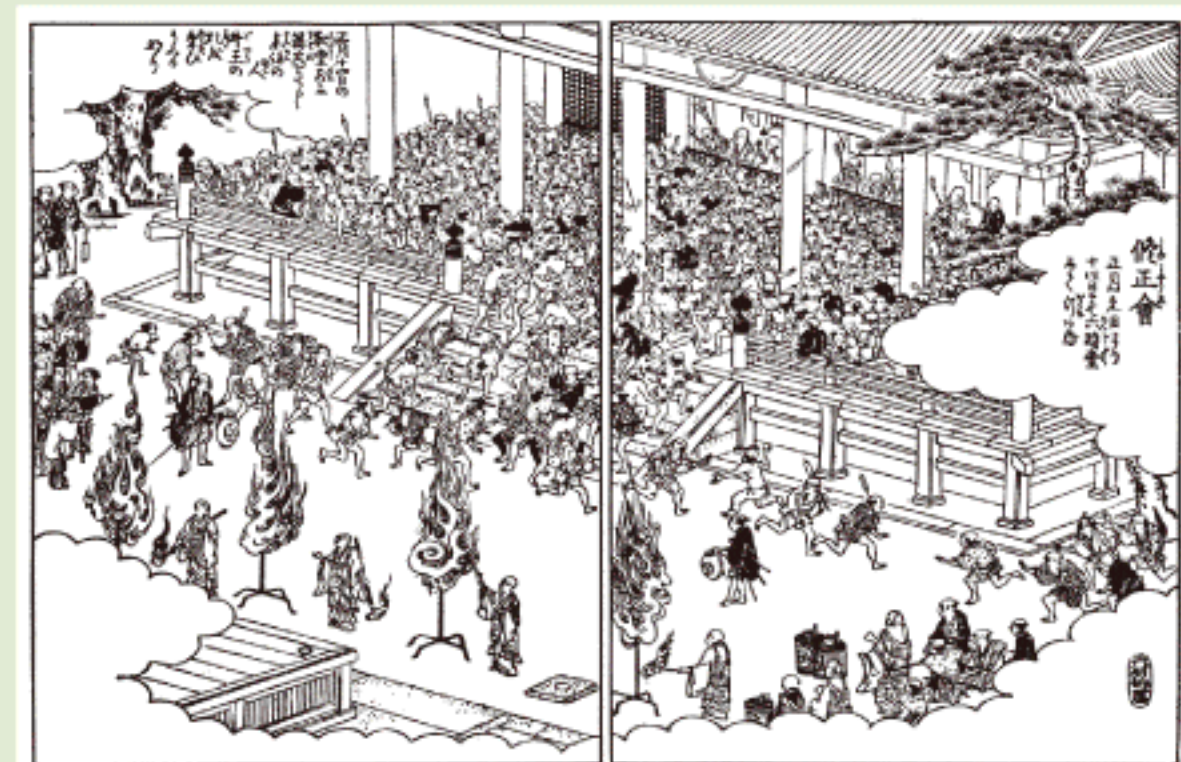
上町台地の 時空につながる 扉から

上町台地の時空につながる第1の扉は「まつり」です。古代の祭礼から現代のフェスティバルまで、人が暮らすまちだからこそ、上町台地には数々のまつりが息づいています。時を越え、この地に刻まれてきた人々の願いにふれる入り口として、絶えることなく繰り広げられるまつりをめぐります(1)。

第2の扉は「子どもと遊び」です。路地や坂道、鎮守の森などの緑や崖地の多い上町台地界隈は、子どもたちにとって格好の遊びの舞台でもありました。子どもたちの創造力を豊かに育む、遊びを介したまちや自然との交界のいま・むかしをたずねます(2)。

第3の扉は「緑と鳥」です。上町台地に点々と連なる緑は、遙か遠い昔から受け継がれてきた、いのちの回廊です。身近なまちの樹木と鳥たちの姿を追って、悠久のいのちのつながりをたどります(3)。

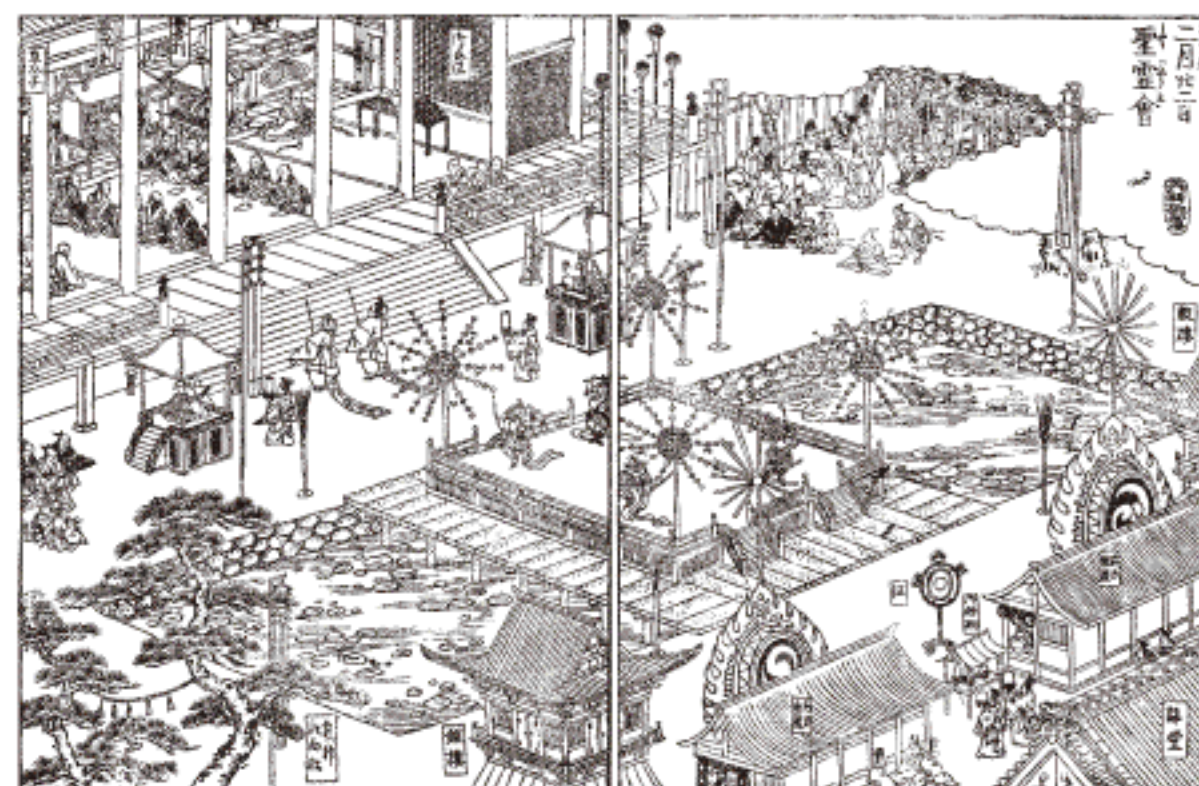
(1)ウィンドウ・エキジション01「上町台地まつり絵巻」(2007年2月5日～4月28日)、(2)ウィンドウ・エキジション02「上町台地 子どもと遊びいま・むかし」(2007年5月14日～8月31日)、(3)ウィンドウ・エキジション04「緑と鳥の回廊、上町台地」(2008年1月21日～5月9日 ※5月16日まで展示延長)をもとに構成。なお、文中の肩書・所属はそれぞれの展示・イベント時点のものです。



四天王寺の「どやどや」(「摂津名所図絵」、江戸時代後期)と厄除けの牛王宝印楊枝(写真)

春・夏・秋・冬 まつりをめぐる

数々の社寺が並び建ち、今も歴史の舞台そのものの姿を宿す上町台地。ここは、浄土信仰の聖地として、あるいは巡礼の道として、古来、多くの人々が行き来した地でもありました。上町台地の祭礼や年中行事、まちの生活文化を紐解いていくと、まつりに刻まれてきた人々の思いや願いの深さに気づかれます。同時にそれは新たなまつりを生み出す、まちのダイナミズムを感じることもつながるものでしょう。



古代から現代まで受け継がれている、四天王寺の「聖霊会」(「摂津名所図絵」、江戸時代後期)

春



◆3月◆	十三まいり(新暦祭)	太平寺
13日	春季彼岸会	四天王寺・一心寺他
18～24日	浄瑠璃社春祭	生國魂神社内
春分の日	祖霊祭	高津宮
◆4月◆	春の植木市	天王寺公園
上旬	なにわ人形芝居フェスティバル	下寺町・道頓堀
〃	三光桜祭	三光神社
〃	高津宮桜祭り	高津宮
〃	高倉社初午大祭	高津宮
2日	なにわの伝統野菜市	玉造稲荷神社
7日	御神楽(人長舞)	生國魂神社
8日	仏誕会	四天王寺他
11日	家造祖神社の例祭	生國魂神社内
13日	十三まいり(旧暦祭)	太平寺
下旬	四天王寺春の大古本祭り	四天王寺境内
22日	聖霊会舞楽大法要	四天王寺
25日	安居神社大祭	安居神社
27日	定例納骨法要	一心寺

◆5月◆	城方向八幡宮の走馬神事	生國魂神社内
5日	幸村祭	安居神社
7日前後の休日		

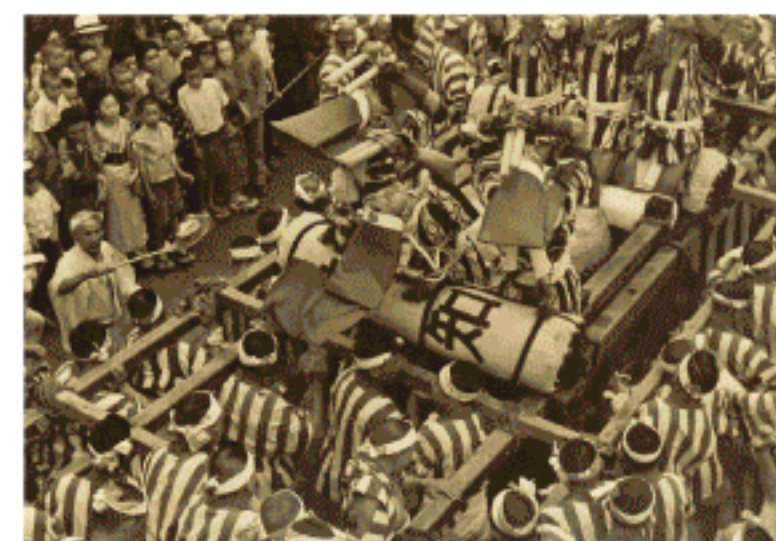
※まつりの日程は年によって変わることがあります。足を運ばれる場合は事前にご確認ください。

四季折々に展開する 上町台地のまつり

愛染まつりの
花かづら



愛染まつり、芸者さんが「宝恵かご」に乗って参詣(1970年代初、提供：愛染堂勝齋院)



昭和初期の生國魂神社夏祭枕太鼓(1936年、提供：生國魂神社)



高津宮の富籤・籤箱



高津宮新年祭神楽(1965年頃、提供：高津宮)

◆6月◆	三光神社の大祭	三光神社
1～7日	比売古曾祭	高津宮
11日	白菊祭	高津宮
15日	道饗祭	生國魂神社
30日	大祓	高津宮・玉造稲荷神社・生國魂神社
〃	愛染まつり	愛染堂勝齋院
30～7月2日		

◆7月◆	いくたま夏祭	生國魂神社
11・12日	堀越神社の夏祭	堀越神社
14・15日	玉造黒門越瓜食味祭	玉造稲荷神社
15日	大江神社の夏祭	大江神社
〃	久保神社の夏祭	久保神社
〃	五條宮の夏祭	五條宮
〃	玉造稲荷神社の夏祭	玉造稲荷神社
17・18日	高津宮の夏祭	高津宮
18・19日	河堀稲生神社の夏季大祭	河堀稲生神社
19・20日	東高津宮の例大祭	東高津宮
中旬	夏祭	御幸森天神宮・弥栄神社
下旬	大阪カルチャーナイトフェスティバル	大阪城公園内
〃	大阪城新能	大阪城西の丸庭園
21・22日	三光神社の夏祭	三光神社

◆8月◆	簀の舞楽	四天王寺
4日	千日詣り	四天王寺
9・10日	盂蘭盆会万灯供養	四天王寺
9～16日	大阪新能	生國魂神社
11・12日	地藏盆	各地の地藏尊
23・24日		



いくたま夏祭の
団扇、手拭、魔除獅子

過去から現在まで、上町台地に息づいてきた
まつりのダイナミズム

古くからの伝統が
受け継がれるとともに、
新しい動きが
生まれています。



からぼりまちアート
(2006年、空堀商店街界隈)



猪飼野保存会だんじり
(2005年、提供：猪飼野保存会)



なにわ人形芝居フェスティバル(写真は2005年、提供：なにわ人形芝居フェスティバル事務局)



年末に出発する伊勢迄歩講
(2001年、提供：玉造稲荷神社)

秋



彦八まつりの手拭、絵馬
猪飼野保存会だんじり
団扇、手拭

◆9月◆	彦八まつり	生國魂神社
上旬	天王寺区民まつり	五条公園
〃	ぜん息・風邪・気管支炎封じ	鎌八幡・圓珠庵
7か8日	秋季彼岸会	四天王寺・一心寺他
20～26日	祖霊祭	高津宮
秋分の日	浄瑠璃社秋祭	生國魂神社内
〃		

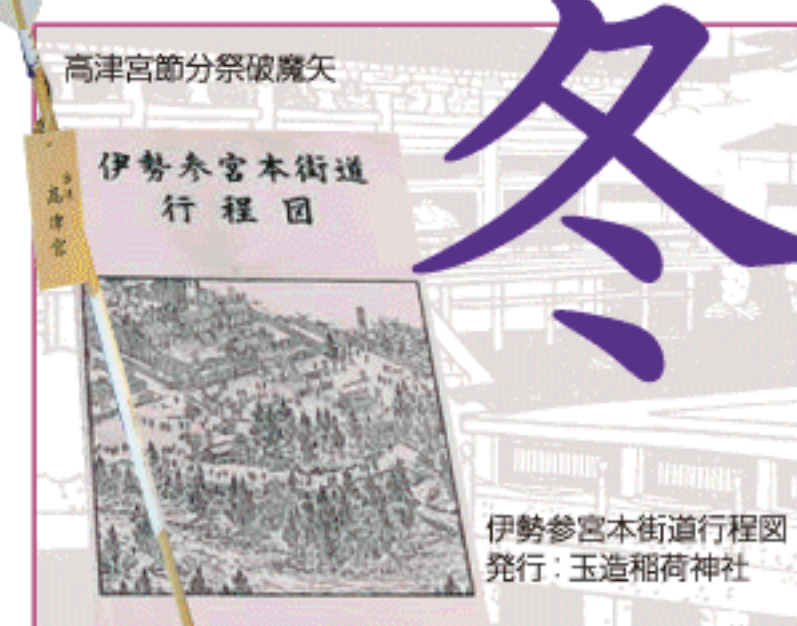
◆10月◆	だんご茶会	玉造稲荷神社
上旬	ピースフル・コンサート	大阪国際平和センター
〃	大阪メチャハッピー祭り	大阪城ホール
〃	子ども太閤行列	玉造稲荷神社
1日	紙衣さんのお衣替え	四天王寺万灯院
10日	べんてんさん青空古本市	四天王寺境内
中旬	中央区民まつり	難波の宮跡公園
〃	秋祭	玉造稲荷神社
15日	秋祭	御幸森天神宮・弥栄神社
15・16日	秋祭併敬老祭	高津宮
18日	大阪城菊の祭典	大阪城本丸内
19～11月	経供養	四天王寺
22日	献茶祭	生國魂神社
28日	からぼりまちアート	空堀界隈
最終土・日	ワンコリア・フェスティバル	大阪城公園内
最終日曜		

◆11月◆	秋の植木市	天王寺公園
上旬	たかきや秋祭り	高津宮
〃	四天王寺ワッソ	難波の宮跡公園
〃	きもの日和	練
1日	高倉社御火焚祭	高津宮
8日	稲荷社の稲祭り	生國魂神社内
中旬	コリアタウン猪飼野まつり	御幸森第二公園
15日	七五三	各神社
23日	新穀感謝祭	高津宮

◆12月◆		
初旬	一万人の第九	大阪城ホール
14日	大阪義士祭典	吉祥寺
21日	しまい大師	四天王寺
23日	天長祭	高津宮
28日	初詣・伊勢迄歩講出発	玉造稲荷神社
29日	もちつき	一心寺
31日	大祓	各神社
〃	除夜の鐘	四天王寺・一心寺他

◆1月◆		
1日	歳旦祭・初詣	各神社
3日	元始祭	高津宮
成人の日	とんど祭	高津宮
9～11日	えべっさん	御幸森天神宮
10日	織田作之助命日	楞嚴寺
13日	城方向八幡宮の御三神事	生國魂神社内
14日	どやどや	四天王寺
15日	とんど	玉造稲荷神社・生國魂神社
15日	トンド・白菊祭	高津宮
21日	初大師	四天王寺
25日	契沖忌	鎌八幡・圓珠庵
新年最初の日と前日	初庚申	四天王寺庚申堂

◆2月◆			
1～3日	風邪除け風天尊祭	清水寺	
3日	節分祈願会	藤次寺	
〃	節分祭 玉造稻荷神社・高津宮・堀越神社・五條宮		
8日	針供養・筆供養	太平寺	
11日	献梅祭	高津宮	
22日	太子二歳まいり	四天王寺	
23日	の祭神事	高津宮	
初午	初午祭	玉造稻荷神社	
大阪城公園観梅		大阪城公園	



高津宮節分祭破魔矢

伊勢参宮本街道
行程図

伊勢参宮本街道行程図
発行：玉造稲荷神社



高津宮のとんど祭、併催の野外コンサートに多数の観客が集まる

上町台地まつりMAP



古代の国際交流を再現する
四天王寺ワッソ
(難波宮跡公園)



地域の地蔵尊が今も大切に
されている上町台地界隈
左上：空堀延命地蔵(谷町7)
右上：日限地蔵尊(谷町6)
左下：地蔵尊(谷町7)
中下：將軍地蔵尊(上本町8)
右下：永泰地蔵尊(釣鐘町2)

“上町台地のまつりを紐解く” スペシャル・トークと交流のタベ

上町台地の歴史・文化に造詣の深いゲストのお話の
後に、歴史ある社寺の方々や新しいイベント等の関係
者が語り合う貴重な時間となりました。



ゲスト：澤井浩一さん(大阪歴史博物館学芸員)
北川 央 さん(大阪城天守閣研究副主幹)
開催日：2007年4月29日 / 会 場：NEXT21 ホール
主 催：大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所 (CEL)

2007.4.29

玉造稲荷神社	
1月 1日	歳旦祭
1月15日	とんど
2月 3日	節分祭・厄除け
2月 初午	初午祭
4月 2日	なにわの伝統野菜市
6月30日	大祓
7月15日	玉造黒門越瓜食味祭
7月15・16日	玉造稲荷神社の夏祭
10月 1日	子ども太閤行列
10月15日	秋祭
10月 上旬	だんご茶会
11月15日	七五三
12月28日	初詣・伊勢巡歩講出発
12月31日	大祓 など

三光神社	
4月 上旬	三光桜祭
8月 1~7日	三光神社の大祭
7月21・22日	三光神社の夏祭 など

東高津宮	
7月19・20日	東高津宮の例大祭 など

楞嚴寺	
1月10日	織田作之助命日 など

御幸森天神宮	
1月8~11日	えべっさん
7月 中旬	夏祭
10月15・16日	秋祭 など

五条公園	
9月 上旬	天王寺区民まつり など

四天王寺	
1月14日	どやどや
1月21日	初大師
2月 3日	初庚申
2月22日	節分まつり
3月18~24日	太子二歳まいり
4月 8日	春季彼岸会
4月22日	仏誕会
4月 下旬	聖霊会舞臺大法要
8月 9・10日	四天王寺の古本祭り
8月 14日	舞の舞臺
8月 20・21日	千日詣り
8月 26・27日	盂蘭盆会万灯供養
9月20~26日	秋季彼岸会
10月10日	紙衣さんのお衣替え
10月 中旬	べんてんさん青空古本市
10月22日	縁結び
12月21日	しまい大師
12月31日	除夜の鐘
毎月21日	大師会
毎月22日	太子会
庚申の日と翌日	庚申まいり など

久保神社	
7月15・16日	久保神社の夏祭 など

河堀稲生神社	
7月18・19日	河堀稲生神社の夏季大祭 など

下寺町・逢阪一帯	
4月 上旬	なにわ人形芝居フェスティバル など

天王寺公園	
4月 上旬	春の椿木市
11月 上旬	秋の椿木市 など

堀越神社	
2月 3日	節分祭
7月14・15日	堀越神社の夏祭 (14日ぶつぎり敷) など

大阪城エリア	
2月	大阪城公園観梅(大阪城公園内)
4月 3日	観桜ナイト(西の丸庭園)
7月 下旬	大阪カルチャーナイト
7月 下旬	フェスティバル(大阪城公園内)
10月 下旬	大阪城新館(西の丸庭園)
10月 下旬	大阪メチャハッピー祭り (大阪城ホール)
10月9日~11月9日	大阪城の祭典(大阪城本丸内)
10月10日	ワンコリア・フェスティバル (大阪城公園内)
12月 初旬	1万人の第九(大阪城ホール) など

大阪国際平和センター	
10月 上旬	ピースフル・コンサート など

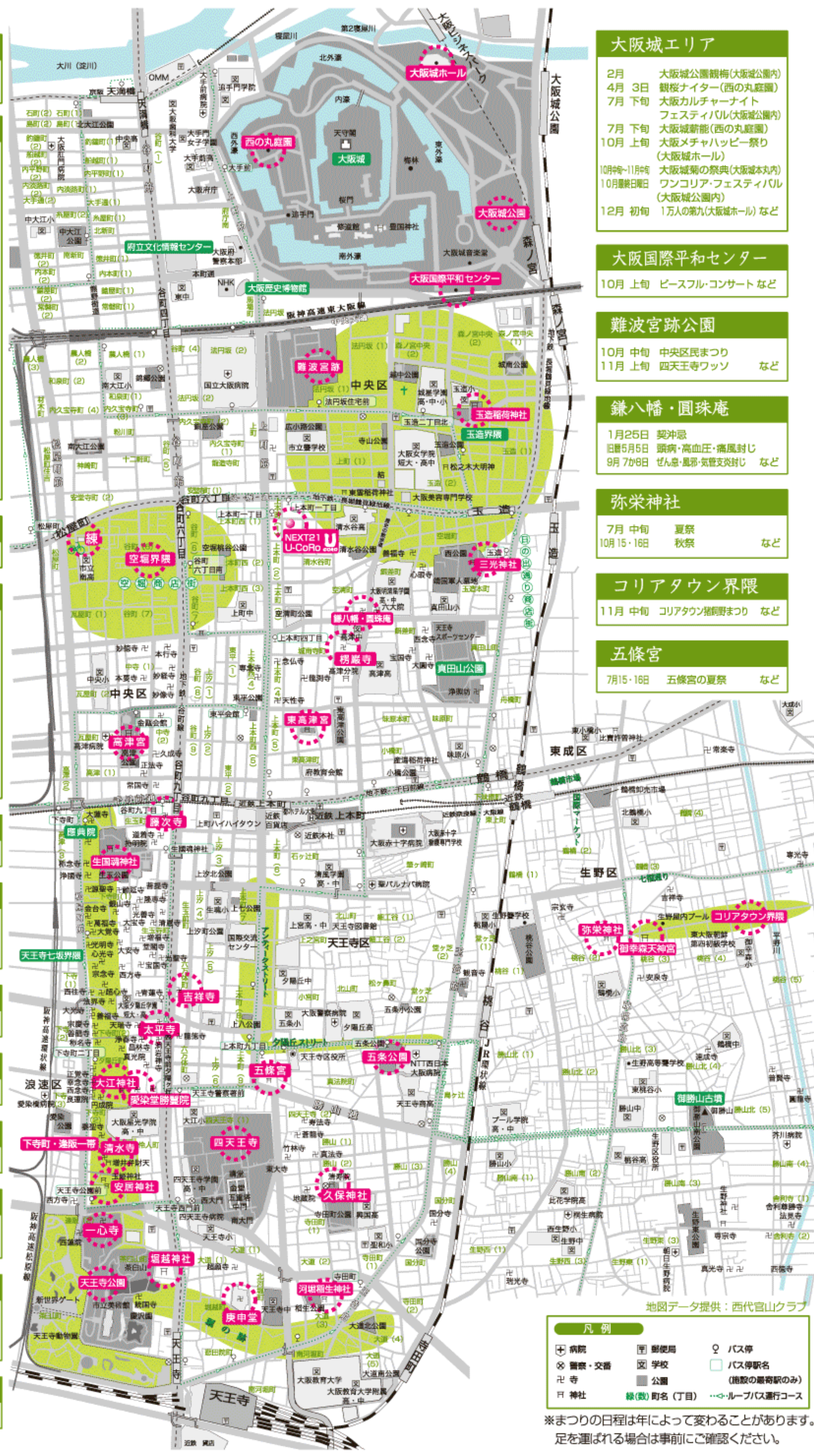
難波宮跡公園	
10月 中旬	中央区民まつり
11月 上旬	四天王寺ワッソ など

鎌八幡・圓珠庵	
1月25日	契沖忌
旧暦5月5日	頭痛・高血圧・痛風封じ
9月 7日	ぜん息・風邪・気管支炎封じ など

弥栄神社	
7月 中旬	夏祭
10月15・16日	秋祭 など

コリアタウン界隈	
11月 中旬	コリアタウン祭りまつり など

五條宮	
7月15・16日	五條宮の夏祭 など



空堀界隈	
10月 観世日記 からほりまちアート	
11月 上旬	きもの日和(練) など

高津宮	
1月 1日	歳旦祭
1月 3日	元始祭
成人の日	とんど祭
1月15日	トンド・白菊祭
2月 3日	節分・厄除け
2月11日	献梅祭
2月23日	的祭神事
春分の日	祖霊祭
4月 上旬	高津宮夜祭り
4月 上旬	高倉社初午大祭
6月11日	比売古曾祭
6月15日	白菊祭
6月30日	大祓
7月17・18日	高津宮の夏祭
秋分の日	祖霊祭
10月18日	秋祭併敬老祭
11月 1日	高倉社御火災祭
11月15日	七五三
11月23日	新穀感謝祭
11月 上旬	たかきや秋祭り
12月23日	天長祭
12月31日	大祓・除夜祭
毎月1・15日	月次祭・湯立て神事
毎月午の日	稲荷神社月次祭
月1・2回	高津の富子 など

藤次寺	
2月 3日	節分餅会 など

生國魂神社	
1月13日	城方向八幡宮の御弓神事
春分の日	浄瑠璃社春祭
4月 7日	御神家(人形舞)
4月11日	家造神社の例祭
5月 5日	城方向八幡宮の走馬神事
6月30日	道楽祭
6月30日	大祓
7月11・12日	いくたま夏祭
8月11・12日	大阪新能
9月 上旬	彦まつり
秋分の日	浄瑠璃社秋祭
10月28日	献茶祭
11月 8日	稲荷社の稲祭り など

吉祥寺	
12月14日	大阪義士祭典 など

太平寺	
2月 8日	針供養・雛供養
3月13日	十三まいり(新嘉祭)
4月13日	十三まいり(旧嘉祭) など

大江神社	
7月15・16日	大江神社の夏祭 など

愛染堂勝鬘院	
6月30日~7月2日	愛染まつり など

清水寺	
2月 1日	風邪除け風天尊祭 など

安居神社	
4月25日	安居神社大祭
5月7日前後の休日	幸村祭 など

一心寺	
4月27日	定例納骨法要
12月29日	もちつき
12月31日	除夜の鐘 など

各地の地蔵尊	
8月23・24日	地蔵盆 など

上町台地を舞台に 多彩なまつりが展開 まつり 絵巻



玉造稲荷神社の夏祭・獅子頭
(昭和初期、玉造稲荷神社蔵)



境内に枕太鼓が響く、いくたま夏祭



大阪の夏祭の始まりを告げる愛染まつり
(提供：愛染堂勝鬘院)



四天王寺骨董市、毎月21日は大師会、22日は太子会

※ご紹介しておりますものは、上町台地界隈で年中行事として親しまれている祭礼やフェスティバルの一部です。ほかにも多くの魅力的な行事が行われています。

2 子どもと遊び いま・むかしをたずねる

上町台地とおもちゃの縁は、遠い昔までさかのぼれます。古くからたくさんの神社やお寺が建ち並ぶ上町台地境界では、信仰にまつわるユニークな郷土玩具がたくさん生み出されていました。今ではすっかり忘れられてしまっているようですが、上町台地は人々に親しまれる大阪の郷土玩具の宝庫であり、故郷でもあったのです。

また、路地や坂道、鎮守の森などの緑や崖地の多い上町台地境界は、子どもたちにとって格好の遊びの舞台でもありました。身近な材料で、競い合って手作りの遊び道具を作り、路地や坂道の魅力を存分に楽しめる遊び方を次々に発明したものです。

子どもたちの創造力は、遊びを介したまちや人や自然との深い交わりの中で、のびのびと豊かに育まれていたのです。今、まちを舞台とした子どもたちの遊びや学びの経験は乏しくなりがちです。けれど、上町台地境界では、懐かしい遊びの文化を掘り起こし、未来につなぐとする取り組みも息づいています。



空堀の路地で遊ぶ子どもたち（昭和20年代後半撮影、からほりまちアート実行委員会編「なつかし写真帖」より）

生玉人形と 郷土玩具



上町台地の周辺では、おがくずを使った練り人形や、商家の反古紙などを利用した張子人形が古くから作られてきました。生玉人形は大阪の代表的な郷土玩具のひとつで、人形芝居の操り人形を模して作られていました。戦前まで、生國魂神社付近で売られていたためにその名がありますが、当時は子どもの玩具としても人気があり、戦前のグリコのおまけ係として知られた故宮本順三さんも、子どもの頃にこの人形にふれて刺激を受けたといっています。

※写真の人形は、富田林市の佐々木義昂氏が再現したもので、三番叟と町人、町娘が復元されています。

上町台地で子ども時代を過ごした、「祖父母世代（昭和前期頃）」、「父母世代（昭和後期頃）」、そして「平成の子どもたち」に聞いた、お気に入りの遊びと遊び場のいくつかをマップで紹介します。

★ 昭和前期遊び場マップ

近世・近代初頭の日本のまちには公園という空間が存在せず、地道だった路地や往来、寺社の境内などが遊び場だったと考えられています。また、まちなかに公園がない分、まちのすぐ外側（概ねJR環状線の外側）には都市住民の憩いの空間でもあった田園景観が広がっていました。

昭和に入った頃、近代的な街並み“大大阪”へのまちづくりが進められ、欧米の都市に倣った大通の整備も行われました。当時は自動車もまだ珍しかったため、松屋町筋などの大通を遊び場にする子どももいました。また、きれいだった川や堀も格好の遊び場でした。

戦時下では、学徒動員や勤労奉仕などで、児童・生徒は遊ぶ間も少なくなっていました。また、父親や兄が徴兵された家では、男の子も女の子も家事や家業の手伝いに、まだ幼くても追われていたようです。

谷町六丁目の路地
紙芝居や盆踊りもあった。

東横堀川
川面の材木やいかだの上で遊んだり、カメやトンボを捕まえた。

上本町西の路地
路地は車も通らず地道の遊び場だった。

松屋町筋
拡幅された道は車も通らないので広い遊び場だった。

高津宮
夏祭りに虫とり、かくれんぼをした。

宝泉寺
夏には菩提寺の境内でセミとりをした。

高津宮東手の谷
谷と崖をのぼりおり、みいさん（ヘビ）が棲んでいるといわれていた。

千日前通
拡幅されたがこども車が多く、安心して遊べた。

地蔵坂
少し広くなった坂道で野球をよくした。

生玉公園
木々も多く起伏もあっていろんな遊びが出来た。

生玉門前の池
生玉さんの門前にあったハス池は男の子達の遊び場。

地道だった戦前の路地や道路

S.Sさん（70代、中央区上本町西3丁目）



上本町西界隈の路地
こんな狭い路地も子どもたちには大切な遊び場だった

昔は道路や路地が一番の遊び場だった。どこも舗装されていない地道だったし、自動車やオートバイも数が少なかったからあまり通らなかったの、安全に遊べた。公園は少なかったけれど、路地はそこらじゅうにあったので、まちの中でも遊び場が少なかったと思ったことはなかった。路地で遊んだり、騒いだりしているとよく怒られたが、それでも遊んでいた。今の子どもたちが路地で遊んでいたら、もっと怒られるかもしれないし、ようばはんかもしれない。

思い出の遊び場
路地・高津宮・生國魂神社・真田山公園・商店街の夜店・東横堀川

思い出の遊び方
ベッタン・ビー玉・鬼ごっこ



きれいだった川や堀も遊び場所、 道具やおもちゃはほとんど手作り

天神橋下のローラースケート場
流行していたローラースケートをはいて松屋町筋を渡ってスケート場まで通った。

Topics
大阪城天守閣の再建
大阪城天守閣は、昭和6年11月に竣工した。全額を市民の寄付金により建設されたもので、上町台地にそびえる偉容は大阪のシンボルとなった。

上町筋
戦前に拡幅された道は車も通らない遊び場。

Topics
昭和6年（1931）

玉造稲荷神社
境内で遊んだ。

陸軍墓地
お墓の間を走り回った。

清水谷公園
遊具などはなかったが、よく遊んだ。

空堀商店街
昔は商店街に夜店が立ち並んでいて楽しかった。

真田山公園
野球など広い場所が必要ときにはこまで出かけた。夏休みにはプールにも通った。

上六公園
戦前はここに公園があった。

上汐町公園
戦前からの公園。土俵があった。

手作り遊び道具
竹馬、輪ゴム鉄砲、竹とんぼ、輪回し、車揚げ…昔は遊び道具も自分たちで作りました。最初はお父さんや年長の子に作ってもらって、そのうちやり方を覚えました。「伍ぱつくり」もそのひとつ。空き缶とヒモがあれば簡単に作れます。空き缶に釘を打ちつけて穴をあけ、ヒモを通すことができたり。缶の側面に2カ所の穴をあけるやり方他に、缶の上面に1つ穴をあけてヒモを通し、下駄の鼻緒のようにして裸足で乗る方法もありました。カバ、カバ、カバと音を鳴らしながら、歩き回って楽しめました。

Topics
松屋町筋の拡幅
昭和13年、松屋町筋の拡幅工事が完成。それ以降、松屋町筋は、菓子、玩具、人形、文具を主とした卸売業が集中する問屋街として発展してきた。

Topics
昭和13年（1938）

Topics
復興大博覧会
戦後の昭和24年、毎日新聞社主催の「復興大博覧会」が夕陽丘一帯で開催された。博覧会の施設は閉館後、府の母子寮や市の文化会館などに転用された。

Topics
昭和24年（1949）

東横堀川でトンボ捕り

岡田さん（70代、中央区谷町6丁目）

東横堀川でもよく遊んだ。戦前は川の水もあまり汚れていなかったうえに、堤防もなく、川岸に降りる階段があったりして、川が子どもの身近にあった。川筋には材木屋がたくさんあったので、川面に丸太やいかだがたくさん浮かんでいて、その上を飛び回って遊んだ。丸太の上で甲羅干しをしている亀を捕まったり、川面を飛びトンボを捕ったりした。水が引くと川岸に浜が現れたが、そこでも水遊びをした。丸太の上や川で遊んでいても怒られることはなかった。



高津道路に覆われた東横堀川
水都時代の子どもの水辺の記憶も多かった

思い出の遊び場
東横堀川・地蔵坂・高津宮・天王寺動物園・生國魂神社・宝泉寺・天神橋下のローラースケート場

思い出の遊び方
メンコ・ビー玉・川遊び・ローラースケート

★昭和後期遊び場マップ

まだ、まちなかの人口が多かった頃、子どもの姿もあちこちで見られたようです。身近な公園も増えてはきましたが、学校の増設が急がれたようです。戦災の焼け跡、廃墟、空き地など、子どもたちは与えられた遊び場ではない場所を“発見”しては遊び場にしていました。

戦災復興の後に訪れた大阪の転換点は1970年(昭和45)の大阪万国博覧会に向けた都市再開発の波でした。1965年(昭和40)以降増大する道路の拡幅や建物の高度化などに伴い、公園や緑地は増えましたが、路地や空き地などそれまでの遊び場は徐々に姿を消していきました。

上町台地の坂を滑り降りるため、板きれにコロを付けたり、虫とり網を作ったり、遊び道具を自分たちで作る時代もありました。一方、ビー玉やメンコなど多様に使えるものから、ボードゲームや着せ替え人形などにオモチャが変化していくのも万博の頃でした。

駄菓子屋さん

かつて地域に軒はあった駄菓子屋さん。子どもたちは学校から帰ると、小銭を握りしめて一目散に走っていきました。安いお菓子やおもちゃを選ぶのに時間をかけ、駄菓子屋さんの周りにみんなで集まったりもしました。親はあまり良くは言わないけれど、とにかく自分で選べる楽しさがあり、少ないお金で何が買えるのかを考えることで、お金の計算も覚えしました。当てものヤクジもあり、ちょっとしたスリルもありました。そんな駄菓子屋さんも、やがて高度成長の波の中で、いつの間にかその姿を消していきました。

子ども連れて行った商店街の夜店

N.Sさん(70代、中央区谷町6丁目)

地蔵盆や盆踊りとともに、確か4と9の付く日に商店街で定期的に開かれていた夜店も子どもたちの夜の楽しみだったように思う。夜なので親と一緒に行かないといけないうえ、夜店の日には子どもたちによく連れて行くようせがまれた。商店街の端から端まで夜店が続いて、子どもたちをはじめ客も多く、夜遅くまでにぎわっていた。子どもたちが大きくなって、連れて行かなくなってからしばらくして、気が付いたら夜店が開かれなくなっていた。



空堀のはいらほり商店街
昭和40年頃までは4と9の日に夜店が連なっていた

思い出の遊び場 路地・商店街の夜店・地蔵盆・盆踊り
思い出の遊び方 石蹴り・かくれんぼ・ドッジボール・紙芝居・ちんどん屋(ついて回る子どもも多かった)

子どもたちの縄張りがあった路地

青山さん(50代、中央区谷町7丁目)

空堀商店街北側に「からほりマーケット」という路地が入り組んだ市場があって、そこが自分たちの縄張りだった。路地ではビー玉やベッタンをしたり、塀や軒に上がった、うどん屋の裏に干してある簾(すだれ)を失敬して、弓矢を作ったりしていた。昭和30年代の路地には大抵5〜6人は子どもがいて、そのまま縄張りになっていた。ビー玉遊びなどでは「外戦(がいせん)」と称して、隣の路地に遠征することもあった。正月には駄菓子屋で買った火薬玉を弾かせる音があちこちから聞こえた。

思い出の遊び場 旧からほりマーケット界隈の路地・高津宮とその周辺・中央シネマ・中寺町の寺の境内
思い出の遊び方 缶蹴り・ビー玉・弓矢づくり・パンパン(火薬玉遊び)・屋台の鮎屋

まちなかの空き地や洞窟、廃墟

N.Kさん(50代、中央区谷町6丁目)



松屋町交差点から東に見た長堀通り
通りの左手に中央シネマや空き地があった

昭和30年代まではまちのあちこちに空き地や崖地の洞窟、廃墟があって、格好の遊び場だった。戦災の跡や移転した工場跡地が空き地になっていて、草野球をよくした。空き地の広さに合わせて三角ベースにするなどルールを変えて遊んでいた。「練」の東側には高射砲陣地の廃墟もあって、探検ごっこやかくれんぼなどをしてた。地下室や洞窟などは暗くてちょっと怖かったが、危ない場所という気持ちはなく、遊び場のひとつだった。

思い出の遊び場 練(病院時代のロビーや地下室)・南大江公園・草野球・釣り・紙芝居
思い出の遊び方 線(病院時代のロビーや地下室)・南大江公園・大阪城公園の堀・中央シネマ(現久宝堂付近)

拡幅前の谷町筋
車が一台やっと通れる幅で、雨むきには路地が広がっていた。

まちなかの空き地
まちのあちこちに空き地があって草野球などが出来た。

中央シネマ
三本立ての格安映画館。

上町中学校校門前
紙芝居が来ていた。

高射砲陣地跡
探検ごっこができた廃墟のひとつ。

高津宮北側の崖地
土山があったり、起伏に富んでいた。

高津宮南側の池
昔は池になっていた、ザリガニを釣ったりしていた。

谷町六丁目の路地
子どもが路地ごとになわばりをもっていた。

上本町西の路地
坂のある路地では板きれにコロをつけて滑り降りていた。

高津宮境内
虫とりやかくれんぼ、木登りをした。夏祭りのときはにぎわった。

谷町筋裏の崖地
家が密集するなかの不思議な空間だった。

生玉公園
ボール遊びや西側の斜面で木登り、かくれんぼ、お化けごっこ。

生玉さん門前の池
ハス池でザリガニ釣りやトンボとりをした。

生國魂神社
夏祭りに親に連れていってもらった。

上汐町公園
遊具のほかに立派な土俵もあった。

Topics

フラフープ大流行

昭和33年にフラフープが登壇。直径約88cmのプラスチック製の輪を腰で回転させる遊びにみんなが熱中した。10月から始まったその流行も年内にあっけなく終焉した。



Topics

市電の廃止とトロリーバス

高度経済成長とともに車の通行量が増え、市電は次第に廃止された。昭和36年に、阿倍野―玉造―上二丁間も廃止。この頃、市電に代わってトロリーバスが運行された。



Topics

昭和36年(1961)



路地裏に坂道、商店街…、子どもにとって、まちは遊び場

大阪城公園の堀
堀の石垣を下まで降りて釣りをしてた。みんなやっていたので怒られなかった。

玉造稲荷神社の境内
草野球や木登り、花摘みで遊んだ。

上町筋と路面電車
広い上町筋の歩道も遊び場だった。路面電車をよく眺めていた。

空堀商店街
4と9が付く日には夜店がにぎやかだった。

長堀通・玉造筋
長堀通から玉造筋にかけてトロリーバスが通っていた。

真田山プール
夏は家族や友だちとよく出かけた。

清水谷公園
草や木がたくさんあった。缶蹴りなどをした。

千日前通の路面電車
お祝い事などの花電車がきれいだった。

通天閣の再建開業
初代の通天閣は昭和18年に鉄材として解体供出され、その後13年間失われたままになっていた。昭和31年10月、2代目の通天閣が建設され再びその姿を現した。

空堀町公園
遊具の少ない公園で、たこあげ、花火、草野球などをした。

桃山病院のスロープと裏の崖地
虫とりや草摘み、かくれんぼ、崖下りで遊んだ。

環境科学研究所の植栽
夏休みのセミとりやかくれんぼ。

筆ヶ崎の坂
台車や三輪車で滑り下り。

府宮藩ヶ崎住宅/市宮小宮住宅
団地のなかの小緑地。小さな場所でも大切な遊び場。

五条公園
遊具や草野球で遊んだ。

細工谷の路地
路地でかけっこ、おにごっこ、草野球、ゴム飛び、空き家(お化け屋敷)の探検も。

寿法寺
境内では夏休みにセミをとった。

細工谷の路地
路地でかけっこ、おにごっこ、草野球、ゴム飛び、空き家(お化け屋敷)の探検も。

いつも子どもが集っていた近所の駄菓子屋

S.Yさん(50代、中央区上本町西3丁目)



旧空堀桃谷小学校校舎の駄菓子屋跡
小学校は公園になり、まちなみも様変わりした

家の前に駄菓子屋があった。大抵のおもちゃや駄菓子はそこで売っているもので事足りていた。夏はかき氷も作って売っていたので、遊びの合間にみんなで食べていた。元旦も開いていたので、お年玉をもらおうとすぐに駄菓子屋に向かっていた。今思えば、家の前が駄菓子屋というのは子どもにとって夢のような環境だった。閉店したのは昭和50年頃だったと思うが、もう大人になっていたので記憶も定かではない。いつの間にか近所の駄菓子屋もなくなっていた。

思い出の遊び場 路地・坂道・空堀町公園・真田山公園のプール・駄菓子屋「ドンタク」・野外映画界
思い出の遊び方 ビー玉・メンコ・ヨーヨー・フラフープ・坂滑り・草野球・風揚げ・紙芝居

上町台地 筆ヶ崎の坂道

H.Tさん(50代、天王寺区東上町)

上町台地には坂が多いが、赤十字病院の南側にある筆ヶ崎の坂道も遊び場だった。坂道では三輪車で駆け下りたり、板きれにコロ(キャスト)を付けて、それに乗って滑り降りる遊びをしていた。板きれはまちのあちこちに落ちていたものを使い、コロは友だちにももらったりしていたように思う。コロの数や板きれの大きさはさまざまで、それぞれに工夫を凝らして作っていた。坂道で遊んでいても、昭和30年代はまだ自動車も少なかったのも、安全に遊べた。



曲線を描く筆ヶ崎の坂道
台地らしい坂道の遊び場も再開発で拡幅された

思い出の遊び場 細工谷の路地・桃山病院裏の崖地・堂ヶ芝の空き地・環境科学研究所の庭・夜店
思い出の遊び方 ビー玉・虫とり・かくれんぼ・坂の滑り降り・草野球・紙芝居

団地などの緑地や小公園

N.Yさん(50代、天王寺区真法院町)

府営住宅や市営住宅、合同宿舍など、まちなかにも4階建てくらいの建物が並んだ小さな団地があちこちにあったが、どこにも必ず小さな緑地やプランコなどが置いてある小公園が設けられていた。ゆったりとした空間が保たれていた。そして、そこには必ず桜の木が植えてあって、春はどこでもお花見ができたし、季節を感じることができた。路地や空き地など公園以外の小さな遊び場がたくさんあったが、団地の小緑地や小公園はいつの間にか駐車場に変わったり、団地自体がなくなってきた。



かつては植栽や遊具に囲まれていた市営小宮住宅

思い出の遊び場 五条公園・細工谷や堂ヶ芝の路地・団地の小緑地・猫間川
思い出の遊び方 路地での駆けっこ・ゴム跳び・フラフープ

★平成以降遊び場マップ

少子化の進行やまちなかの人口減少などによって、上町台地の子ども数もかなり少なくなり、小学校の統廃合も進みました。最近では都心回帰の動きもあって、上町台地の人口は増加傾向にありますが、ベビーブームの頃のような爆発的な子どもの増加にはつながっていません。

いわゆるテレビゲームやファミコンなど1980年代から広がりはじめた映像ゲーム、デジタルゲームも遊び方に大きな影響を与えているようです。また、塾や習い事など学校と家、遊び場以外の時間が増えたことも外での遊びに変化を与える一因と見られます。

しかし、上町台地はまちなかにありながら、身近な公園から真田山や難波宮跡など大きな公園まで大小揃っていますし、お寺や神社の木々など身近な自然も多く、セミとりや草花摘み、草野球など、都会では楽しめないとと思われるがちな遊びに興じられる環境が充実しています。

上町台地で 今も楽しめる 紙芝居



お天気の良い金曜日の夕方、上汐や空堀界隈に昔懐かしい拍子木の音がこだまします。それについていけば上汐町公園と谷町六丁目(桃園)公園で紙芝居が今も楽しめるのです。全国でもただ一人となったプロの街頭紙芝居師・杉浦貞(ただし)さん。お母さんに依頼され、四半世紀に渡ってホームグラウンドの北区から上町台地に毎週やってきます。子どもたちとも顔なじみ、真剣に叱る場面もあり、次週が待ち遠しくなる語りに、お母さんたちも思わず一緒に入ってしまう光景は、地域のつながりが子どもを育てるということを目に見える形で教えてくれるようです。



※天気の良い毎週金曜日に、午後4時～4時半頃は上汐町公園、5時半～6時頃は谷町六丁目公園で紙芝居実演中。

公園や小学校の校庭

Y.Tさん(10代、天王寺区空清町)



遊具も揃った空清町公園。昔も今も、天気の良い放課後や土曜日は子どもが集う

空清町公園にはジャングルジムやタイヤばらんこ、鉄棒などの遊具がいっぱいある。うんていの練習をしすぎて手にまめができたり、シワシワになったりした。真田山小学校の校庭は広いので、ドッジボールやなわ跳びができるところと、鉄棒や登り棒、うんていやジャングルジムなどの遊具があるところがある。1年生の時に友だちとジャングルジム鬼ごっこという遊びをしていて、ジャングルジムから落ちそうになったことを覚えている。

空清町公園・真田山小学校の校庭
ジャングルジム・うんてい・ドッジボール・なわ跳び・鬼ごっこ

地蔵盆の にぎわい再び

将軍地蔵尊の地蔵盆(2005年、越中屋「夕陽丘ストリート」提供)



上町台地の各地では今でもたくさんのお地蔵さんが大切に信仰され、あちこちで賑やかに地蔵盆が行われています。ですから、昔から住んでいる人たちに、子どもの頃の楽しい思い出はと尋ねると、地蔵盆が真っ先にあげられることが多いようです。この日は、近所みんなが集まっていっしょに遊ぶ特別の日。当てものやゲームをしながら、おさがりのお菓子も袋一杯もらえます。最近ではいったん衰退しかかった地蔵盆を再興しようという動きも広がってきており、子どもからお年寄りまで、世代を越えて参加していて、地域あげての盆踊りも併せて行うような地蔵盆も見られます。

Topics

たまごっち流行

平成8年、画面内の電子ペットを育てる小さなゲーム機「たまごっち」が社会現象になるほど大流行。これ以降、さまざまなキッズチェーンゲームのブームが起こった。



平成08年(1996)

Topics

子ども向け携帯電話の普及

平成18年、携帯電話各社が防犯機能などを備えた子ども用の機種を続々と発売。自分専用の携帯電話保有率は、小学校低学年で約10%、中学生では約50%になっている。



平成18年(2006)

難波宮跡公園

広い原っぱでお父さんと自転車の練習。

南大江公園

二段になって草野球にはちょっと狭くなった。

空堀桃谷公園

旧桃谷小学校跡。

中央小学校校庭

放課後や土曜日は校庭開放されている。

谷町六丁目公園

旧桃園小学校跡。ご近所の目が行き届く。毎週金曜日の夕方には紙芝居がやって来る。

瓦屋町公園

フェンスで囲まれているのでおもちゃ球遊びができる。

高津宮

夏祭りでは金匱地区のみこしも復活して、さらに賑やかに。

上汐北公園

遊具に砂場にコンクリートの山。楽しい遊びがいっぱいできる。

高津宮北側の公園

起伏もあって木々も多い。昔からの遊び場。

生玉公園

グラウンドではキックベースボールの練習。

生國神社

夏祭りには露店がたくさん。

上汐町公園

遊具があって、春にはお花見。毎週金曜日には紙芝居がやって来る。

天王寺動物園

休日に親子でおでかけ。



自然に恵まれた上町台地界隈、でも、外遊びはやや不活発に

大阪城公園

春にはお弁当をもって家族でお花見。草野球や遊具遊びもできる。

城南公園

駅前大通りから一本入ると不思議と静か。

越中公園

えっちゅい! 越中井近くにあるとてもきれいな公園。

玉造稲荷神社

境内には車が入ってこないから安心して遊べる。草花を使ってお料理ごっこ。

玉造公園

高低差があるからいろんな遊びができる。

空清町公園

ジャングルジムや鉄棒、タイヤ、ブランコなど遊具がたくさんで楽しい。

真田山小学校校庭

広くてドッジボールやなわとびができる。

真田山公園

草野球にサッカーが楽しめる広いスペース。

桃陽小学校校庭

放課後や土曜日には校庭開放。

桃陽こどもの広場

サッカーや草野球でよく遊ぶ。

環境科学研究所の植栽

今も夏休みのセミとりポイント。

五条小学校

将軍地蔵尊の地蔵盆では、校庭で盆踊り。露店もでる。

五条公園

グラウンドは予約制なので、南側の遊具スペースが子どもの遊び場。

五條宮

夏祭りには子どもみこしのお祭り。

夏の終わりに振り返る 子ども、うえまち、 いま・むかし



街頭紙芝居師・杉浦貞さんの紙芝居上演

杉浦さんの紙芝居を楽しんだあとは、懐かしい駄菓子の時間。そして、宮本順三さんがグリコのおまけにこめた夢について、樋口さんにお話をうかがいました。



ビニールプールの中にラムネやジュース

宮本順三記念館豆玩舎ZUNZOの樋口須賀子さんが講演

開催日: 2007年8月25日 / 会場: NEXT21 ホール
主催: 大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所(CEL)

2007.8.25

Topics

小学校の統廃合

平成3年3月31日、都心部の人口減少の影響を受けて、桃園(とうえん)、桃谷(ももたに)、金匱(きんぎょ)、東平(とうへい)の4小学校が閉校となり、大阪府立中央小学校として統合された。



Topics

テレビゲーム発売

昭和58年に、任天堂から「ファミリーコンピュータ(ファミコン)」が発売された。それ以降、テレビゲームは子どもの日常の中に急速に浸透していった。



昭和58年(1983)

NEXT21と緑の回廊

NEXT21は、南北に細長い上町台地のやや北寄りに位置しています。この台地には、北に大阪城公園、南に天王寺公園や四天王寺の大きな緑地があります。また、松屋町筋に沿って天王寺七坂界限と呼ばれるところにも多くの寺院に挟まれながら、崖地の緑が帯状に連なっています。また、上町筋を軸にして、東西に街区公園や多くの教育施設(学校群)の緑が散在しています。そして、街中には、大きな緑陰樹や庭先の草花の鉢などが見かけられます。これらの緑が南北につながって「緑の回廊」をつくっています。

NEXT21は、このような大きな緑から小さな花や緑までを含めて密接につながり、ネットワークをつくっています。特に、NEXT21の立体的に構成された花と緑は、大阪城公園や天王寺公園などを生育圏とする野鳥達が休息や採餌ができる重要な場として、その役割は大きなものです。また、蝶などの昆虫にとっても屋上にあるミカンなどの柑橘類が繁殖に大きな役割を果たしています。

NEXT21は、大阪城公園の緑と比べると小さな点でしかありません。しかし、上町台地にある緑のネットワークの中で暮らす野鳥などの生態系をしっかりと支える役割を果たしています。また、町並みに立体的な花と緑が季節感や潤いを感じさせる役割も果たしています。これからも、近隣の人々に愛され育てられることでその役割を果たせるのです。

江木 剛 吉
(株)アトリエーツ

comment

2 緑と鳥
いのちの回廊をたどる

野鳥は緑が大好きです。都市化した大阪のなかであって上町台地は緑が多く見られる地域です。また、緑の種類やそのあり方も多様です。どんなところにどんな緑があるか、マップを見て訪ねてみれば、さまざまな野鳥に出会えるかもしれません。

NEXT21を訪れた鳥たち



NEXT21には、これまでに22種類の野鳥や17種類の蝶類、セミをはじめ多くの昆虫がやってきました。

時 期	種 名	出現状況
1年を通して周辺に生息	トビ キジバト ヒヨドリ シジュウカラ メジロ スズメ	毎 日 毎 日 毎 日 数日ごと 数日ごと 毎 日
主に冬の間、周辺に生息(1~3月)	ジョウビタキ シロハラ ツグミ ウグイス	冬季、数日ごと 冬季、数日ごと 冬季、数日ごと 冬季、数日ごと
春と秋の渡りの時期に一時的に滞在 春(4~5月) 秋(9~10月)	モズ アカハラ メボソムシクイ キビタキ オオルリ	10月 4月 4、5、9月 9、10月 4、9月
近隣の緑地や河川に生息	コサギ、アオサギ、コゲラ、アオジ、カワラビフ、マヒワ、ハシボソコラス	

ラベルされた鳥と昆虫: キビタキ、メジロ、ウグイス、コサギ、メボソムシクイ、オオルリ、ツグミ、クマバチ、アオスジアゲハ、ナミアゲハ、営巣したキジバト

NEXT21全景



NEXT21には、これまでに22種類の野鳥や17種類の蝶類、セミをはじめ多くの昆虫がやってきました。



空からみた大阪城公園(写真提供:大阪市)

comment

大阪城公園は鳥たちの博物館

空を飛ぶ鳥たちの目から見ると、大阪城公園は、きっと都会の海に浮かぶ緑の小島に見えるだろうと思います。秋から冬、春から夏と、日本に向かって飛来してくる多くの渡り鳥たちは、長い旅の途上で、この緑を見つけて羽を休めに降り立ちます。

このためか、大阪城公園で年間に見られる野鳥の種類は目立って多く、私自身もこれまでの十数年間に約150種類を確認しています。

ここは言ってみれば野鳥の博物館です。冬季にはお堀にカモ類などの水鳥がやってくるし、春になると小鳥たちが樹間で飛び回ります。水辺では、時にはきれいなカワセミの姿も見られます。

しかも、鳥によっては一年の間のある時期にだけしか滞在しないこともあって、その様子は常に変化に富んでいるのです。つまり、毎日が出会いと別れの繰り返しで、その楽しみに私は魅せられて、大阪城公園に通う日々を過ごしています。

元 山 裕 康
トリミニスト

暮らしの中で出会う鳥と緑

都心でも聞けた
ウグイスの美声

酒向八智代さん(喫茶上町)

中央区上町に2007年春、小さなカフェを開きました。オープン間もない頃、どこからともなくウグイスの鳴き声が聞こえてきました。「まさか、まちの真ん中で?」と思いましたが、建物の裏から何度も聞こえてくる鳴き声は、紛れもない「ホーホケキョ」。ビルや家が建ち並ぶまちなかで、どうやって暮らしているのでしょうか。

以前は空堀商店街の近くにある、古い家屋に入っている雑貨屋さんに勤めていましたが、ウグイスの声は聞いたことがありませんでした。小さな庭には木々もあって、何種類かの鳥は来ていたようですが。

※ウグイスはNEXT21への飛来も確認されています。また、天王寺区南部の五条界限でも春先にはウグイスの鳴き声がよく聞こえるそうです。

暮らしの目線からも見える
上町台地の野鳥たち

Y.Kさん、Y.Sさんご兄弟(中央区船越町)

営んでいる米屋の店先には昔からスズメが集まりますが、いつもいるのではなく、配送のトラックが来ると集まってきます。どうもトラックの姿形を覚えているようです。近くには“スズメのお宿”の木もありましたが、枝を短く刈り込まれました。

ハトの姿は減りましたが、カラスは朝早くから鳴いています。どうも生ゴミを狙っているようです。くちばしが黄色いムクドリも増えました。

配送中もいろいろな鳥を見かけます。大阪城北側の寝屋川の川岸にはアンテナが立ち並んでいるところがありますが、そこでは灰色のサギがアンテナに擬態して、魚を狙っています。道頓堀川の橋の欄干では、毎冬カワセミが留まっているのも見えています。

子どもたちがセミ捕りをして、店先にスズメが集まる様子に、引っ越してきた方からは「まちなかの感じがしない」と言われました。

商店街でのツバメのヒナ
救出作戦

宮崎昌久さん(中央区谷町7丁目)

春になれば毎年ツバメが帰ってきますが、空堀の商店街でも店先やアーケードにツバメの巣があり、初夏には人通りの多い商店街のなかをツバメが器用に何羽も飛び交っています。

ある初夏の頃、アーケードの上の方のツバメの巣からヒナが1羽落ちそうになっているのを買物客や店主が見つけた。巣の材料に引っかかっているようで、下まで落ちてはこないのですが、落ちかかっているため、エサも食べられないようでした。みんなで近くの消防署に相談に行ったところ、なんとはしご車で救出に来てくれました。うまくアームを伸ばしてヒナは救い出されましたが、残念ながらすでに弱っていました。

付近は見物人でいっぱいになりました。昔ながらの近所づきあいもある、人情ある下町ならではのエピソードとして今も覚えています。

鎮守の杜は
野鳥の子育て場所

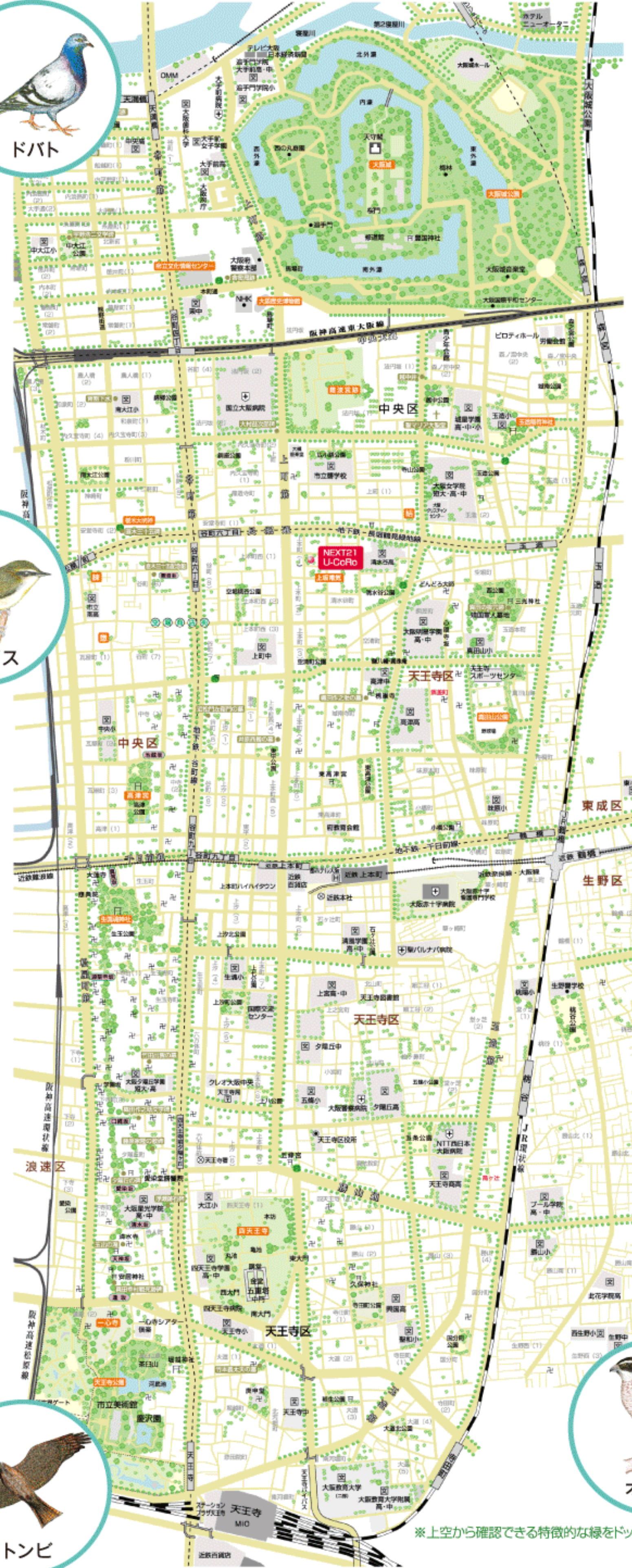
鈴木伸廣さん(玉造稲荷神社欄干)

玉造稲荷神社には枝ぶりも良いご神木や木々がたくさん植わっており、一年を通じて鳥の鳴き声が聞かれます。雨風が強かった次の日には、境内に鳥の巣が落ちていたこともあり、初夏には卵が落ちていたときもあります。また、冬に葉を落とした木々の合間から、巣がいくつも確認できます。そうしたことから、境内の木々が鳥たちの子育ての場になっている様子がうかがえます。

境内の隅には小さな池がありますが、そこには毎年正月にサギがやってきて池の小魚を食べていきます。東側の石段脇には神前に供えるための米を育てる小さな稲田がありますが、夏の終わりにはスズメが実った稲穂を狙ってやってきます。

鎮守の森は住み家や隠れ場所を提供し、木の実などエサも豊富ですので、玉造界限同様に上町台地の鳥の住宅街のようです。

上町台地、緑と鳥の回廊マップ



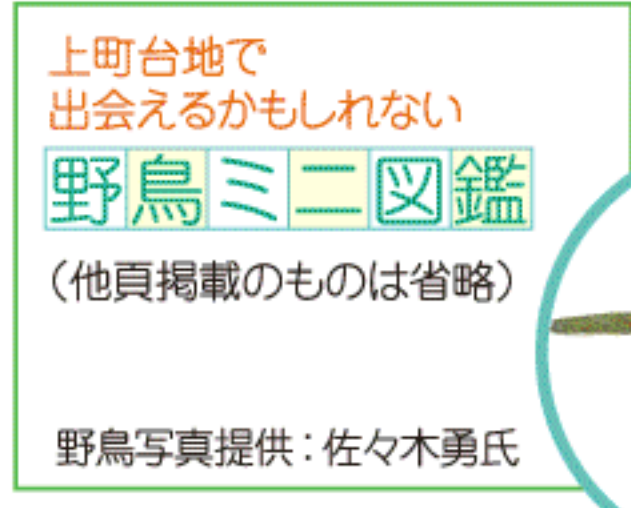
※上空から確認できる特徴的な緑をドット(点)で表しています。



アトリ



カルガモ



ウグイス



アオサギ



ヒヨドリ



シジュウカラ



ムクドリ



トンビ



オオタカ



サンコウチョウ



カワセミ



コゲラ



マガモ



ユリカモメ



モズ



ツバメ

上町台地、NEXT21と日本野鳥の会

日本野鳥の会大阪支部

大阪平野の南北にのびる上町台地には、大小の緑が点在しており、いわば緑の回廊をしています。ここNEXT21は、その緑の連なりの中に位置しています。

NEXT21の建設に先立ち、日本野鳥の会も協力して、周囲の植生や飛来している野鳥の状況を調査しました。その結果もふまえ、NEXT21の1階ガーデンや各階のテラス・屋上の植栽は、野鳥や蝶などの生き物呼び寄せ、羽を休ませる効果を考えたものとなりました。実際に、その後「キシバト」や「メジロ」もここで繁殖しました。

私たちの周りには多くの小さな生命が息づいています。耳を澄ませば、今しも鳥たちの声が聞こえてくるかもしれません。上町台地で暮らし、また時を過ごすとき、四季を通してさまざまな自然のメッセージが伝わってくるはず。NEXT21/U-CoRoの展示などを通し、地域に広がるこうした自然の息吹を一層身近に感じていただけたら幸いです。

日本野鳥の会 大阪支部

自然と人との共存を目指す自然保護団体、日本野鳥の会の大阪支部事務所は、NEXT21の1階にあります。

大阪市天王寺区清水谷町6-16 NEXT21 1階

TEL. 06-6766-0055 FAX. 06-6766-0056

事務所開館日：毎週 火・金曜日 10:00~18:00

※ただし「日曜・祝日・年始・年末・夏季」は休館。お問い合わせは電話・FAXで。

ホームページ <http://www.10.plala.or.jp/birds-osaka/>



スズメ

鳥の目線でNEXT21と ご近所の緑をめぐるお散歩&屋上トーク

佐々木さんと江木さんにお話をうかがいながら、
上町台地の緑と鳥を求めて、まちをめぐるしました。



案内・おはなし：佐々木勇さん(日本野鳥の会大阪支部 副支部長)※
江木剛吉さん(アトリエE2代表取締役、NEXT21 緑地設計)

開催日：2008年4月28日 / 会場：NEXT21 近隣、NEXT21 屋上・ホール
主催：大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所(CEL) / 共催：日本野鳥の会大阪支部

NEXT21の屋上にある木の
幹に備え付けた巣箱に営巣
したシジュウカラを発見



巣箱から顔を出す
子育て中のシジュウカラ
(後日佐々木氏撮影) 2008.4.28

※佐々木勇さんは、2008年6月にご逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。

鳥の種類	観察日時	観察場所	観察者
アトリ	2008.4.28	NEXT21 屋上	佐々木勇
カルガモ	2008.4.28	NEXT21 屋上	佐々木勇
ウグイス	2008.4.28	NEXT21 屋上	佐々木勇
アオサギ	2008.4.28	NEXT21 屋上	佐々木勇
ヒヨドリ	2008.4.28	NEXT21 屋上	佐々木勇
シジュウカラ	2008.4.28	NEXT21 屋上	佐々木勇
ムクドリ	2008.4.28	NEXT21 屋上	佐々木勇
トンビ	2008.4.28	NEXT21 屋上	佐々木勇
オオタカ	2008.4.28	NEXT21 屋上	佐々木勇
サンコウチョウ	2008.4.28	NEXT21 屋上	佐々木勇
カワセミ	2008.4.28	NEXT21 屋上	佐々木勇
コゲラ	2008.4.28	NEXT21 屋上	佐々木勇
マガモ	2008.4.28	NEXT21 屋上	佐々木勇
ユリカモメ	2008.4.28	NEXT21 屋上	佐々木勇
モズ	2008.4.28	NEXT21 屋上	佐々木勇
ツバメ	2008.4.28	NEXT21 屋上	佐々木勇

まち歩きの際に持って行った
野鳥観察チェックリスト

まちで育む 地野菜とつながり

子どもから高齢者まで、一般市民から専門家まで、世代や立場を越えて、みんなの心をとらえてやまないもの。地域の伝統野菜ほど、人と人をつなぐやわらかな力のあるものはないといってもいいかもしれません。

上町台地がふるさとの、玉造黒門越瓜(たまつくりくろもんしろり)や天王寺蕪(てんのうじかぶら)も、まちの人たちの願いを受けて、芽を吹き、根を張り、花を開き、実を結び、たくさんの物語を紡ぎだしています(4)。

玉造黒門越瓜栽培“ツルつなぎ”プロジェクトも誕生しました。上町台地界隈のいくつかの幼稚園や学校、神社やお寺、お店やお家で、ひとつまたひとつと越瓜が芽吹き、園庭や校庭に境内に軒下に庭先に、たくさんの出会いと会話を届けています。越瓜の成長とともに、“ツルつなぎ”の人の輪が広がっていきます(5)。その広がり、いのちを支える食と暮らし、まちの未来への思いが重なっていきます。

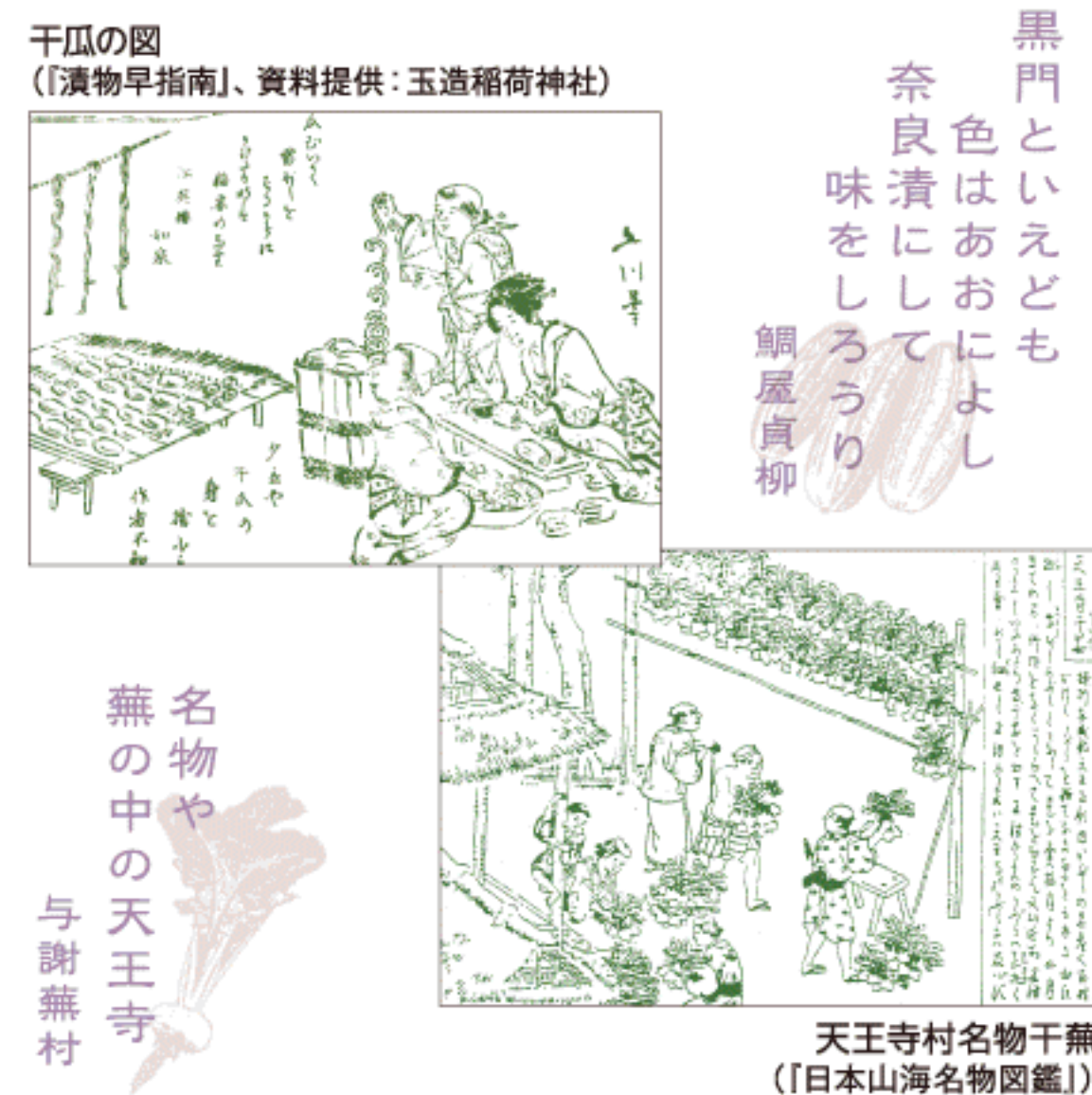
(4)ウィンドウ・エキジビション05「上町台地となにわ伝統野菜物語」(2008年5月19日～8月29日 ※9月12日まで展示延長)、(5)ウィンドウ・エキジビション08「上町台地 玉造黒門越瓜栽培“ツルつなぎ”プロジェクト」(2009年5月25日～9月4日)をもとに構成。なお、文中の肩書・所属はそれぞれの展示・イベント時点のものです。



NEXT21 屋上の菜園で、なにわ伝統野菜を収穫(2008年8月)

なにわ伝統野菜から 広がる人の輪

風土が育む地野菜の、個性あふれるその姿形や、しっかりとした味わいには、まちの歴史と文化が詰まっています。今、なにわ伝統野菜があちこちで息を吹き返しています。上町台地がふるさとの、玉造黒門越瓜(たまつくりくろもんしろり)や天王寺蕪(てんのうじかぶら)も、まちの人たちの願いを受けて、芽を吹き、根を張り、花を開き、実を結び、たくさんの物語を紡ぎだしています。



近世・近代の都市と近郊農村が 織りなした至福「なにわ伝統野菜」

都市とそのすぐ近郊の農村という関係は、近世には厳しい身分制度などを背景に持ちつつも、農村=生産、都市=消費という単純な図式ではなく、持ちつ持たれつのご縁の良好なものでした。都市も農村も個々に暮らしや文化を育み、互いに尊重もしていました。なにわ伝統野菜はそうした往時の都市と近郊農村が織りなした至福の産物でもあったのです。

近代以降工業化が進みましたが、とりわけ高度経済成長期以降は第一次産業が軽んじられ、都市は際限なく膨張しました。また、田畑は「高度利用されていない土地」、農業は「低位の産業」という価値観も広がりました。歴史というと、一般には「社会は時代とともに発展し、人間の暮らしも豊かになる」という発展史観で見られがちですが、そういう見方が誤りであったことに、近年私たちはようやく気づきつつあるようです。

復活してきた伝統野菜を味わいながら、私たちがこの数十年で失ったものに思いを馳せてみてはいかがでしょうか。そして都市や都心居住の本来のあり方などを振り返り、これからの上町台地、大阪を考える“滋養”としていただければと思います。

北川 央
大阪城天守閣研究副主幹

復活してきた「なにわ伝統野菜」

大阪の肥沃な土が育んできた地野菜の数々は、都市化のなかで、いったん姿を消していきました。これらの地野菜は、栽培される地域や季節などが限定されるものですが、それだけに長きにわたって大阪の食を支えてきた歴史と伝統をもつものです。なにわ伝統野菜の個性豊かな姿と本物の味わいに、いま新たなスポットが当てられています。

- 1 毛馬胡瓜(けまきゅうり・大阪市都島区)
- 2 服部越瓜(はっとりしろり・高槻市塚脇)
- 3 玉造黒門越瓜(たまつくりくろもんしろり・大阪市中央区)
- 4 勝間南瓜(かつまなんきん・大阪市西成区)
- 5 水茄子(みずなす・貝塚市)
- 6 烏飼茄子(とりかいなす・摂津市)
- 7 田辺大根(たなべだいこん・大阪市東住吉区)
- 8 守口大根(もりぐちだいこん・大阪市北区)
- 9 大阪四十日大根(おおさかしじゅうにちだいこん・豊中市庄本町)
- 10 天王寺蕪(てんのうじかぶら・大阪市天王寺区)
- 11 金時人参(きんときにんじん・大阪市浪速区)
- 12 石川早生(いしかわわせ・河南町石川)
- 13 蓮根(れんこん・守口市・門真市)
- 14 吹田慈姑(すいたくわい・吹田市山田)
- 15 大阪しろな(おおさかしらな・大阪市北区)
- 16 独活(うど・茨木市太田・千堤寺)

※大阪府と大阪府は2005年に認証制度を設け、現在は16種が「なにわの伝統野菜」となっています。



なにわの伝統野菜のふるさと

参考資料:「なにわの伝統野菜」
(大阪府立農林技術センター※2001)
※現在の「大阪府立食とみどりの総合技術センター」の前身



現在は大阪市内や近郊で、伝統野菜を育てる農家も増えています。住吉区長居東の松本浩市さんは、長年有機栽培にこだわりながら取り組んでいます。



写真提供: (財) 大阪市農業センター

「なにわ伝統野菜」からはじまる、地域と食への関心の深まり

伝統野菜は、昔はそれぞれの地域でごく普通に食べられていたものです。かつては、地域ごとに特徴ある食材があり、旬の素材を使った美味しい地域の食文化がありました。ところが最近では、スーパーで売られている野菜なども、どこから来たもので、誰がどのようにして作ったものなのかがわからない、あるいは感じ取れないものばかりです。

大量生産や周年流通が求められる時流の中で、いつしか顧みられなくなっていた大阪の伝統野菜。しかし、それらは大阪の環境で育てられ生き残ってきた野菜です。昔ながらの野菜の味をその旬の時期に味わうことの意味を、私たちはもう一度考えてみるべきではないでしょうか。風土に合った地元の野菜を食べることが、最も味わい深く、しかも安全でもあるのです。これは、大人にとっても子どもにとっても、大切な食や健康についてしっかり考えることにもつながることでしょう。

うれしいことに、いま大阪では伝統野菜への関心が高まってきており、各地の学校などでの栽培や地元行事での料理づくりなど、復活・保存活動の輪が次第に広がっています。大阪の伝統野菜からはじまる、地域と食への関心の深まりに、私は大いに期待を寄せています。

森下 正博
なにわ伝統野菜応援団員・農学博士

NEXT21/U-CoRo ウィンドウ・エキジビション05
「上町台地となにわ伝統野菜物語」
展示オブジェ 玉造黒門越瓜▶



大阪人だから 大阪の野菜を食べたい

中山雅雄さん(レストラン RiRe シェフ)



営むフレンチ・レストランの向かいにある玉造稲荷神社の鈴木禰宜(ねぎ)から「玉造黒門越瓜を一度使ってみませんか?」と持ちかけられたのが、伝統野菜にのめり込むキッカケです(笑)。2006年夏に「瓜フェア」と銘打って、

オーナーと一緒に越瓜メニューを用意しました。大阪にこんな野菜があったとは知らなかったのですが、もともとハーブを使ったり、食材そのものを活かした料理にこだわる店ですし、大阪生まれの大阪人としても「大阪の野菜を食べたいし、お客様にも紹介したい」と思い、他の伝統野菜にも挑戦するようになりました。今ではパウンドケーキにしてみたり、冬期には店先で野菜販売(不定期)も行っています。

地元のことを知りたいし、 知ってもらいたい

鈴木伸廣さん(玉造稲荷神社 禰宜)



玉造界隈の氏神さま・玉造稲荷神社で神職を務める際に、地元のことをもっと知りたいと思っていました。そんなときに会ったのが玉造黒門越瓜です。保存されていた種をいただき、専門家にお聞きして、境内の一角で育てはじめました。素人な分、アサガオのように育ててみたり、ツルを下へ垂らしてみたり、越瓜もさぞ大変だったでしょう(笑)。越瓜栽培を知って神社を訪ねて下さる方も増え、つながりも広がりました。越瓜仲間たちは夏祭り(7月15日)に併せて「玉造黒門越瓜食味祭」も開催してくれています。案外知らない地元のこと。越瓜が玉造界隈のことをもっと知るキッカケになってもらえればと願っています。

伝統野菜は健康づくりにも 仲間づくりにもなります

山内美陽子さん(谷町空庭店主、緑のプランナー)



都会のなかの小空間を緑に活かす空畑クラブという活動を展開しています。実家のビルのベランダや屋上も小さな庭や畑にしていますし、ベランダの緑を眺められるカフェ「谷町空庭」も週2回ほど開いています。伝統野菜のことは活動前から知ってはいたのですが、育てはじめるととても面白くて、「空畑クラブ」へのキッカケの一つにもなりました。それに「大根を育てています」よりも「田辺大根を育てています」と言うほうが、相手に与えるインパクトも大きい(笑)。伝統野菜に関わる人たちとの出会いも魅力ですし、ほんの小さな場所でもみんなで一緒に育てれば、自家製伝統野菜は健康も仲間も作ってくれます。

越瓜クッキーづくりに地域とともに 挑んだ清水谷高校家庭科クラブ

岡本真澄さん(前清水谷高校家庭科教諭)



清水谷高校は平成17年度(2005年度)の食生活改善研究活動の研究推進校(全国で7校)に選ばれたのですが、その対象食材を探しているときに玉造稲荷神社での越瓜栽培を知りました。生徒とともに夏の食味祭に参加し、越瓜と瓜出隊メンバーに出会いました。ちょうどクッキーづくりを検討中だった瓜出隊との出会いで取り組みは具体化。生徒たちにとって手作りクッキーではなく商品化をめざしての作業は、消費者に受け入れられる味やコストも考える機会になり、越瓜を通じて玉造の歴史など地域を知り、学ぶキッカケも得ました。そして何より多様な大人たちとの出会いが刺激だったようで、越瓜は高校生にはまさに“大人の味”だったようです。

■なにわ伝統野菜で広がる 上町台地の人の輪

自然に育ったなにわ伝統野菜を 食べると、カラダも自然に近づけます

西村孝さん(浪花漬四天王寺・西むら代表取締役)

なにわ伝統野菜の漬け物づくりは森下正博先生との出会いがキッカケでした。伝統野菜は形も大きさもバラバラでしたが、そう言えば昔は八百屋の野菜もみんな不揃い。それに栽培に取り組む農家の苦労もあって、伝統野菜の味は本当の野菜の味でした。「この姿と味を漬け物でも活かしたい」と思い、塩や昆布などにもこだわりながら商品化にこぎつけ、2001年の冬に四天王寺西門近くに新店舗を構えました。年中出回る野菜とは違い、伝統野菜は昔ながらの季節もの、露地ものですが、自然に育った旬のものはビタミンもミネラルも抜群です。それを食べることで私たちのカラダも自然に近づき、健康になるのではないのでしょうか。



「私でもできること」からはじまった、 伝統野菜との関わり

長谷川寧子さん(chana 女将)

伝統野菜との出会いは、玉造黒門越瓜の夏祭りに通っていた玉造稲荷神社で、鈴木禰宜(ねぎ)から「越瓜で何かやってみない?」と声を掛けられたのがキッカケです。鉢植えの花も育てるのが苦手な私なので「えっ?」と思いましたが(笑)、「私でもできることは何やろう?」と考え方を変えてみました。そこからクッキーやなにわ伝統野菜米づくり、産直販売などへと広がりました。大阪の人が大阪の野菜に気づいて、一度でも食べてもらうことで何かが広がればよいと思います。私も伝統野菜をもっと知りたいという気持ちが強くなってきましたし、これからも多くの人たちと伝統野菜に関わっていければうれしいです。



まちなかのベランダでも 育ちますよ!

小田切栄子さん(天王寺区城南寺町)

上町台地や大阪のPRに走り回る息子がいてきた玉造黒門越瓜の種を、「ここでも育つか?」と4年前からベランダで育てはじめました。観葉植物などは育ててきたのですが、野菜栽培となると息子が小さかったときに挑戦して以来。どうなることかと思いましたが、市販の肥料を時折与える程度で無事に実が付きまして。主婦にとっては花より実。何と言っても「収穫」が最大の魅力(笑)。種まで採って、毎年育てるようになりました。越瓜の縁で頂戴した田辺大根や勝間南瓜(こつまなんきん)なども育てています。今年も夏の終わりまで半年間、一喜一憂の越瓜との付き合い合いです。

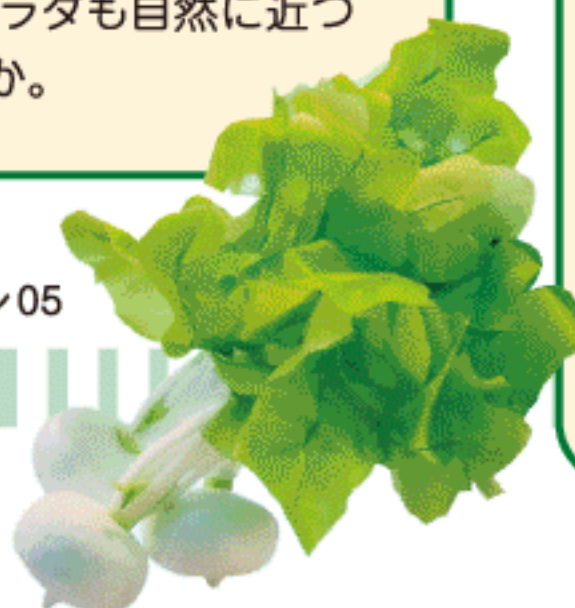


越瓜を伝え、 地域をつなぐ玉造黒門越瓜出隊

玉造の地・玉造稲荷神社での越瓜栽培は2002年に復活し、マスコミにも取り上げられ、問い合わせも増えました。同神社の鈴木禰宜(ねぎ)は越瓜の認知度アップをめざすため、越瓜仲間と2005年夏に玉造黒門越瓜出隊を設立。すでにスタートしていた食味祭を引き継ぎ、越瓜キャラクターの“くろもんちゃん”とともに各地のイベントにも参加しています。越瓜を伝えながら、玉造ファンも含む玉造にゆかりある人たちをもつないでいく。プラスアルファを加える挑戦をしながら次世代へ伝えていく。瓜出隊のスタンスと越瓜に魅せられた人たちが集まりながら、越瓜のツルのようにネットワークも広がっています。新代表の長谷川寧子さんのもとでの今後の展開も楽しみです。



NEXT21/U-CoRo ウィンドウ・エキジビション05
「上町台地となにわ伝統野菜物語」
展示オブジェ 天王寺蕪▶



※それぞれの談話は2008年4月時点のものです。

2 玉造黒門越瓜栽培で “ツルつながり”

上町台地境界で
玉造黒門越瓜をともに育て合う
“ツルつながり”プロジェクトを展開！



出芽した玉造黒門越瓜

たまつくりくろもんしろうり 玉造黒門越瓜のご縁を上町台地へ

縁あって地元ゆかりの玉造黒門越瓜の復活に取り組みはじめ、2008年からはU-CoRoとの協働により、以前からの夢でもありました大勢の方々との栽培に挑戦することができました。苗からですと比較的容易な栽培ですが、みなさんには種から挑んでもらいました。収穫までこぎつけた方がいらっしゃる一方で、残念ながら芽吹きすら見られなかった方もいらっしゃいました。実際に育てることで野菜づくりのむずかしさを感じてもらうとともに、芽吹きや開花、結実、そして収穫と、越瓜の成

鈴木伸廣さん
玉造稲荷神社禰宜・玉造黒門越瓜出隊前代表

長を喜びながら、緑やいのちなどについて身近に考える機会を得てもらえたと思います。また、地域の歴史や文化についても親しんでいただけたのではないのでしょうか。そして何より、上町コロコロ新聞やU-CoRoイベントなどを通じて、上町台地境界で越瓜栽培に挑戦する方々が、互いに苦労や喜びを共有し合うことで参加者同士のつながりも芽生えたのではないのでしょうか。玉造黒門越瓜からのさまざまな縁を今年も春から夏までのあいだ、みなさんとともに分かち合えればうれしいかぎりです。



2008年夏 上町台地 たまつくりくろもんしろうり 玉造黒門越瓜 栽培マップ

2008年参加団体・施設：19カ所

- まちづくり活動拠点・複合施設
- 地域福祉・ケア施設
- 社寺
- 学校・幼稚園
- 商店、住宅



参加団体・施設など：地図上★☆☆★マーク
清水谷高校、高津高校、追手門学院大手前中・高校、五条小学校、真田山幼稚園、味原幼稚園、地域交流スペース・結、からほり倶楽部、長屋再生複合商業施設・憩、お屋敷再生複合商業施設・憩、複合文化施設・憩、レストランRiRe、谷町空庭・空畑クラブ、Sさん宅、Oさん宅、藤次寺、應典院、NEXT21入居者自治会、大阪府教育センター（順不同、2008年5月10日現在）
共催団体（種苗提供、栽培支援）：
玉造稲荷神社、玉造黒門越瓜出隊
アドバイザー：森下正博

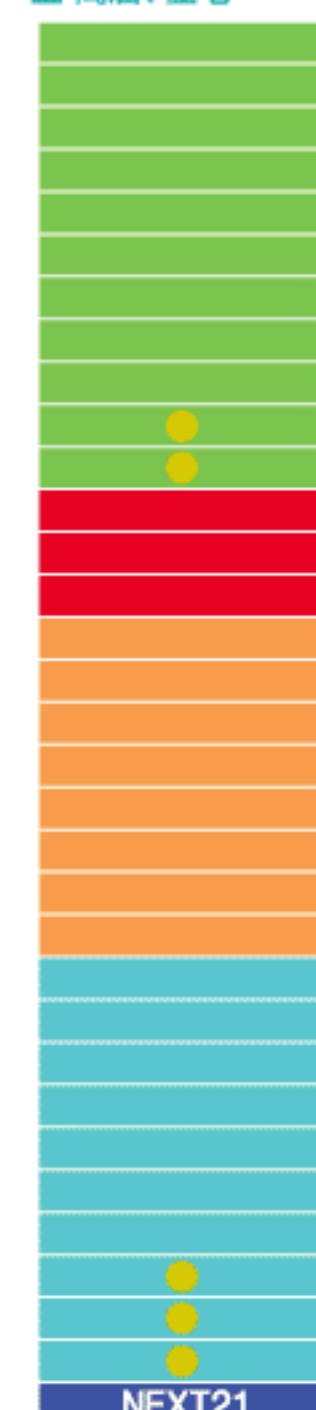
NEXT21/U-CoRoでは玉造黒門越瓜出隊、玉造稲荷神社とともに、「上町台地 玉造黒門越瓜栽培“ツルつながり”プロジェクト」を展開しました。玉造黒門越瓜をいろんな人たちがいろいろなところでもともに育て合おうというこのプロジェクト。2008年に引き続き2009年も夏の収穫祭を無事に迎え、上町台地境界で、越瓜を通じた“ツル”つながりが育ってきています。



2009年夏 上町台地 たまつくりくろもんしろうり 玉造黒門越瓜 栽培マップ

2009年参加団体・施設：33カ所

- まちづくり活動拠点・複合施設
- 地域福祉・ケア施設
- 社寺
- 学校・幼稚園
- 商店、住宅



玉造黒門越瓜 (たまつくりくろもんしろうり)

江戸時代、この瓜は大坂城の玉造門付近で作られていました。大きめの緑色の実に8〜9本の縞があるのが特徴。古代中国の越(えつ)の国から伝わったことから「越瓜」と書き、読みは「しろうり」、また黒塗りの玉造門にちなみ「黒門(くろもん)」と呼ばれていたそうです。江戸時代の書物によると、玉造で当時栄えていた、酒造りから出る酒粕を利用した越瓜の粕漬が名物だったそうです。



「玉造稲荷くろもんちゃん」は、玉造黒門越瓜のマスコット・キャラクターです。

参加団体・施設など：地図上★☆☆★マーク
味原幼稚園、町家再生複合施設・憩、應典院、大阪教育大学付属天王寺中学校、大阪府教育センター、cocoroom、高津高校、高齢者外出介助の会、真田山幼稚園、清水谷高校、生活ケアの「ぶらっと」、聖公会生野センター、長屋再生複合商業施設・憩、玉造小学校、デイサービスセンター陽だまり、デイセンターいるか空堀・蔵、谷町空庭・空畑クラブ、藤次寺、NANIWAN TAPAS + BAR as、NEXT21入居者自治会、フラットb、複合文化施設・憩、丸善ポタンビル、南大江小学校、地域交流スペース・結、レストランRiRe、お屋敷再生複合商業施設・憩、Sさん宅、Oさん宅、Sさん宅、Nさん宅、Yさん宅（順不同、2009年5月10日現在）
共催団体（種苗提供）：
玉造稲荷神社、玉造黒門越瓜出隊

Topics
2009年7月5日

訪れた先々で
“ツルつなぎ”
プロジェクト進展中でした。



森下正博先生といっしょに たまつくりくろもんしろうり 玉造黒門越瓜栽培“ツルつなぎ”プロジェクト栽培ポイントめぐり

2008年・2009年と、4～5月に玉造黒門越瓜の種を配ることからはじめたこのプロジェクト、2008年6月初めの日曜日と2009年7月初めの日曜日に、なにわ伝統野菜応援団員で農学博士の森下正博先生にごいっしょいただき、“ツルつなぎ”プロジェクトの栽培ポイント（近隣の一部）を訪問し、发育状況を見学しました。2009年の見て歩きの様子を紹介します。



NEXT 21



NEXT21の屋上は、緑いっぱい
の環境、その一角に菜園が ①



U-CoRo 北側にある玉造黒門越瓜、
谷町空庭さんの木製プランターで成育中。



各階では居住者それぞれが、
さまざまな野菜を栽培！

U-CoRo のある
NEXT21 から
見て歩きスタート。

屋上菜園や立体街路で、校庭や店先で、
蒔かれた種から、いくつもの芽が出て、
大きく育ちはじめていました。

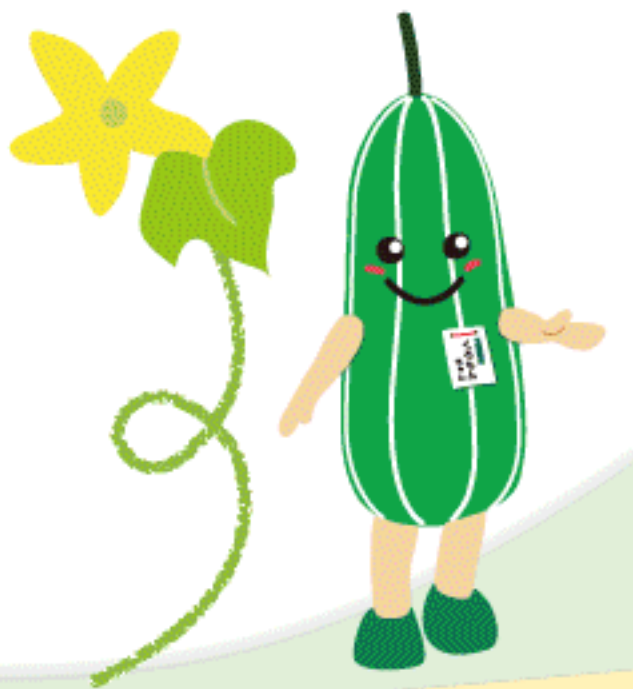


屋上の環境についても
森下先生に説明を受けました



プランターで育つ越瓜の苗を
フェンス越しに拝見 ②

清水谷 高校



生活ケア ぷらっと



かわいらしい花が、
もう4つ咲いていました ⑤

育てている人たちの
思いと思いが
つながっていきます。

上町台地のあちこちで玉造黒門越瓜が成育。
そして、人の輪も広がっていきました。



軒先まで組んだ竹に沿って、
越瓜のツルがぐんぐん



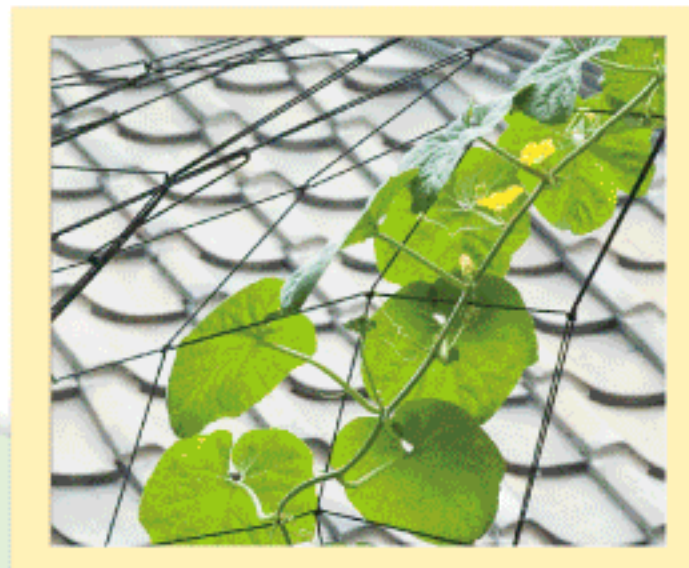
町家のもつ、やさしい空気の
流れは、植物にも好条件！?

「デイサービスセンター陽だまり」の越瓜には、ガクの後ろが
膨らんだ雌花も。越瓜の実はいくつ成るだろうか。



長屋建での町家を活用した「デイサービスセンター陽だまり」の中庭。
7月の陽光を十分に浴びて越瓜の葉が元気に茂っていました。

Sさん 宅



Sさん宅では、南向きの窓辺で
越瓜がツルを伸ばしていました ⑦



asの前にある立体菜園では、
しっかり育った越瓜に花が ⑥

真田山 幼稚園



真田山幼稚園の庭には、
野菜の鉢がずらり ③

高津 高校



高津高校では2つの
プランターに1株ずつ成育中 ④

上町台地 たまつくりくろもんしろうり 玉造黒門越瓜栽培“ツルつながり”プロジェクト

しろうり ともに越瓜を育てることで 得られたもの



真田山幼稚園で収穫（2008年7月24日）

地域の幼稚園や学校、社寺や商店、住民の方々の任意の参加を得て試みた玉造黒門越瓜栽培“ツルつながり”プロジェクト。上町台地界隈に、ひとつまたひとつと玉造黒門越瓜が芽吹き、園庭や校庭に、境内に、お店や住宅の軒下や店先に、たくさんの会話と物語を届けてくれました。2008年夏のプロジェクトの参加者からの声です。

大きく育て！なにわの伝統野菜、 そして、真田山っ子！

木村 薫さん 真田山幼稚園

大阪の伝統野菜、玉造黒門越瓜の栽培を昨年も幼稚園の庭で行いました。種から育てるということで、芽が出てすぐ雨が続き、なかなか大きくならず心配しましたが、子どもたちが水やりし、アーチ型の支柱を立てると、やがてツルのトンネルになりました。夏には実が大きくなって収穫することができました。今年（2009年）は5歳児が、直接種を受け取り、自分たちで土作りから始めます。越瓜を育てる中で子ども自身も地域のことや自然について関心を持ち、大きく育ててほしいと願っています。

たまつくりくろもんしろうり 玉造黒門越瓜を栽培してみて

塩田洋子さん 清水谷高校教諭

土づくりから教えていただき、栽培に挑戦しました。少しずつ成長していく様子を見ていて、越瓜に対する愛情が湧いてくる感覚が新鮮でした。残念だったのが、できた瓜を食べられなかったことです。そろそろ収穫しようと思っていると、昨日まであったはずの場所に瓜がない。ふと地面に目をやると、そこには変わり果てた瓜の姿が…。無残にも割れ、しかも蟻の集団がたかっている。ショックでした。そんなショックを感じながら、「メロンのような甘い匂いがするんだなぁ」と新たな発見をしたのでした。次の目標は、無事に収穫することです。



清水谷高校のフェンスに沿って成長し、実を付けた越瓜

子どもたちのまぶしい笑顔が 忘れられない！

横山光雄さん NEXT21入居者自治会

入居者全員が参加できるイベントを思案していたとき、栽培プロジェクトの話があり、絶好の機会だと思って野菜栽培に取り組みました。すべてが初体験でしたが、全員が協力して、耕作・水遣り・雑草抜き、そして何よりの肥料である「温かい眼」を注いだ結果、なんとか収穫祭を実施できました。そのときの子どもたちのまぶしい笑顔がとっても素敵で忘れられません！ちなみに、収穫した野菜は直後のBBQ大会で食べましたが、ビール片手に赤みを帯びた大人たちの笑顔も負けじと素敵でした！今年（2009年）も栽培を通じて、野菜もみんなの笑顔も大きく育てましょう！



NEXT21の菜園にて収穫（2008年7月下旬）



「結」の入り口脇で実った小さな越瓜

食べられるものを作る喜び

酒向八智代さん 喫茶上町

去年（2008年）の春、上町にある地域交流スペース「結」にて、なにわ伝統野菜の玉造黒門越瓜を育てました。と、とっても幸いなことに「結」には盆栽屋さんさんがいて、毎日、盆栽や結の植物たちに水をあげていたので、ついでに玉造黒門越瓜にも水をあげてくれていました。なので、私は土が乾いていれば水をあげる程度だったので、正確に言えば盆栽屋さんさんが育てたようなものですが…。種を蒔いてから1週間で芽が出、2週間でカワイイ黄色い花を咲かせてくれました。ここまでくると「ヤッター！」って感じです。よく見るとブククリ。実ができていました。どんどん成長して、ついに試食。醤油をちょこっとつけるだけで美味。食べられるものを作る喜びを与えてもらいました。今年（2009年）は緑橋の町家再生複合施設「燈」にて栽培いたします。こちらでも陽当たりがとってもよいので楽しみです！

ともに育てられていました

桑原年弘さん 藤次寺

2苗を墓地の片隅に植えました。1週間ぐらいで、新葉が出はじめて以来、黄色い花が咲いては歓喜し、うまく受粉するようにと合掌し、成長しては命のたくましさに心打たれ…。玉造黒門越瓜との対話に心動かされた毎日でした。お寺を出入りする人々も成長に関心をよせ始め、会話の中には、いつも瓜の話題が登場しました。四季の変化を感じとることができることは、心を豊かにさせてくれます。育てているつもりが、育てられているのですね。いのちの尊さを知らず知らずのうちに学ぶことができました。地元の野菜を育てる喜びはひとしおです。今年（2009年）は去年の種子を使って、孫瓜を育てていきます！！



開花時期の写真と最終的に大きく実った越瓜（円内）



「萌」1階の店先にて（2008年8月初旬）

しろうり 「立体菜園」で越瓜づくり！

長谷川寧子さん 玉造黒門越瓜出隊代表

越瓜の魅力を伝える玉造黒門越瓜出隊の活動で、昨年（2008年）はU-CoRoと同時栽培プロジェクトを行いました。「立体菜園」という試みで越瓜など夏の伝統野菜栽培も行いました。木枠をタテに組み、桃園公園脇の「萌」1階に立てかけての菜園です。専門家のアドバイスもいただきながら取り組みましたが、実際は「どうなることやら？」とドキドキものでした。しかし、越瓜はしっかり育ち、夏には店の入り口に立派な実を付けて、景観も演出してくれました。さらに栽培の様子を目にした近所の人たちと声を交わす機会も増えて、まさに「ツルつながり」が実現！今年（2009年）もみなさんと一緒に、越瓜とつながりを育てていきたいと思っています。

たまつくりくろもんしろうり

玉造黒門越瓜が復活した場所、 玉造稲荷神社で恒例の「食味祭」開催

project関連 Topics
2009年7月15日

玉造稲荷神社の夏祭は毎年7月15・16日。これに合わせて15日夕方から、毎年恒例の「玉造黒門越瓜食味祭」が開催されます。運営するのは、玉造稲荷神社と地元の越瓜保存会の玉造黒門越瓜出隊。いずれも玉造黒門越瓜栽培「ツルつなぎ」プロジェクトの共催者のみなさんです。



境内には露店が建ち並び、浴衣姿の子どもたちや親子連れで大賑わい。夜には当地ゆかりの漫才作家・秋田賢さんにちなんで演芸も奉納されます。



お祭りには、玉造黒門越瓜のマスコット・キャラクター「玉造稲荷くろもんちゃん」も登場。すぐに子どもたちに取り囲まれました。

たまつくりくろもんしろうり
**玉造黒門越瓜食味祭で
くろもんちゃんは大人気！**



2009年は
しろうり荒おろし
ソーメンでした



「食味祭」の名の通り、毎年趣向を変えた創作越瓜料理をみんなで味わいます。

当日は、境内の畑で収穫された
越瓜料理が毎年ふるまわれます。



瓜出隊の長谷川さんと
清水谷高校のみなさんが
開発したクッキー

玉造黒門越瓜出隊の
長谷川寧子さん(右)も
越瓜のクッキーを販売



畑の奥には、玉造
黒門越瓜の石碑

玉造稲荷神社境内にある越瓜の畑。
ここで栽培されたことで、復活につながりました。



NEXT21で子どもたちも参加して 夏野菜の収穫祭

project関連 Topics
2009年7月26日

玉造黒門越瓜や勝間南瓜などのなにない伝統野菜をはじめとして、NEXT21の屋上や各階菜園で栽培されている夏野菜の収穫祭(NEXT21入居者自治会の行事)が7月26日に実施されました。陽当たりの良い屋上菜園では、野菜類もすくすく育って立派な実がいくつも。子どもたちが歓声をあげながら収穫した後は、みんなで準備をして、バーベキューパーティ。美味しくて楽しい時間を過ごしました。



屋上で収穫した越瓜や南瓜、
小さなスイカを持って、
笑顔の子どもたちが集合！

しろり なんきん
**たくさんの越瓜と南瓜が、
屋上で育っていました。**



こつまなんさん
茂った葉の間に勝間南瓜の
実を見つけました



スイカも収穫！両手に持つと、
実の重みが伝わってきます



おそろそろ越瓜を
手に持って、
ハサミでちょきん！

収穫した野菜も加えて、
バーベキューの準備開始！



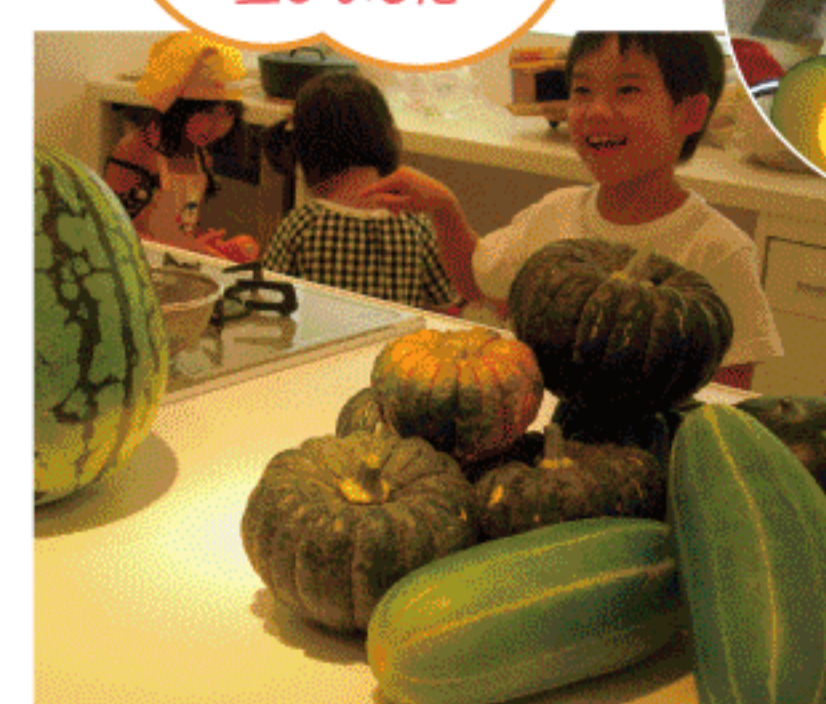
自分の腕ほどもある越瓜に
ちよつとびっくり



各階の菜園や
プランターからも収穫物が
よせられました。



収穫した後で、
みんなで美味しく
いただきました！



野菜に、お肉に、
いろいろな食材が
並びました



楽しく時が、過ぎていきました。



Topics
2009年8月9日

PART 1

NEXT 21



コメンテーター：
森下正博さん（農学博士、なにわ伝統野菜応援団員）
鈴木伸廣さん（玉造稲荷神社禰宜）
プレゼンター：玉造稲荷くろもんちゃん
開催日：2009年8月9日 / 会場：NEXT21 ホール
主催：大阪ガス エネルギー・文化研究所（CEL）

第1部 越瓜栽培「ツルつなぎ」発表会

大きく育つも、突然の病気!?
苗を分けた先では収穫!



今年も収穫成功! 現在、
箱階段風菜園を構想中。



夏のなにわ伝統野菜物語
越瓜トークとツルつなぎレポート

2008年8月、初年度の玉造黒門越瓜栽培プロジェクト
報告会とともに、いのちを支える食と暮らし、まちの過去・
現在・未来を見つめるトークイベントを実施。



森下正博先生
講師：森下正博さん（農学博士、なにわ伝統野菜応援団員）
北川 央 さん（大阪城天守閣研究副主幹）
開催日：2008年8月10日 / 会場：NEXT21 ホール
主催：大阪ガス エネルギー・文化研究所（CEL） 2008.8.10

たまつくりくろもんしろり
玉造黒門越瓜栽培
“ツルつなぎ”プロジェクト 収穫祭!

NEXT21の近隣に広がる玉造界隈は、なにわ伝統野菜のひとつ玉造
黒門越瓜のふるさと。上町台地の各所で越瓜の栽培を通して人の輪
が広がっています。8月はその越瓜の実りの季節。2008年8月10日、
2009年8月9日に“ツルつなぎ”の越瓜に感謝して、語り、味わう
収穫祭を開催しました。主に2009年の発表の様子を紹介します。



“一郎”から“五郎”まで、5つの実が大切に育てられました。

悲喜こもごもの
越瓜栽培体験!



今年も見事に
美味しそうな実が
成りました

第2部 越瓜を食す
“ツルつなぎ”交流会

第2部の交流会では、プロジェ
クト関係者の手づくりによる、
夏のなにわ伝統野菜料理の
数々が登場。その数やバラエ
ティの多彩さには、参加者か
ら思わず歓声があがるほど。
“ツルつなぎ”の人の輪と
ともに、楽しく賞味しました。



生徒たちと種から栽培、
実った越瓜を味わいました。



緑橋にある町家施設の
前でも、越瓜が育成中!

それぞれの世代で
楽しみました。

PART 2

十数種類の料理が並び、なにわ伝統野菜・玉造黒門越瓜の美味しさを再認識しました。



玉造黒門越瓜入りの
シュウマイ
越瓜と夏野菜の
カレー風味ラタトゥーユ
越瓜と海の幸の
スパイシーコンソメジュレ
越瓜のスライスをしき込んだ
タルト2種

日常から減災へ 思いをつなぐ

誰もが等しく、将来の被災地・被災者になり得る日々を生きています。上町台地も例外ではありません。けれど、その日を想像するのは容易ではありません。

日常から非日常を見つめる手がかりの一つに、数々の被災地で培われてきた智慧を丹念に紡いだ1冊のストーリーブック『いのちをまもる智慧を伝える 減災に挑む30の風景』があります。そのところを上町台地で受け止め、その日に思いを馳せます(6)。

もう一つの手がかりが、もしもの場面に身をおいてみることのできる減災ゲーム「クロスロード」です。お寺や神社が並ぶあのまちで、多文化が息づくあのまちで、長屋が残るあのまちで、新しいマンションで、時を重ねたコミュニティで、浮かび上がってくるさまざまな声と動き(7)。

二つの手がかりとネットワークから、地域に根ざす土の人と、地域外から智慧を運ぶ風の人とがともに歩む減災への一歩が生まれます(8)。

(6) ウィンドウ・エキジビション03『いのちをまもる智慧』を伝える 減災に挑む30の風景と上町台地災害史(2007年9月3日～12月28日※2008年1月18日まで展示延長)、(7) ウィンドウ・エキジビション06『減災ゲームで気づく上町台地の暮らしいろいろ』(2008年9月16日～2009年1月23日)、(8) ウィンドウ・エキジビション09『減災キャラバンon上町台地』の道程から(2009年9月7日～2010年1月29日)をもとに構成。なお、文中の肩書・所属はそれぞれの展示・イベント時点のものです。



室戸台風(1934年9月)被災後の復旧が進まず、校庭で授業(大阪城天守閣蔵)

風土特性と災害リスクに 思いを馳せる

水の都大阪は、古くから洪水や津波による被害を受け、火事や地震などの災害にも見舞われてきました。

なかでも、幕末の1854年(安政元)には、大地震が2日のうちに連続して発生し、2度目の地震の直後には山のような大津波が市街に押し寄せました。戸外に避難していた多くの人々が大波にのまれたのです。

周囲より高い位置にある上町台地でも、近年に至るまでに何度も台風の直撃や集中豪雨などの風水害にあい、時には甚大な被害を受けています。また、住宅や商家が密集する大阪市街地は度々大火に見舞われて、その炎は幾度となく台地の上にも燃え広がりました。

こうした災害は決して昔の話ではありません。大阪平野を南北に貫く上町断層帯が地震を引き起こした場合、そのマグネチュードは7.8にもなると推定されています。過去の事例から得るべき「智慧」は、まだ多く残されているのです。



1863年(文久3)の大火による被害状況(右が北、大阪市立中央図書館蔵)

上町台地周辺の災害略年表

BC1万年前後	この頃、上町台地が動いた可能性
686年1月	大蔵省の失火により難波宮全焼
1361年6月	近畿に大地震(四天王寺金堂倒壊)
1562年1月	大坂本願寺大火、寺中2,000軒焼失
1580年8月	石山合戦の和睦後、本願寺は失火により焼失
1615年5月	大坂夏の陣にて、大坂城炎上
1724年3月	大坂大火(妙知焼、市街の2/3、12,205軒が焼失)
1757年9月	安堂寺橋付近より出火し、谷町まで焼く
1783年12月	内平野町で出火(1,500軒焼失)
1789年12月	南本町より出火 (寛政の大火、上町まで57町を焼失)
1852年12月	上町で大火(東横堀川から谷町まで焼失)
1863年11月	大坂大火(新町焼、市街の2割焼失、 玉造稻荷神社も類焼)
1868年1月	大坂城焼亡
1884年1月	5月 淀川大洪水
1884年1月	内本町で大火(曲焼、火は松屋町を越える)
1912年1月	南の大火(難波新地一帯が焼け、 4,576戸焼失、生國魂神社類焼)
1934年9月	室戸台風襲来(四天王寺堂塔や木造校舎 など倒壊、死者1,812名)
1950年9月	ジェーン台風襲来(生國魂神社本殿倒壊)

大阪平野の変遷



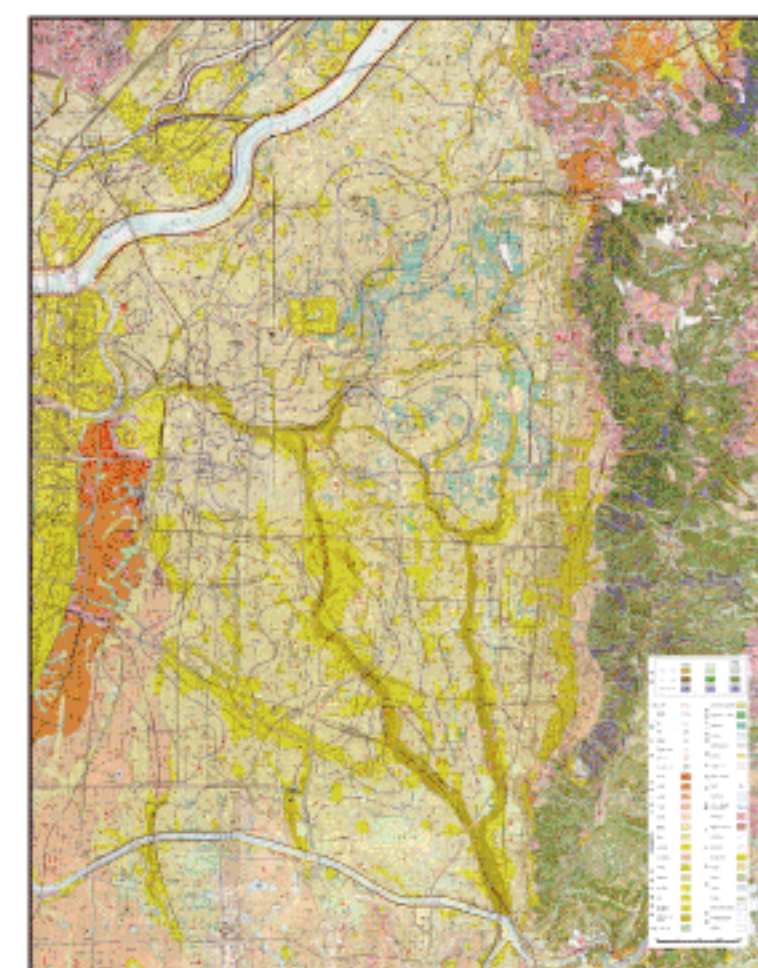
■上町台地の成り立ちと災害リスク

縄文時代から古墳時代までの大阪平野の変遷図を見ると、平野部の大半が陸地化してから間がないことが分かります。また、上町台地とその東側の河内平野を範囲とする土地条件図では、中央部を走る黄色の帯から300年前に付け替えられる前の旧大和川河道が浮かびます。さらに、平野部には自然堤防と呼ばれる微高地が点在し、昔の村はその上に立地していることも見えてきます。

こうした土地の履歴を念頭に置くと、ハザードマップの見方も違ってきます。例えば、比較的地盤がしっかりしていると言われる上町台地上でも、震度分布に細かい強弱があることがうかがえます。また、内水氾濫時の浸水予想図では台地上にもわずかながら浸水が予想される地域があります。その背景には台地を刻む数々の谷、埋め立てられた池やくぼ地など土地の履歴も影響していることが分かってきます。「上町台地だから大丈夫」と過信せず、愛する土地であるからこそ、その変遷を見つめ直し、そこで暮らしていくための覚悟と工夫を怠らないようにすることが肝心ではないでしょうか。



『続大阪平野発達史』(堀山彦太郎・市原実、1985年)の資料ほかをもとに作成

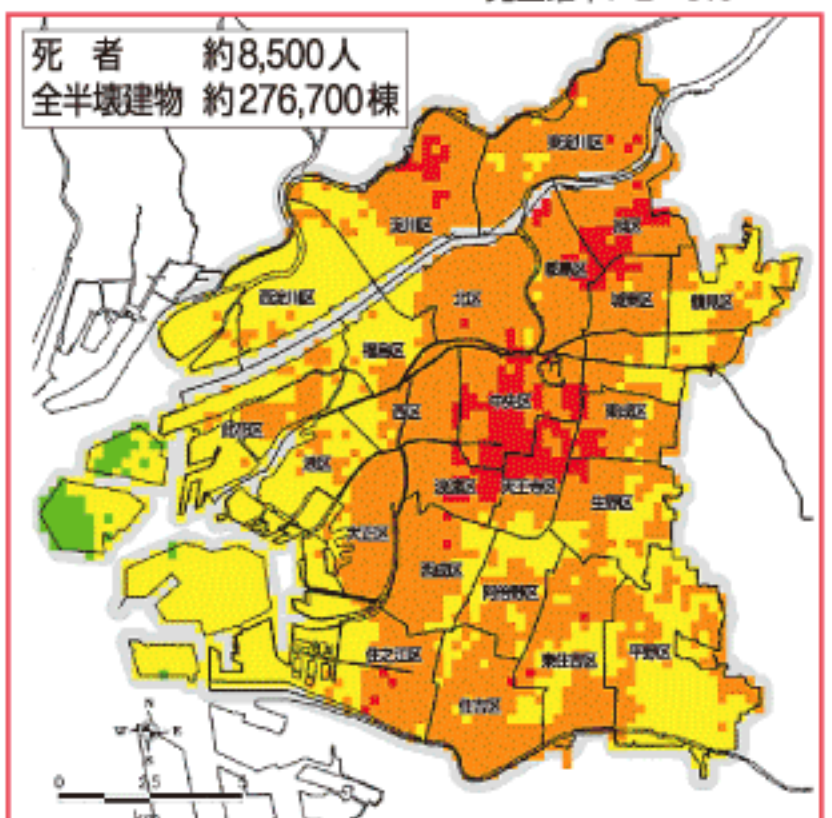


現在の土地条件図(国土地理院)

大阪市に 想定される地震の被害

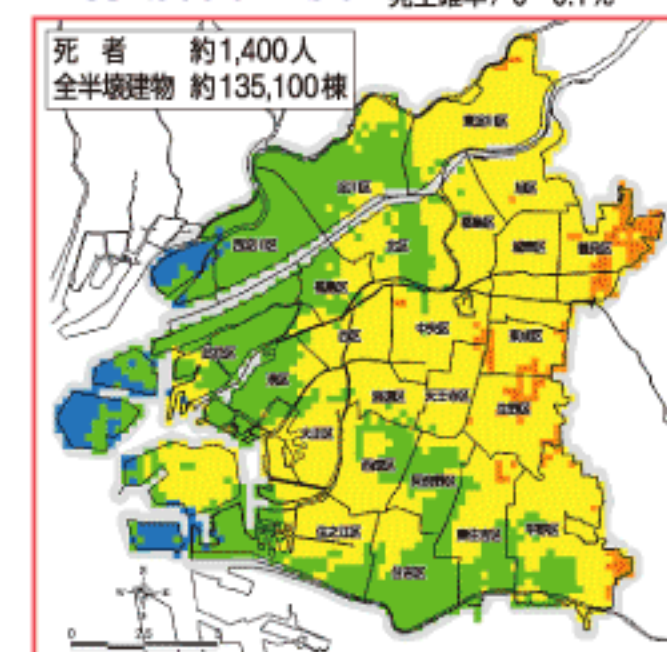


上町断層帯地震

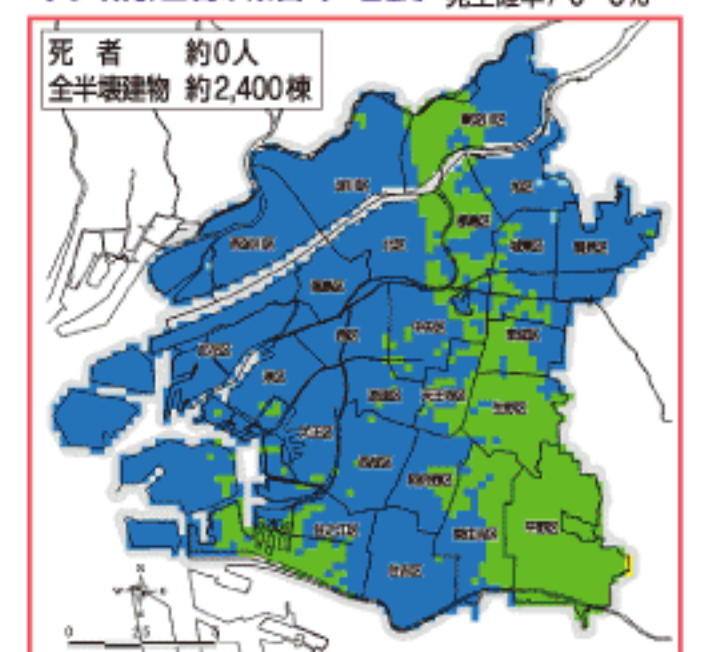


資料図出典: 大阪市ホームページ http://www.city.osaka.lg.jp/shimin_top/category/700-7-3-0-0.html

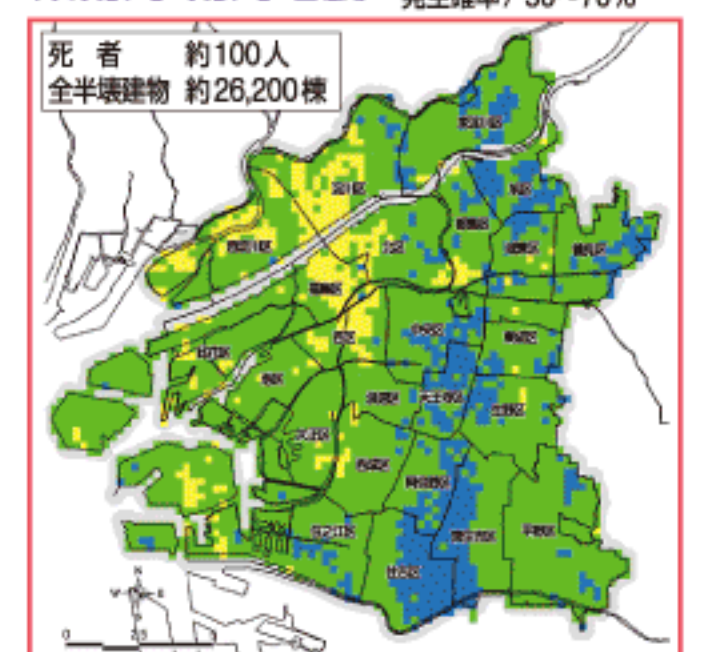
生駒断層帯地震



中央構造線断層帯地震



東南海・南海地震



生駒断層帯地震は生駒山地西側を走る断層帯での地震、中央構造線断層帯地震は和歌山県との県境に横たわる和泉山脈南側の断層帯での地震、東南海・南海地震は紀伊半島・四国沖でのプレート型地震をそれぞれ想定しています。上町断層帯地震では台地西側直下が震源となるため、台地上も赤色やオレンジ色の部分が多くなっています。

ハザード・マップをよく見ると、台地上でもいくつかの色の違いが見られます。その背景には盛土地や平坦化地など人為的な土地改変の歴史も含まれます。

『いのちをまもる智恵 減災に挑む30の風景』 ストーリー

「日本列島を襲う相次ぐ災害から、どうすれば難を逃れることができるのか。また、実際の災害現場で被災者はどのようにしていちや暮らしを守ったのか」

(特活) レスキューストックヤード (RSY) は、大阪大学のコミュニケーションデザイン・センター (CSCD) などとともに、昔から現代まで災害に遭った全国各地の現場から、減災にまつわる30のエピソードを取材し、『いのちをまもる智慧』という冊子に編集しています。

減災に挑む 30 の風景

- | | | |
|----------------|------------------|-------------------|
| 01 伝えられる言葉を学ぶ | 11 そばにあるものを使う | 21 みんなで持ちよる |
| 02 風景に智慧を宿す | 12 地域の特性にあわせる | 22 100年先を想う |
| 03 日頃より苦楽を共にする | 13 自然に逆らわず受け流す | 23 災いと共にある恵みに寄り添う |
| 04 愛される景色を築く | 14 町の顔を守る | 24 故郷の美しさを知る |
| 05 ただそばで耳を傾ける | 15 歴史をたぐる | 25 掌の力を信じる |
| 06 資源を発掘してつなげる | 16 互いに息を合わせる | 26 自分の身は自分で守る |
| 07 様々な目線に立つ | 17 非常時に向けた日常を楽しむ | 27 手をさしのべる |
| 08 覚悟を決めて生きる | 18 学びを地域に活かす | 28 あらゆる方法で防ぐ |
| 09 記録し検証する | 19 暮らしの場をよく知る | 29 設備や情報に頼らない |
| 10 大きなスケールで考える | 20 場所を地域へひらく | 30 ずっと語り継ぐ |



『いのちをまもる智恵 減災に挑む30の風景』(2007年3月30日発行)

監修：「いのちをまもる智恵」制作委員会

発行：(特活)レスキューストックヤード

編集・企画・構成・アートディレクション：花村周寛

編集協力：大阪大学コミュニケーションデザイン・センター 渥美公秀／関 嘉寛／菅磨志保、名古屋大学 宮下太陽

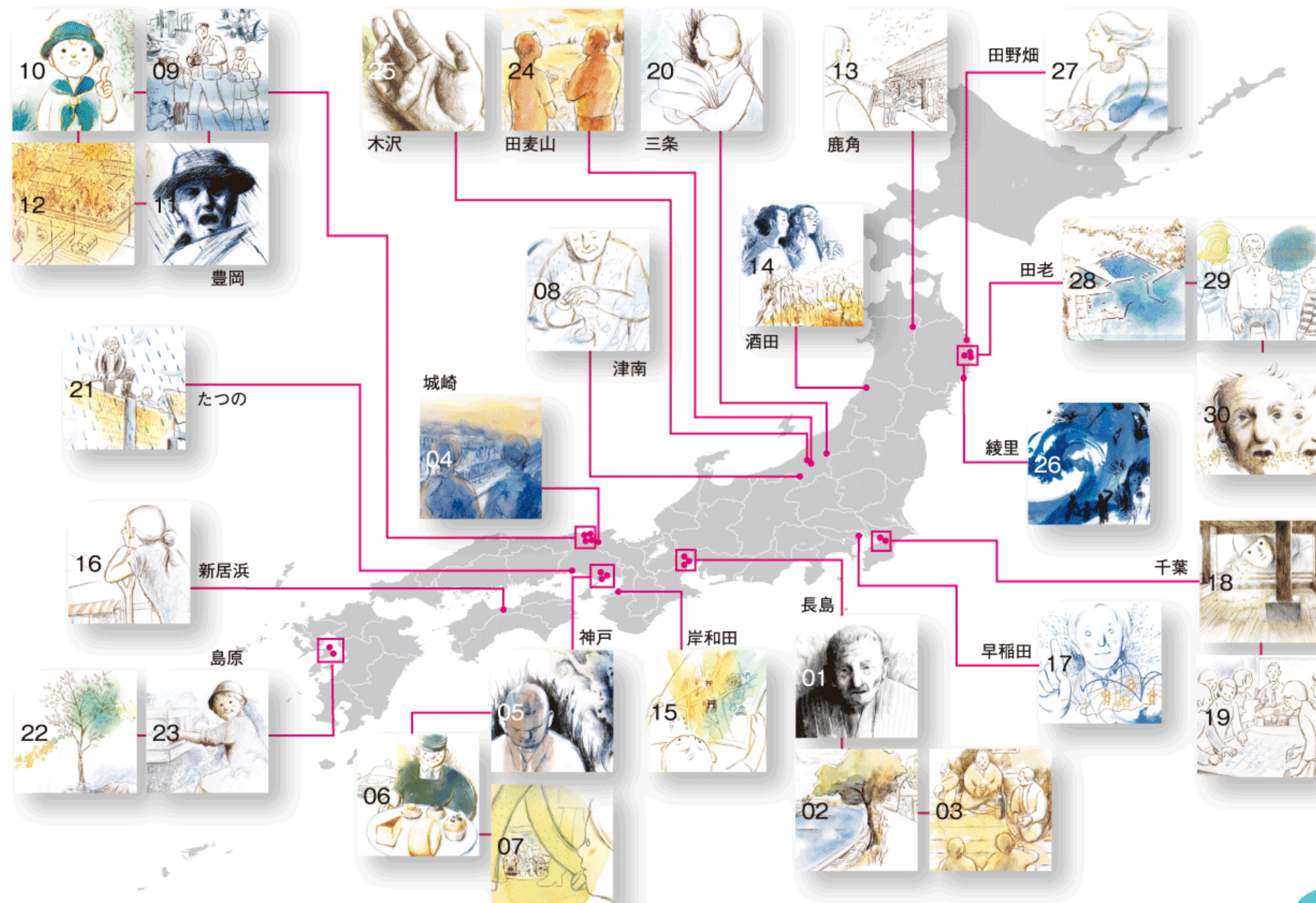
ストーリー・タイトルコピー：花村周寛 イラスト：中村 妙 取材・解説文：吉椿雅道

(特活) レスキューストックヤードのウェブサイトにも、『いのちをまもる智恵』の概要が紹介されています。

<http://www.rsy-nagoya.com/wisdom/>

また、同サイトで、『いのちをまもる智恵』の本を購入することができます。

http://www.rsy-nagoya.com/eccube/html/products/detail.php?product_id=11&PHPSESSID



語られているのは、人がいかに生きるかという“智慧”そのもの

この事業は、日本全国で度重なって起こる災害の中で培われた知恵を多くの方々と共有したいという想いを出発点に始まりました。各地へ出向き人々が語る災害の体験に丹念に耳に傾けて集められた知恵は全部で30にも上りますが、そこで語られていたのは小手先の“技術”でも、すぐに使える“情報”でもなく、まさに人がいかに生きるかという“知恵”そのものです。

生死を分ける局面で獲得された様々な智慧を、次の“いのち”をまもるべく活かすには、1人でも多くの人の手で未来へ紡がれることが大切なことです。しかし調査報告書という形だけで出来事が語られてしまうことで、人々がその時に感じた恐怖や憤りや悩み、愛や喜びや悲しみがどこかにすっぽりと抜け落ちてしまうのではないのでしょうか。「防災」というたった2文字でくられてしまうことで、あまりにもたくさんの物語と温度を持った人の姿が隠れてしまうことがあります。

この『いのちをまもる智慧』では、そんな様々な智慧を「報告書」という形で客観的に眺めるのではなく、もっと人の感情に近い方法、人の温度が抜け落ちないような「物語」で伝えていこうと取り組んでいます。

それぞれの智慧が教えてくれる真意を丁寧に見つめ、その中に潜む普遍的なメッセージを拾い上げながら、ストーリーとイラストで綴りました。そして特定の地域だけでなく、誰もが学ぶべき智慧のタイトルとして表現し、本の最初の物語に「伝えられる言葉を学ぶ」を、最後の物語に「ずっと語り継ぐ」を持ってくることで、過去から紡がれている智慧を未来へと届けていくメッセージを持たせています。

ここに出てくるキャラクターは実話をもとに構成されているものも、完全にフィクションのものもあります。ただ大切なのは物語の中で交わされた会話が「事実」かどうかではなく、その場で人が何を感じて、そこに現れた風景から何を学ぶのかということだと考えています。

今までは情報や技術だけで語られてきた「防災」の2文字。この「災い」という文字と「防ぐ」という文字の間に隠れてしまった風景を描くことで、はじめて「いのちをまもる智慧」として未来へ紡がれていくのではないかと私たちは信じています。

花村周寛

大阪大学コミュニケーションデザイン・センター デザイナー

減災ゲームで その日その時に身を置く

もしも上町断層が動いたら…。何万人という犠牲者の数が語られる一方で、具体的なまちと暮らしの状況を想像することは容易ではありません。

そんなとき、もしもの場面を想像する、一つの入り口を見つけました。それが減災ゲーム「クロスロード」との出会い。そして、上町台地界隈の5つの場所で、まちづくり団体や地域の方々の協力を得て、クロスロードを試してみました。

浮かび上がってくる、さまざまな声は、正解のない問いへのとまどいにはじまり、やがて、個々の暮らしとまちの関係を、災害という断面からリアルに見つめ、受け止め、考える方向へと向かっていきました。

「クロスロード」は、文部科学省の「大都市大震災軽減化特別プロジェクト」の一環として開発されたもので、2004年7月に「神戸編・一般編」が完成。その後、「市民編」ほか別バージョンもつくられています。

※制作・著作：Team Crossroad（網代剛、吉川肇子、矢守克也：50音順）
「神戸編・一般編」「市民編」は京都大学生協ブックセンターで購入できます。
TEL.075-771-7336 <http://www.s-coop.net/rune/bousai/>



減災ゲーム「クロスロード」(CROSSROAD)とは？

「クロスロード」は、災害時の対応をシミュレーションするカードゲーム。

災害への備えは、まず災害を想像することから始まります。災害が起きたとき、自分や家族がどのような状況に置かれ、どんな決断をすることになるでしょうか…。

多数派が得点！



「クロスロード 神戸編・一般編」の設定は、阪神・淡路大震災で対応にあたった神戸市職員の体験がもと。たとえば、「あなたは行政の担当者。人数分が用意できない緊急食料を、それでも配る？」など、どれも難しい判断を迫る問題ばかり。多くの人なら（自分なら）どう決断する？ うーん、決められない、でもどちらかのカードを出します。

では、
選ぶのは
どっち？



Crossroadは分岐点

ゲームは簡単。数人組で、災害時に会おうシナリオの設定に、YESかNOで答えます。その際、YES・NOどちらが多数派になるかを予測してカードを出すのが基本ルール（自分の意見を示すルールのあるときもあります）。

多数派に得点の青い座布団がもらえます。ただし、全員同意のときは、みんなが無得点。さらに、ただ1人の少数意見だった場合は、その人だけが得点し、金座布団が手に入ります。

得点すれば
座布団ゲット！



このゲーム、やってみると、けっこう盛り上がります。なぜ大多数が（自分が）そうすると考えたのかを互いに説明しているうちに、自然と議論が深まっていきます。どの問題にも正しい答えはありません。自分とは異なる価値観があることにも気づかれます。

上町台地界隈5カ所で 「クロスロード」を実施

もしも…の場面で、多くの人はどんな選択を？



comment

「ゲーム」をきっかけにして、減災・防災のことをみんなで考えてみませんか

減災・防災は、自然対人間の対決だと思っていませんか？ もちろん、そのような一面もあります。でも、気象予報の仕組みの整備、堤防の建設や建物の耐震化など、災害に対する備えがある程度できた社会では、減災・防災は、むしろ、人と人との関係づくりと深く関わってきます。たとえば、ふだんのお付き合いのあり方が、いざというとき、瓦礫の下からの救援活動に大きく影響したという話を、よく耳にします。お年寄りや障害をもった方などに対する災害時の支援をどうするのかについて、地元の自治体と地域の人びとの意見が大きく食い違っているようでは、災害時が思いやられます。それに、うちの街では、減災・防災より防犯や環境問題などの方がもっと切実、という意見もあるかもしれません。これらのことは全部、人と人との関わり方の問題です。減災・防災と「ゲーム」が結びつく理由は、この点にあります。「ゲーム」を通じて、また、「ゲーム」をきっかけにして、減災・防災のことを、ふだんからみんなで考えてみませんか。

矢守 克也

京都大学防災研究所巨大災害研究センター准教授

クロスロード in からほり・練



上町台地界隈 減災ゲーム

ドキュメント

2008年7月4日

お屋敷再生施設「練」に、長屋再生グループ・からほり倶楽部メンバーやテナントさん、近くの高校の先生など10名が集まりました。クロスロードの標準キットの中から、無作為に3つの問いを選びました。

問 あなたは、母親

大地震後、小学校に行っている我が子を迎えに行くが、途中で人が生き埋めになっているのを見え。他に人はいない。しかし、我が子も気になる。

まず
目の前の人を
助ける？

結果

助ける
Yes 6 × わが子優先
No 4

A班 yes 3:2 no
B班 yes 3:2 no

「母親」という設定だからNo。これが「父親」だったらYes。自分は父親だけど、「母親なら」と悩んだ末のNoです。

助けるにしても助けられないにしても、腹が据わらないとダメだと思った。

目の前の人を助けられないようでは、自分の子どももきっとだれにも助けてはもらえないはず。

子どもはいないけれど、「自分も母親なら」と思うとすごく悩んだ。

優先順位はやっぱり「目の前の人」になるんじゃないかな。

路地・長屋が残る界隈で 減災を考える機会に



六波羅雅一さん
からほり倶楽部代表理事

減災ゲームの体験機会を古いお屋敷を再生した「練」2階のサロンdeありすで持つことができました。当日は長屋再生に取り組むからほり倶楽部のメンバーだけでなく、テナントの方や近隣の学校の先生など多彩な顔ぶれに集ってもらえました。

ゲームでは回答が半々に分かれたり、1対多数に分かれたり、また同じ答えでも理由が違ったりと顔ぶれ以上に一人ひとりの多様さを感じられました。これが実際に危機的状況のなかでは「多様さ」などと言ってはおれず、即断即決しなければならないので大変です。

減災ゲームは楽しくそうしたことを考えさせてくれる、それもみんな一緒にという機会づくりにとても有効でした。路地と長屋が残る風情ある空堀商店街界隈。そのまちを地域のみなさんとともに未来へ継承していくためにも、減災ゲームを通じてみんなで考える機会を作っていければと思います。

※それぞれの談話は2008年8月時点のものです。

上町台地界隈で、 さまざまな団体が 減災イベントを展開。



NEXT21/U-CoRoと協力関係を持つ人や団体による減災や地域コミュニケーションの活動が、2008年から2009年にかけて上町台地界隈で広がりをみせました。「いのちをまもる智慧」を伝える」や減災ゲーム「クロスロード」に関係するキーパーソンの方たちが重要な役割を果たし、こうした動きから、2009年2月に展開された「減災キャラバン on 上町台地」へとつながっていきました。

防災てらまちトーク

上町断層から「防災」を考える ～減災コミュニティと寺町

主催：三帰会／2008年11月7日／会場：應典院1階研修室（天王寺区下寺町1）
講師：菅 磨志保さん（大阪大学コミュニケーションデザイン・センター特任講師）



下寺町は、上町断層のすぐ近くに数多くの寺院が並ぶ地域。いつ起こっても不思議でない大地震に対し、日頃から自分たちのこととして備えておくことの大切さを再認識しました。



下寺町界限

上町台地は東側より西側の傾斜が急ですが、その西斜面と松屋町筋のあいだにお寺が建ち並ぶのが下寺町。高層化されていないお寺の崩壊しには、緑豊かな斜面緑地を望むこともできますし、檀家以外にも門戸を広げはじめたお寺もあります。そんな界限も、松屋町筋を西へ渡れば黒門市場や日本橋の電気店街、外国人居住者が急増中の密集市街地とも接していますが、松屋町筋が区界でもあることから、通りを隔てた人の往来は少ないようです。

災害時にお寺に 何ができるかを自問



石川貴憲さん
應典院住職補佐



減災ゲームを應典院のスタッフ揃って行いました。私としては、自分の答えが一般大多数の人と同じであると考えていましたが、結果は全くの逆で、自分の意見が少数派であること、理由を説明しても意見の相違の溝はなかなか埋まらないことを実感し、もしこれが実際に災害の混乱のなかであれば、きっとパニックになっていただろうと容易に想像できました。

下寺町には文字通り24ものお寺が並んでおり、災害時には多くの人々が避難してくる可能性も考えられます。その際にお寺が「個」として災害に立ち向かうのではなく、連携と役割分担をもって災害に立ち向かえたらどんなに多くの人の支えになれるであろうかと感じました。また、改めてお寺で働く者として、災害時に救いを求めてやってくる人とどう向き合うのか、ハード面とソフト面の両面から考え、日頃からの準備をしていきたいと思っています。

クロスロード in 下寺町・應典院



上町台地界限 減災ゲーム

ドキュメント

2008年7月30日

松屋町筋と上町台地西崖の間にお寺が建ち並ぶ下寺町の應典院。演劇やアート活動をサポートするスタッフや幼稚園の先生など5名が集まりました。クロスロードの標準キットの中から、無作為に3つの問いを選びました。

問 あなたは、市民

大きな地震のため、避難所(小学校体育館)に避難しなければならない。しかし、家族同然の飼育犬「もも」(ゴールデンレトリバー、メス3歳)がいる。



一緒に
避難所に
連れて行く?

結果

連れて行く
Yes 3 × 置いておく
No 4

お寺が避難所になる場合でも、ペットを連れてくる人への対応は考えておく必要がある。受け入れてもみんなと一緒に寝泊まりというわけにはいかないだろうし。

避難所ではダメと言われるだろうけれど連れて行く。私にも大切なペットがいるので、考えただけでも涙が出てくる。私と同じくらいに思っている人もきっと多いはず。

でもゴールデン・レトリバーの3歳は野に放つにも避難所へ連れて行くにもデカイでえ(笑)。

以前、減災ゲームで同じ問題で考えたことがある。そのときはYesだったけど、今はNo。「ペットはアレルギーや感染症のもとになる」という意見もあるし。

鎖を放して野に放つ(笑)。うちの犬は、何とか生きていけるかも。

クロスロード in 五条界限

上町台地界限 減災ゲーム

ドキュメント

2008年8月9日



天王寺区南部の住宅地・五条界限。将軍地藏尊の地藏盆や五條宮夏祭りなどみんなを支える行事も数多い地域の住民5名が集まりました。クロスロードの標準キットの中から、無作為に3つの問いを選びました。

問 あなたは、30代の夫婦

ようやく手に入れた新築マンション。何度もショールームに通って吟味したインテリアに二人とも大満足。しかし、大地震が起きたら家具が倒れるかもしれない。

格好は悪いが
耐震金具を
家具につける?

結果

つける
Yes 2 × につけない
No 3

デザイン重視で選んだ家具はきっと大事だろうから、地震で壊れないように取り付けると思ったんだけど。

耐震とか免震とか言ってるけど、地震は揺れてみないと分からないよね。

最初は取り付けても、1年も経てばきっと外してしまうよ。震災を経験した人でも、何年も経てば備えがゆるくなる場合も出てくるし。

地震の経験がないか、免震だから揺れないと思っていれば取り付けないだろうね。経験があれば、恐くてデザインどころではないはずやし。



新築マンションだから、免震構造になっていたり、家具も据えつけタイプだったり、丈夫な造りになっているのでは。業者さえしっかりしてれば(笑)。



五条界限

JR環状線内でも人気の住宅地である五条界限。神社の夏祭りや地藏盆を地域で盛り上げるなど、町会やPTA、防災リーダーなど住民の多彩なネットワークが今もまちを支えています。大きい戸建て住宅や低層マンションが目立つ地域ですが、表通りから少し入ると路地や蔵があったり、上町台地の東麓へ流れる谷筋と出会ったりもします。一方、人気の住宅地でもあることから、超高層マンションの建設も進み、人口が急増しています。

地域の仲間と面白くて 良い体験ができた!



富士原純一さん
(有)富士原文信堂代表取締役



お互いに気心も知れ、日頃から地域行事や自主防災訓練などで一緒に行動している「天王寺区赤十字奉仕団地域防災リーダー(五条災害救助青年部)」のベテラン隊員5名で減災ゲームを体験しました。

災害に対する意識も知識も少なからず持ち合わせているという自負もあって、当初は減災ゲームに対しての関心もあり高くはありませんでした。しかし、実際に減災ゲームをはじめてみれば「おや?今までの防災研修とは違うぞ!」と感じたようです。共通の知識を持ち、思考形態も似たもの同士でありながら、減災ゲームでは真っ向から意見が食い違いはじめます。防災意識があるがゆえに深く考えすぎたり、ゲームとして他者の裏を読んでみたりと勝手が違ったようです。

ですが、そこは気心の知れたメンバー同士。ボケありツッコミありとさすが大阪のおっちゃんたち(!?)、和やかに進められました。みんな「面白くて良い経験ができた」やて!

※それぞれの談話は2008年8月時点のものです。

ロジモク減災勉強会 M1

地震の日本史 ～歴史から見える地震・地震から見える歴史

主催: からほり倶楽部/共催: ロジモク研究会、CEL/U-CoRo
2008年11月14日/会場: サロンdeありす(中央区谷町6)
講師: 寒川 旭さん(産業技術総合研究所関西センター招聘研究員)

断層による過去の地震や今後予想される東海・南海地震についての解説など、刺激的な内容に参加者も真剣な面持ち。



ロジモク減災勉強会 M2

秀吉の上町台地改造について ～大阪府庁地区の発掘調査から

主催: からほり倶楽部/共催: ロジモク研究会、CEL/U-CoRo
2008年12月12日/会場: サロンdeありす(中央区谷町6)
講師: 鋤柄俊夫さん(同志社大学文化情報学部文化情報学科准教授)

上町台地100人のチカラ!

減災に挑むレスキューストックヤードの取り組み

主催: 上町台地からまちを考える会
2008年11月18日/会場: 地域交流スペース「結」3階(中央区上町1)
講師: 栗田暢之さん(NPO法人レスキューストックヤード代表理事)



全国の被災地支援や防災・減災活動に取り組むレスキューストックヤードの活動と現状についてお話をうかがいました。

まちあるきイベント

防災てらまちウォーク

主催: 三帰会/2008年11月29日/会場: 天王寺区下寺町界限
ゲスト: 田中保三さん(まち・コミュニケーション顧問)、木下俊文さん(天王寺消防署地域担当司令)、服部隆志さん(アユス関西事務局長)、白鳥孝太さん(シャンティ国際ボランティア会)、上田假奈代さん(詩人)、弘本由香里さん(大阪ガスCEL客員研究員)、下寺町の僧侶たち



防災をテーマに、江戸時代から続く下寺町を歩きました。古の人々の智慧と実践のあとを訪ねるとともに、安全のための資源の特性と地域に開かれた活用のあり方などについて、考える機会となりました。

防災てらまちトーク

阪神淡路大震災14年 追悼のつどい

主催: 三帰会/2009年1月15日/会場: 大蓮寺本堂(天王寺区下寺町1)
ゲスト: 渥美公秀さん(大阪大学コミュニケーションデザイン・センター准教授)



大震災から14年、「待つ・願う・祈る・寄り添う」「一人一人のいのち」に向き合う」をキーワードに、災害救援や復旧・復興支援が進むなか、一番大切な被災者が置き去りにされていないかを問い直しました。



コリアタウン境界

大阪人の衣食を支え、今、韓流ブームでにぎわう鶴橋駅周辺やコリアタウン(御幸通商店街)境界。JF鶴橋駅東側に広がる国際市場は、迷子になる観光客も現れるほどの迷路のような雰囲気人気です。また、大通りや商店街を一步入ると、長屋や文化住宅が所狭しと並んだ細街路が網の目状に走り、小学校や公園などが島のように立地しています。暮らしやすさはニューカマーの外国人にも人気で、さまざまな外国語があちこちから聞こえてきます。

ゲームからはじまり やがて真剣な論議にも

談 宋 悟さん
(特活)コリア NGO センター代表理事

和気あいあいとはじまった減災ゲームでしたが、終盤には「防災・減災」をテーマに、参加者が暮らす生野区の現状と関わって結構真剣な議論になりました。こうした議論につながることで自分が「減災ゲーム」の持つ意味であると実感しました。

地震発生に備えた学校における「形式」だけで役に立たない防災訓練の実態も話題になりました。地域は保護者が関心を持ちやすい視聴覚教材とこうしたゲームを組み合わせるツールを開発し、区PTA協議会を通じて各学校のPTAなどに働きかければ、「防災・減災」を考えるうえでの「入り口」の取り組みとして非常に有効ではないかとの提案もありました。

地域の準備状況を想像すると「イザ!」というときに混乱の極みに達することは必至です。だからこそ、こうした取り組みは工夫次第では一気に広がる可能性を秘めていると感じました。

※それぞれの談話は2008年8月時点のものです。

クロスロード in コリア NGO センター

上町台地境界 減災ゲーム
ドキュメント
2008年7月26日

多文化共生に取り組むコリア NGO センターの会議室で、人権研修や民族学級、地域のまちづくりにも関わるスタッフなど5名が集まりました。クロスロードの標準キットの中から、無作為に3つの問いを選びました。

あなたは、市民

今、大地震の被災地で、救援活動のためのボランティア保険の費用(約700円)を、被災地の自治体が払うのか、ボランティア本人が払うのかでもめている。

自治体負担の意見に賛成する?

結果
賛成 Yes 3 × 反対 No 2

ボランティアは保険料の支払い以外で貢献するのだから、「それくらいは役所が負担して」となるかもね。

すごく迷ってYes。ボランティアは危険な面もあるので保険には加入すべき。

たった700円と思うけれど、「役所が払え!」という人は多いんと違うかな。

実際にボランティアしている人はNoじゃないかな。「700円を出してくれないなら、やらない」なんて人はいるかねえ(笑)。

クロスロード in NEXT21

上町台地境界 減災ゲーム
ドキュメント
2008年7月22日

U-CoRoのある実験集合住宅NEXT21の居住者8世帯から12名が集まりました。日頃のご近所付き合いでも見られない一面が垣間見えたようです。クロスロードの標準キットの中から、無作為に3つの問いを選びました。

あなたは、集落の自主防災組織リーダー

10分前の地震で津波警報発令。ラジオは40分前後で第一波が来襲する危険と報じている。みんなで声を掛け合い、10分あまりで高台への避難を完了した。が、一家族4人だけ姿が見あたらな。

探しに戻る?

結果
Yes 7 × No 3
A班 yes 4 : 3 no
B班 yes 3 : 0 no

リーダーという立場だから動けない。それにリーダーだったら「オレの代わりに、キミ、行ってきてくれへん」って(笑)。

普通はYesかもしれないが、阪神・淡路大震災を経験した身から言えばNo。イザという時は、まず自分と家族の身の安全ってなってしまう。

これが都市部という設定ならNoだけど、海辺の集落だからYesかな。みんな仲が良いはずだし、それならきっと探しに行くだろう。

リーダーが探しに行って死んでしまったら、残されたみんなが困るはず。リーダーなら家族よりも集落のみんなを助けるべきではないか。

リーダーならそういうときに探しに行かないと、あとで避難している人たちのモチベーションも下がるんじゃないかなあ。



NEXT21 境界

長堀通や上町筋から一本入れば静かなNEXT21境界。事業所ビルや戸建て住宅、低層マンションなどが混在するまちは緑も多く、都心では良好な住環境に恵まれています。清水谷や空堀町という地名・町名があるように、上町台地を東麓に下る谷筋がいくつも走っており、南北に移動する際にはアップダウンを感じます。また、まちの各所でマンション建設が進む一方で、老朽化した建物やコイン・パーキングも少し目に付きます。

入居者同士、智恵と 力を合わせる良い体験

談 田中雅人さん
NEXT21 入居者自治会会長

U-CoRoのあるNEXT21の入居者有志で、仕事帰りや家事のあとに三々五々集まって、減災ゲームを体験しました。「減災ゲーム」と言っても最初は「?」という反応でしたが、1問目から「う〜ん」と唸られる問題に、みんなも次第に没入していました。

入居から1年ちょっとしか経っていませんが、普段から入居者同士でつながりを深める機会を工夫してきました。でも、問題への回答やその意見を聞いて「この人はこういう考え方をしはるんや」といった新たな発見がたくさんあり、互いにより知り合うことができました。

小さな集合住宅なので、何か起これば入居者全員で智恵と力を合わせていかなければなりません。そのためには減災ゲームは良いトレーニング機会と感じました。NEXT21ではこれを機に、災害発生時の対応策をみんなで考えていきたいと思っています。

減災Cafe in 上町台地 「クロスロード」と 減災×地域×コミュニケーションを開催

event & workshop

矢守克也さんから、減災ゲーム「クロスロード」の開発に込めたご自身の思いや各地での活用実践例などのお話をうかがいました。上町台地でのゲーム体験者との意見交換もあり、議論が深まりました。

ゲスト: 矢守克也さん(京都大学防災研究所巨大災害研究センター准教授)
共催者コメント: 菅磨志保さん(大阪大学コミュニケーションデザイン・センター特任講師)
開催日: 2008年12月8日 / 会場: NEXT21 ホール
主催: 大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所(CEL)
共催: 大阪大学コミュニケーションデザイン・センター



開発者の矢守克也さんとともに、当日の参加者も減災ゲーム「クロスロード」の問題を体験。
2008.12.8

あと一步に減災ゲームを使う

上町台地には直下型の大地震が来ると言われています。とんでもない規模の被害が出るという計算結果も公表されました。ただ、多くの住民は、防災・減災が必要だとは思いつつ、何をしたらよいのかと戸惑うばかりかもしれません。ところが、上町台地は幸いです。街の生活を愛している人が多いように思えます。街の歴史や文化に関心をもつ人が多くいらっしゃいます。そして、街をおもしろがっている元気な人もたくさんいらっしゃいます。地域への愛着、地域資源、そして、リーダーが確保されているのですから、街ぐるみの防災・減災へはもうあと一步です。この一步はあまり深刻に考えると出てこないかもしれません。むしろ、楽しんで参加できる場がまず必要だと思います。減災ゲームはそんな場を作り、盛り上げてくれるツールとして開発されました。ぜひ、ご近所でやってみてください。ゲームに参加して楽しかった人達は、きっと、職場で、飲み屋で、街角で、知り合いに話して下さると思います。そうすれば、ゲームの中身、つまり防災・減災が少しずつ広がると思います。防災・減災も上町台地らしく展開できればと願っています。

渥美 公秀
大阪大学コミュニケーションデザイン・センター准教授、
上町台地からまちを考える会理事

土の人と風の人
ともに歩む減災への道

2007年の秋・冬のU-CoRoウィンドウ・エキジビション03で、はじめて上町台地に届けられたストーリーブック『いのちをまもる智慧 減災に挑む30の風景』。その発行者(特活)レスキューストックヤードの主催で、2009年2月、1カ月間にわたって『いのちをまもる智慧』の巡回パネル展示とリレー・トークを繰り広げる「減災キャラバン on 上町台地」が行われました。上町台地界隈の寺社や地域の文化複合施設など4つの魅力あふれる会場をめぐりながら、地域の文化やまちづくりのなかから減災を考えていく協働プロジェクトでした。

減災キャラバン on 上町台地

～災害からいのちと暮らしをまもるために

上町台地は戦前の室戸台風以降は幸いにも大きな災害に見舞われることなく過ぎていきます。しかし、最近話題の上町断層帯が直近にあることや、都心居住の地として人口が回復しつつあることなどもあって、防災・減災への関心が芽生えてきています。

そうした地元地域に先達の声を伝え、防災・減災について考える機会をつくるキッカケとして、(特活)レスキューストックヤード(RSY)と大阪大学コミュニケーションデザイン・センター(CSCD)は、上町台地上での「いのちをまもる智慧」のパネル展示を、からほり倶楽部や應典院、高津宮など地元組織とともに行いました。

このパネル展示は、上町台地で巡回展示され、併せて、『リレー・トーク』と題した小さな集まりも開催。展示場所ゆかりのテーマや人が登場し、参加者とともに“今”と“これから”を語り合う機会となりました。



減災キャラバン on 上町台地

● 展示開催期間・場所

2009年

應典院 = 2月1日(日)～7日(土)

萌 = 2月8日(日)～14日(土)

高津宮 = 2月15日(日)～21日(土)

練 = 2月22日(日)～28日(土)

主催：(特活)レスキューストックヤード
共催：大阪大学コミュニケーションデザイン・センター、
應典院、高津宮、からほり倶楽部 他
協力：練、萌、直木三十五記念館、
CEL/U-CoRoプロジェクト・ワーキング 他

comment

減災の風を上町台地に、そして上町台地から

日本が災害大国であることは皆、知っている。しかし、自分が災害に遭遇したかといえ、その圧倒的多数に経験はない。ただし、こうとも言える。今身近に災害がないということは、日一日と災害発生のカウントダウンが始まっているのだと。上町台地も例外ではない。現実突きつけられた被害予測は、さすがの大阪人も「知りまへん」では済まされない。だから、本キャラバンで「減災」の風を吹かせたかったのである。

この間のお付き合いで、この地に根を張る人々の暮らし振りや住まい方に興味を引かれ、また斬新さとの共存を含めたつながりの奥深さやおせっかいが成立するといった「地域コミュニティ力」には驚嘆した。こんなにも面白い街の存在に感謝さえしている。しかし、本当にわかったことは、たった1ヶ月では何もわからないということである。まちづくりのキーワード「若者・ばか者・よそ者」のよそ者として、こうなったら意地でも「減災」のエキスを注入し続けようと思っている。過去の「智慧」を参考に、これからも「知恵」を絞りたい。

栗田暢之

(特活)レスキューストックヤード

リレー・トーク第1回目

僧侶の覚悟

いつか出会う被災死への向き合い方

開催日：2009年2月6日

ゲスト：秋田光彦さん(大蓮寺、應典院住職)
五百井正浩さん(玉龍寺住職)

應典院

<語られた言葉から>

被災地では所属は通用しない

なぜあの日、(死者が)

私でなかったのかという

自問がずっと続いている

寺は日常を非日常につなげる

— アートと一緒に

(秋田光彦さん)

<語られた言葉から>

悲しませてあげる

ことも支援

亡くなられた方への

尊敬と、遺族への配慮

被災者が感謝の念を

持って生きるには

(五百井正浩さん)

第1会場
2月1～7日
應典院

大震災に遭遇した僧侶として、今も震災に向き合いつづけることの意味をともに考え、日常と非日常をつなぐ場所として寺院が果たしている役割などについて語られました。

應典院本堂ホール

必要なのは「話し合う」覚悟、
お互い好き同士になりましょう

呉光現さん 聖公会生野センター総主事

対話の基本は「相手に対する関心」だ。日本語同士でも無関心なら対話は成立しないことを知っている僕たちは、外国人に対してどんな関心を持っているのだろうか？ いざ災害の時、言語・歴史・文化の違うもの同士が対話をするためには日常の「相互関心」が大切。

特に、多数者日本人は、普段から民族、人種的少数者の声を聞くこと、聞いていることが、「異文化社会での減災」に不可欠である。

関心不足の状態では災害が起こってもそこから始まるしかない。阪神・淡路大震災で情報弱者に置かれたベトナム人のコミュニティを思い起こそう。彼ら/彼女らは、1カ所に集まるしかなかった。それがまた地域のなかでは「異様に見えた」という。この偏見と「知らないもの」たちが集まることに対する恐怖心を取り除くには、やっぱり「話し合う」覚悟が必要だ。

相手に関心を持てるなら言語は2番目、3番目だ。これは恋愛と似ているかも？ ある人を好きになることがその人への関心になるのだから…。お互い好き同士になりましょう。

減災は、人と人、人と街との
つながりを深めること

後日談

秋田光彦さん 大蓮寺・應典院住職

「減災」という見方・考え方を知って、災害に対する意識がずいぶん変わったような気がします。万が一の緊急対策というより普段の暮らしについて、丁寧に目を配るようになりました。だから日常の光景のなかにある、お寺という可能性についても自覚ができました。地域における大事な資源であることの発見です。

「僧侶の覚悟」というタイトルは重かったけれど、やはりお坊さんも普段着の姿に気づこうということでしょうか。パネル展でも感じましたが、減災とは人と人、人と街のつながりを深める以外にありません。改めて僧侶として、いのちに寄り添うことの意味を考えさせられました。

私の寺のある下寺町では、減災キャラバンに先立って「防災てらまちウォーク&トーク」を開催、また今年9月にも若手僧侶を対象に減災の研修会が開かれます。伝統の街・寺町にもゆっくりと「いのちを守る智慧」が根付きはじめています。

第2会場
2月8～14日
萌

リレー・トーク第2回目

対話の覚悟

「その日」をともにする他者への向き合い方

開催日：2009年2月13日

ゲスト：呉光現さん(聖公会生野センター総主事)
渥美公秀さん(大阪大学コミュニケーションデザイン・センター准教授)

文化複合施設・萌

<語られた言葉から>

対話とは相手のことに関心をもつこと

共存はしていても、共生はしているか

多文化でなく「他文化」に目を

(呉光現さん)

<語られた言葉から>

本気で対話しようとするなら皮膚感覚

まちの一体感つくるには、気づいた人が与え続ける

それでもがんばってる人を応援する、一緒に行動する

(渥美公秀さん)

異文化間での「その日」に向けた、「対話の積み重ね」や「共存から共生へ向かう関係性づくり」など、取り組むべき課題が浮かび上がってきました。



直木三十五記念館(萌2階)

“その日”を意識し、ともに次の一步を

2007年の秋にU-CoRoで蒔かれた「減災」のタネが上町台地のあちこちで芽吹きました。その芽をつなぎ、新たな芽吹きを促してくれたのが、「よそ者」の栗田さんたちが持ち込んでくれた「減災キャラバン on 上町台地」です。パネルで紹介された個々の地域・組織が文字通り協働し合うことで、取り組みや現状と課題などを互いに共有し合うことができただけでなく、一人ひとりの想いや悩みなども垣間見合うことができました。

人は危機に直面したときほどその内面が浮かび上がると言います。自然災害に遭ったときには知らなかった内面が連携や協働を左右するかもしれません。普段は表れにくい内面が今回のプロジェクトを通じて相互に感じられたと思います。

すでに上町台地では、地域防災リーダーなど住民の方々による防災・減災に向けた取り組みも積み重ねられています。次のステップではそうした動きとも距離を縮めながら、“その日”を互いに意識し合い、ともに考え合える関係をより広げていきたいと思っています。

早川 厚志

まちづくり工房 / 「減災キャラバン on 上町台地」上町サイド幹事

減災カフェ on 上町台地～“その日”が垣間見えませんか？



開催日：2009年3月13日
サロンdeありす(練2階)
巡回パネル展の開催先の方々やリレー・トーク登壇者が一堂に会し、1か月にわたった今回の活動を振り返りながら、地域の特性を踏まえつつ進められるべき、減災活動のこれからについて語り合いました。

いつか来る「その日」に向けた「次」について

後日談

小谷真功さん 高津宮宮司

高津宮でのリレー・トークでは、地域住民との絆を強くすることが災害を乗り越える原動力となることを教えていただき、高津宮の今の運営と符合する点があることに意を強くすることができました。

また、以前より関わってきた高津地区まちづくりの会など地域活性化活動への参加、協力する意義を明確に見出すことができました。都心に位置する高津地区や上町台地にあるマンション等の集合住宅は個々にとっては便利で快適である反面、地域社会との結びつきが希薄になる傾向があります。それ故、神社での祭りや催しで人々が交流できる機会をつくることで、社会に貢献できる重要な役割の一つだと思われます。そして、地元地域を活性化する各種団体と連携を図ることで、より幅のある減災活動になると思いました。

高津宮には昔より自然万物に神を見出してきた証しでもある鎮守の森があり、緑少ない都心にあって癒しの場にもなっています。その森を守り続けることも、いつか来る「その日」に備えることではないかと信じています。



高津宮

高津宮(高津の富亭)

リレー・トーク第3回目
避難所の覚悟
避難してくる被災者への向き合い方

開催日：2009年2月20日
ゲスト：小谷真功さん(高津宮宮司)
田中保三さん(まち・コミュニケーション顧問)

<語られた言葉から>

神社は本来清い心を養えるところ

モノはなくなっても、ヒトがいて復興した

官と民の間の「公」が重要 (田中保三さん)

<語られた言葉から>

神社は社会の共有財産

民のかまどはにぎわいにけり

都会のなかで交流できる場に (小谷真功さん)



震災時の教訓をうかがい、上町断層が動くときに大勢の避難所となるであろう高津宮としての覚悟や具体的な対応について意見が交換されました。

まち歩きトーク
2009年2月15日

減災ストーリーブック
「いのちをまもる智慧」の制作に携わった、
花村周寛さん、吉椿雅道さん
とまち歩き

ノスタルジーだけでは
町は守れない

現状へのシビアな

眼差しと、

旧来の情緒やつながりを

両方満たす方が、

クリエイティブだと思う

(花村周寛さん)



人が「文化」を守るだけではなく、
「文化」が復興の力になっていく

日常をしっかりと生きることが大切 (吉椿雅道さん)

展示風景、リレートーク、まち歩き撮影・コメント編集：関口威人さん

第4会場
2月22～28日
練リレー・トーク第4回目
路地の覚悟
長屋のまちでの“その日”への備え方

開催日：2009年2月27日
ゲスト：六波羅雅一さん(からほり倶楽部代表理事)
白石喜啓さん(前ライフ・ステージ代表取締役、地域住民)
菅磨志保さん(大阪大学コミュニケーションデザイン・センター講師)



お屋敷再生複合施設・練

<語られた言葉から>

防災は事前に組み込んで
おくべきプロセス

(菅磨志保さん)



<語られた言葉から>

まちへの興味で

減災も変わる

(六波羅雅一さん)

このまちのよさ
見つめなおせた

(白石喜啓さん)



長屋のまちで起こりうる被害について考え、現実をしっかり受け止めたうえで、減災の智慧を積み重ね、いかにその実を上げていくかについて語り合いました。

サロンdeありす(練2階)

「その日」に向けて、試される
人のつながりと地域の力

後日談

白石喜啓さん(有)ライフ・ステージ代表取締役

自然災害を未然に防ぐことはむずかしいですが、災害が起こったあとに被害拡大を防ぐことは可能なことだと思います。しかし、そのときこそ地域のつながりや力が試されるのではないのでしょうか。例えば、上町断層が動けば広範囲に被害が起きるため、空堀界限に支援の手が伸びてくるまで時間がかかることでしょう。まずは近所の人間が助け合って、できることをするのが第一になります。

私が暮らしてきた空堀界限では、街並みとともに今も地域のつながりが残っています。しかし、気がつけば近所総出の大掃除など、日頃からのつながりの機会が減っていました。減災キャラバンのリレー・トークではそんな地元の現実に気づかされました。

あのあと、いつの間にか姿を消していた防火用水を近所で再発見しました。用水があれば、住民同士力を合わせて初期消火することも可能になります。「その日」をちょっと意識しながら、日常のなかでご近所付き合いを重ねていくことも減災への道だと再確認しました。



そして1年後、2010年1月26日

減災Cafe in 上町台地

event & workshop

減災キャラバンの一歩から考える、
生活文化としての減災左から、栗田暢之さん、
渥美公秀さん、矢守克也さん

阪神・淡路大震災から15年の歳月が流れていくなかで見てきた、生活文化としての減災の必要性。こうした思いと実践を育みながら全国の被災地をめぐる専門家のみなさんと、上町台地の面々の出会いから生まれた取り組みの一つが「減災キャラバン on 上町台地」。この上町台地に刻まれた小さな一歩をふり振り返り、生活文化としての減災へ、智慧を交わし語り合う、減災Cafeを開催しました。

生活文化としての減災が、今なぜ必要とされているのか。「災害文化と生活防災」・「減災コミュニケーションと災害ボランティア文化」をキーワードに3人のゲストとともに考えました。



ゲスト：矢守克也さん(京都大学防災研究所教授)
渥美公秀さん(大阪大学大学院人間科学研究科准教授)
栗田暢之さん(特活)レスキューストックヤード代表理事)
「減災キャラバン on 上町台地」に参加した方々

開催日：2010年1月26日

会場：大阪ガス実験集合住宅NEXT21ホール

主催：大阪ガス(株)エネルギー文化研究所(CEL)

共催：(特活)レスキューストックヤード、
大阪大学コミュニケーションデザイン・センター

“本”でつながる ネットワーク

本や書棚は人の心を映す鏡にたとえられることがあります。まちを家に見立てて、同じこの時代に、一つの空の下で、上町台地に生き会っているさまざまな人たちが、お気に入りの場所で読みたい本を持ち寄って書棚をつくったとしたら、そこにはどんなつながりの風景が映し出されることでしょう。

「春の日に、上町台地界隈で読みたい本はどんな一冊でしょう?」「その本を持って訪れたい場所はどこでしょう?」そんな問いかけに、U-CoRoプロジェクトを介して縁を持った52名の方々が、とっておきの“本”と“場所”を持ち寄りました。

上町台地で生まれ、育ち、学び、働き、暮らす、一人ひとりの人生の折節、成長の過程に、大切な本との出会いやまちとの交わりがあります。それぞれの“本”でつながる、上町台地の心の地図の向こうに、生き生きと血の通う上町台地がその姿を現します(9)。

(9)ウィンドウ・エキジビション07「春の日 上町台地で読みたい本」(2009年1月26日～5月22日)をもとに構成。なお、文中の肩書・所属はそれぞれの展示・イベント時点のものです。

読みたい本〇〇の数字は、P55のマップ内の
読みたい場所〇〇のポイントを示しています。



天王寺公園

52人の大切な一冊とお気に入りの場所

読みたい場所 大阪城公園の
おもしろ森
中央区大阪城

1 「そっと耳を澄ませば」と
「鳥が教えてくれた空」
三宮麻由子
(集英社文庫)

岡本真澄さん
大阪府職員

■『そっと耳を澄ませば』に収録されている「帰雁の隊」。シベリアに渡り鳥が一斉に飛び立つ、その瞬間を臨場感豊かに描いた文章である。三宮麻由子さんは、目が見えない。後日、そのことを知った。大阪城公園の内濠・外濠には毎年たくさんの渡り鳥がやってくる。おもしろ森や京橋口を少し入った木立の中にあるベンチに腰かけ、音や匂い、皮膚、空間の感覚を研ぎ澄まして、自然の中にしばし身を浸して自分の感受性を試してみる。

読みたい場所 大阪城
中央区大阪城

2 「一夜官女」
司馬遼太郎
(中公文庫)

3 「一夜官女」は、野里住吉神社(西淀川区)の一夜官女祭の人身御供(ひとみごく)伝承をベースにした短編です。設定は関ヶ原戦後の大坂。実際の祭りとは異なる描写も多いのですが、一夜官女が住吉明神の一夜妻として描かれているのは、民俗学的にも面白い解釈です。大阪城もこの物語の舞台ですが、その石垣の上から淀川方面を望むと、主人公たちの逢瀬と別れ、喜び、悲しみの声を、向かい風が運んで来てくれるような気がします。

澤井浩一さん
大阪歴史博物館学芸員

読みたい場所 大阪城天守閣
または
OMMの最上階、ビオール大阪大手前タワー展望室
中央区大阪城 ほか

吉見孝信さん
(株)島町米穀店

3 「古代史の中の姫君たち:(小説)喜田熾」
金谷信之
Web上に掲載
<http://www.k4.dion.ne.jp/~nobu/rime/stahime.htm>

■記紀の崇神天皇の条に出てくる埴安彦の反乱事件を小説の形で描いたもの。ヒロインが女性であり、古代大阪平野は海であり、大和との戦いの中に古代の地景が手にとるが如く表現されている。

読みたい場所 大阪城公園
中央区大阪城

4 「ルピナスさん」
バーバラ・クーニー
(ほるぷ出版)

田村 彩さん
会社員

■ルピナスさんという女性が、世界中を旅行して、海辺の小さな家に住み、おじいさんとの3つめの約束「世の中を美しくする」ための素敵なことを思いつく、という絵本です。都会の真ん中で、絵本を広げて「世の中を美しくする」ことについて考えてみるものいいかな。と思ったのでこの本を選びました。絵も美しく春にぴったりです。

読みたい場所 大阪城公園
大坂城外堀周辺のベンチ 中央区大阪城

5 「真田太平記」
池波正太郎
(新潮文庫)

小谷真功さん
高津宮宮司

■大坂冬の陣・夏の陣で天下に一躍名を馳せ、華々しく散っていった真田幸村。今なお、真田十勇士とともに人気があります。子どもの頃、漫画で夢中になった猿飛佐助を思い浮かべ、手にしたのがこの本です。この時代小説には数々の合戦があり、大坂城の石垣を眼前に読みふけていると戦場の雄叫びや息づかいが聞こえてきそうです。そして、真田一族をはじめ戦国の世の人たちの絶えず「死」と「生」の両方を見つめた生き様に思いを馳せることができます。

読みたい場所 大阪城天守閣を仰ぎ見る
大阪城公園の森の中
中央区大阪城

7 「大阪城公園」
([ある趣向について]の中から)
司馬遼太郎
(中公文庫)

竹村伍郎さん
NPO法人まち・すまいづくり副理事長・
情報誌「うえまち」編集局長

■日頃、上町台地で生活していて、坂を上から見ると、JR大阪城公園駅で下車し、緑の上の天守閣を仰ぎ見たとき、上町台地の先端を意識し、いまさらながら、その存在に畏敬を感じる。さらに駅の改札口の上の陶板に掲げられてあるこの文を読み、上から坂を見るがごとく自分の過去を振り返るのでなく、残り少ない人生を仰ぎ見て行く末におもいはせることができる契機を与えてもらえることに感謝する次第です。「都市の場合、古くからそこにいたことは、少しも自慢にならない。この都市で、どういう志をとげようとするかが、課題なのである。」(文中より)

読みたい場所 大阪城公園の中のベンチ
中央区大阪城

S.Y.さん
中学2年生

9 「森の少年」
M.ドリス
(新潮文庫)

■この本に出てくる少年は、自分の将来に不安を覚えて、一人森へ入り、さまざまな出会いをします。大阪城にも森とはいきませんがたくさんの木々が背を伸ばしていて、都会育ちの私には、少年と同じ心境にさせてくれます。本のなかの描写に出てくる森の木漏れ日なんかも、少し陽の当たるベンチに座っていると十分に気分が味わえます。

読みたい場所 大阪城公園
中央区大阪城

11 「ムーミンのたからもの」
トーベ・ヤンソン
(講談社)

藤原沙樹さん
ゲストハウス&カフェバー由苑

■自分の宝物って何だろう。ムーミンはそれを探す旅に出る。でも旅の先々で見つける宝物は仲間の為のものばかり。自分の宝物が見つからないと悲しむムーミンに母が言います。“あなたの宝物は皆のことを想えるそのこころよ”と。大阪城公園で、母が小さい私に聞かせてくれたたくさんの絵本達。私もたくさんの子供達に同じ場所ですごく大切な物語を聞かせてあげたいな。

読みたい場所 大阪城 梅林 堀の上あたり
または、高津公園、真田山公園
中央区大阪城 ほか

桑原年弘さん
僧侶 建築設計

6 村上春樹の本

■ビールを片手に本を読むときに心地よい場所です。それぞれに梅や桜がきれいです。ただし、花見の人が多いときは、はずすこと。鳩がよってくるので、パンくずを持参すると、お友達になってくれます。

読みたい場所 大阪城公園
中央区大阪城

8 「鳥が教えてくれた空」
三宮麻由子
(NHK出版)

元山裕康さん
トリミニスト

■意識の一部で大阪城公園を飛び交う鳥の声を耳にしながら、木陰のベンチに座り、この本を開きたい。この珠玉のエッセイ集は、部屋の椅子に座して読むより、自然の中で読む方が、素直に心に入ってくるだろうから。

読みたい場所 大阪城公園
中央区大阪城

10 「十五少年漂流記」
ヴェルヌ
(新潮社ほか)

鈴木伸廣さん
神職

■少年時代に初めて自分で買った本を、子どもと一緒に多くの緑の中、読んであげたい。また、自分達も少年時代に友人と大阪城公園で探検ごっこや木登りをしたので、その場所で再度子どもと共に自らも幼少時代に戻りたい。

読みたい場所 大阪城公園
中央区大阪城

12 月刊「大阪人」
(財)大阪都市工学情報センター

読みたい場所 NHK下のカフェ
中央区大手前4丁目

オダギリサトシさん
観光プランナー

■毎号欠かさず読んでいます。歴史などのマニアックな記事だけでなく、文化(特に、お店や、商品)にフォーチャーした切り口が面白い。この本を読むのにベストなスポットがNHKと歴史博物館の間にあるカフェです。天井が高く適度な開放感があり、気持ちよく本が読めます。読みながら気になるところがあれば、すぐ隣にある歴史博物館へ直行。大阪の歴史の気になることも調べることができるってのもお気に入りの理由です!

読みたい場所

難波宮跡公園

中央区法門坂1丁目

13

「アースダイバー」

中沢新一
(講談社)

読みたい場所

アースダイバー

中沢新一
(講談社)

山内美陽子さん

造園プランナー・谷町空庭店主

東京のそれぞれの場所に
潜む地霊。縄文時代の地形
のなごり。文化人類学者の中
沢新一の描く東京の世界はまさに縄文時代へ
とつながる、アースダイビング。
この本は東京をフィールドとしているけれど、
大阪でも、今私たちが見ているものも、今の時
代のものでしかない。大きくひろがるイマジネー
ション。地面を掘ってみたい！縄文ではない
が、大きな歴史が眠る難波宮で、春の日、昼
寝しながらのんびりわくわくの日を過ごしたい。

読みたい場所

難波宮跡公園

宮殿跡の上に座って
中央区法門坂1丁目

15

「ローマ人の物語」

塩野七生
(新潮社)

読みたい場所

難波宮跡公園

宮殿跡の上に座って
中央区法門坂1丁目

田中雅人さん

会社員

「ローマ人の物語」は、ロー
マ帝国の栄華と衰退の物語で
あり、歴代の英雄の勇気と悲
哀を味わうことができる一冊（シリーズ）です。
難波宮の大極殿跡の上に立つと、都心では比
類を見ない広大な草原が眼前に広がります。し
ばらく佇むと、かつての王朝の栄枯盛衰の日々
が思い起こされます。物語の場所は違うけれど、
難波宮跡で「ローマ人の物語」を読めば、カエ
サルやアウレリウスが、まさに目の前に出現して
きそうな気がして、ワクワクしますよ。

読みたい場所

銅座公園周辺

中央区内久宝寺町2丁目

17

司馬遼太郎の本

読みたい場所

銅座公園周辺

中央区内久宝寺町2丁目

岸本智嘉子さん

会社員

歴史が舞台の本を読みながら、自分
がいる土地の昔を想像しながら読める
から。司馬遼太郎は史実と想像がちよ
うどいいバランスで、読んでいて想像
が膨らみそう。
また、銅座公園周辺は緑があり、静かで、
なおかつ一息つけるカフェなどがあって、
本を読むには居心地がよさそう。

読みたい場所

酒肴酒

吉田健一
(光文社文庫)

19

「酒肴酒」

吉田健一
(光文社文庫)

読みたい場所

**玉造大聖堂から空堀町の交差点、
鶴差町へ至る坂道の下り登り**

中央区玉造2丁目・天王寺区空堀町・鶴差町

小辻昌平さん

会社員・直木三十五記念館事務局長

私の特技は歩きながら本
を読めることである。散歩の
似合う町に何か一冊持って
出かけるなら随筆だろう。吉田健一は吉田茂
の息子で英文学者、ダンディを地でいく紳士
である。近代化途上の戦後の日本で吉田健一
はいち早く個人主義を貫き、自分の目標をも
って人生を歩んだ人ではないだろうか。彼の
多くの著作の中でも食べ物の話は他愛なく
罪がないのでもいい。決して現在の変な主義
主張のあるグルメ本でないところがいいのだ。

読みたい場所

難波宮跡公園

中央区法門坂1丁目

14

「アースダイバー」

中沢新一
(講談社)

読みたい場所

アースダイバー

中沢新一
(講談社)

上田假奈代さん

詩人

黄色い装丁のこの詩集はひなたが
似合う。草のにおい、そよ風にまじっ
て、こどもの声や犬の鳴き声がする。
出勤する人もいれば、家に帰る人、た
だそこにいる人、いろんな人がいて、
この時間が尊いと思えるから。そんな
とき「みみをすます」。

読みたい場所

難波宮跡公園

宮殿跡の上に座って
中央区法門坂1丁目

16

「100万回生きたねこ」

佐野洋子
(講談社)

読みたい場所

難波宮跡公園

宮殿跡の上に座って
中央区法門坂1丁目

山瀬真太郎さん親子

会社員

100万回生きた猫が最後に生き返らなかつたのは、土に埋めなかったからかな。かわい
そうだな。（子どもの感想）
子どものころに親に読んでもらっていた本を、
私が子どもに読ませる番になり、あらためて
読んでみると、本の内容を理解していなかったことに気がつきました。
いま5歳の子どもの、この内容を理解する日はいつになるのかな、という
思いと、私がそうであったように、子どももこの主人公の猫のように大事な
人に出会うのを楽しみにしたい、という思いから近所の中でも、歴史を感じ
る難波宮跡を読みたい場所を選びました。（父の感想）

読みたい場所

**難波宮跡公園または
玉造稲荷神社**

中央区玉造2丁目

18

「なにわ大阪の伝統野菜」

なにわ特産物食文化研究会
(農文協)

読みたい場所

**難波宮跡公園または
玉造稲荷神社**

中央区玉造2丁目

馬庭 達さん

会社員

2007年より京都から上本町に引越してきました。
周りの方々の勧めもあり、2008年からベラン
ダで野菜の栽培に挑戦。玉造稲荷神社様から
種を分けていただいて挑戦した、玉造黒門越瓜
の発芽、収穫の際の感動は、今まで体験したことがないものでした。
そのほかナス・トマト・ピーマン・キュウリ等は成功し、今は天王寺蕪・大
根・白菜・玉葱のお世話に励んでおります。有期限でこの界限に住ませ
ていただく予定ですが、上町台地を満喫したく、春の日に次に挑戦する
野菜を考えながら「日向ぼっこ」、そんな気持ちです。

読みたい場所

玉造公園

その南側にある石段に座って
中央区玉造2丁目

20

「20世紀少年」(全22巻)

浦沢直樹
(小学館ビッグコミックス)

読みたい場所

玉造公園

その南側にある石段に座って
中央区玉造2丁目

長谷川寧子さん

玉造黒門越瓜出陣代表

昨年(2008年)から仲の良い友だちと一緒に
はまって、全巻アツと言う間に読み切りま
した。次から次へと謎が深まるストーリ
ーはジェット・コースターのように一気に読め
ます。仕事などで疲れたときに、秘密基地
を作って遊んだ子どもの頃を思い出しながら、
近くの馴染みの公園で春の陽射しを
浴びながら、ほっこりと読んでみたいです。

読みたい場所

結

まちづくりの会で集まった廃茶店
ミックスジュースを飲みながら
中央区上町1丁目

21

「きょうの猫村さん」

1〜3巻
ほしよりこ
(マガジンハウス)

読みたい場所

結

まちづくりの会で集まった廃茶店
ミックスジュースを飲みながら
中央区上町1丁目

塩田洋子さん

教員

主人公の「猫村ねこ」が持つほのぼの
としたキャラクターとにかく癒されます。
また、家政婦が猫という非現実的な設定
にもかかわらず、妙にしくりくるのが不
思議です。鉛筆で描いた下書きのような
絵もかわいくて気に入っています。読む
たびに猫村さんの得意料理「ネコムライ
ス」がおいしそうで、食べてみたくなります。

読みたい場所

サロndeアリス

緑側でお茶を飲みながら
中央区谷町6丁目

23

「大阪新・長屋暮らしの
すずめ」

桐爪紳也 編
(創元社)

読みたい場所

サロndeアリス

緑側でお茶を飲みながら
中央区谷町6丁目

酒向八智代さん

町家再生複合施設「燈」内
「スタンド」店主

私の好きな場所は空堀です。空堀と
言えば「長屋」なので、この本を選びま
した。サロndeアリスの縁側は、ホッ
と落ち着ける場所です。いかにも「空
堀」という空間で「空堀」について書か
れている本を読むなんて、とても贅
沢な時間の過ごし方だなと思います。

読みたい場所

直木三十五記念館

畳の上で寝そべて
中央区谷町6丁目

25

「黄門廻国記」

直木三十五
(有朋文庫)

読みたい場所

直木三十五記念館

畳の上で寝そべて
中央区谷町6丁目

北川 央さん

大阪城天守閣研究副主幹

推理小説が大好きな私が、小学5年
のときに初めて買った文庫本が春陽文
庫の「三角館の恐怖」(江戸川乱歩著)。
ちょうどその頃歴史も好きになり、司馬
遼太郎の作品などを読むようになりました。
そんな春陽文庫と歴史(時代)小説の流れの結節点で出会ったのが
「黄門廻国記」で、当時は著者の直木が大阪の人であることも、「直木賞」
にその名を残す人であることも知らずに読みましたが、今度は直木ゆかり
の空堀で、ゆくりと「場」の雰囲気に取りながら読んでみたいですね。

読みたい場所

直木三十五記念館

畳の上で寝そべて
中央区谷町6丁目

27

歴史群像シリーズ
「城と城下町」2
「大坂・大阪」

渡辺武 監修 (学研)

読みたい場所

直木三十五記念館

畳の上で寝そべて
中央区谷町6丁目

岡田孝輔さん

館主・丸与商店店主

戦前から建っている
店の奥の間(畳の上)
中央区谷町6丁目

つい最近、本屋で見つ
けた本ですが、昔の写真や古
地図がいっぱい載っていて、
大阪はもとより空堀あたりの歴史も振り返る
ことができます。あんまり本は読まんのやけれど、
こういう冊子は肩も凝らずに楽しく読めます。
読む場所は、もちろん自分の家でもあったお
店が一番ええかな。戦前から建っている店
ですが修築して居心地がまた良くなって、畳の
上でゴロゴロしながら近所の歴史に思いを馳
せるのがええなあ。

読みたい場所

「練」と「結」の喫茶店

中央区谷町6丁目、上町1丁目

22

「一瞬の風になれ」

1〜3巻
佐藤多佳子
(講談社)

読みたい場所

「練」と「結」の喫茶店

中央区谷町6丁目、上町1丁目

菅 磨志保さん

大阪大学コミュニケーション
デザイン・センター 特任講師

長屋を再生された2つの空間は、
とても落ち着けるので、読書といわず、
時間ができたら一人でふらりと訪れ、
過ごしたい場所です(実は、私は上町
1年生ですので、読書スペースとして
使えるスポットをあまり知りません。今
回、皆さんから素敵な場所を教えてい
ただけることを楽しみにしています)。

読みたい場所

空堀界限

中央区谷町6丁目

24

「はじめてのおつかい」

(こどものとも傑作集(58))
筒井頼子・林明子 文
(福音館書店)

読みたい場所

空堀界限

中央区谷町6丁目

岡本泰子さん

大阪市立中央図書館司書

5歳になったみいちゃんは、ママから頼まれた
赤ちゃんの牛乳を買いに、はじめてのおつかい
に出かけます。かけだして、すぐにこけてしま
った坂の道。みちばたで気持ちよさそうに寝てい
るねこ。みいちゃんの忘れたおつりをもって、追
いかけてきてくれたお店のおばさん。すべてが、やさしい色あいの絵本です。
みいちゃんを見守っている、どことなくつかしい町なみが、空堀の界限の
雰囲気と重なります。
春の一日、空堀のあたりをゆくりと散歩してみませんか？
坂の道で、牛乳を大事にかかえたみいちゃんと、すれちがうかもしれませんね。

読みたい場所

桃園公園

中央区谷町6丁目

26

「アルケミスト
夢を旅した少年」

パウロ・コエーリョ
(地湧社/角川文庫)

読みたい場所

桃園公園

中央区谷町6丁目

関川 華さん

京都大学大学院工学研究科
都市環境工学専攻博士課程

人生の岐路における
意思決定の仕方を物語を
通して教えてくれる一冊
です。難点は、文章が哲学的?で、読む
たびに考えさせられます。視界に広がる光
景によっても違うものが見えてくる、不思議
な文章です。時間によって入れかわり立ち
かわり、登場人物が現れる桃園公園は、
この本の楽しみを最大限に膨らませてくれ
る場所だと思いました。

読みたい場所

空堀商店街

中央区谷町6丁目

28

「大阪学」

大谷晃一
(新潮社)

読みたい場所

空堀商店街

中央区谷町6丁目

徳力修司さん

自営業

「大阪学」では、大阪人
(とくに「浪速人」)の機微
について繊細に描かれて
いて、生まれも育ちも「浪速」の私にとって、
共感、苦笑する部分が多く、おもしろい。
空堀商店街には、戦前から商いを続ける
商店主が多く、「浪速」の香りを色濃く残
しており、本をポケットに忍ばせ、その
方々と会話をしむのもいいかも。世間
で認知されている「大阪商人」とは一味違
います。

読みたい場所

大阪城から清水谷を通り空堀商店街まで歩きながら、惣の木柵前や直木三十五記念館の中で

大阪城～中央区瓦屋町1丁目

読みたい場所

「城塞」司馬遼太郎（新潮文庫）

城塞

読みたい場所

六波羅雅一さん

六波羅真建築研究室 代表
からほり倶楽部 代表理事

■「城塞」のなかでは、大坂冬の陣から夏の陣の間の春には、真田幸村が敵である親族たちと出会っており、仮の平和を前にした人間像がうかがえる。著者である司馬遼太郎氏は大阪在住の直木賞作家でもあり、「城塞」はその舞台に空堀も出てくる歴史小説である。400年後のその場所で、400年前の人々に思いを馳せてみたい。

読みたい場所

「つづり方兄妹」野上丹治・今井弓子（理緒社）

31

読みたい場所

白石喜啓さん

自営業

■寝屋川のほうで暮らしていた貧しい三人兄妹が、作文コンクールなどに応募しながら、つらい日常の中にも楽しみを見出し、懸命に生きていくというストーリーでした。みんな貧しくとも元気に暮らしていた時代に重なる本でしたが、世相が暗くなってきた今、読み返してみれば新たな発見がきっとありそうです。通っていた小学校跡の公園の、子どもの頃からあるクスノキの側で、もう一度読んでみたいですね。

読みたい場所

空清町公園の木の上

天王寺区上本町3丁目

読みたい場所

「犬と私の10の約束」サイトウ アカリ（毎日新聞社）

33

読みたい場所

T.Y.さん

小学6年生

■犬が大好きで、映画を見て大変感動し、興味を持ったので本を買い、何度も読みました。小さい頃からよく遊んでいる空清町公園の木の上で読んだら、とても気持ちがいよだらうなあと思いました。

読みたい場所

詩集「祈り」山尾三省（野草社）

35

読みたい場所

旧真田山陸軍墓地

天王寺区玉造本町

読みたい場所

秋田光彦さん

大通寺・應典院 住職

■春とくれば、桜。桜とくれば、死者。叱られるかもしれませんが、私には春の桜は死者からの呼びかけ声のように聞こえます。「祈り」は山尾の遺詩集ですが、迫った死を想いつつ、一方で呼吸しつづける生の確かさを痛切に感じます。上町台地は死者の国。この場所は、その冷厳なる事実を都市の地表にあらわしています。

読みたい場所

book&cafe LOW

中央区瓦屋町1丁目

読みたい場所

「不思議の国のアリス」ルイス・キャロル（岩波書店ほか）

30

読みたい場所

奥野素子さん

book & cafe LOW

■空堀のまちの古い民家の2階に、隠れ家のような小さなカフェ“LOW”があります。不思議の国に迷い込んだアリスのように、扉を開けると…。窓辺にはアリスの国のフィギアたち！春のうららかな陽が差す部屋で“不思議の国のアリス”を読みながらタイムスリップの旅に。5月7日はアリスのモデルとなった実在の少女アリス・リデルの誕生日です。遠い日のアリスに思いを馳せて、本のページをめくるのも素敵！

読みたい場所

「谷川俊太郎詩集 いまほくに（時と歩こう）」谷川俊太郎（理緒社）

32

読みたい場所

空堀 桃谷公園のベンチ

中央区上本町西2丁目

読みたい場所

渡辺尚見さん

からほりまちアートスタッフ

■もう一度読みたい本って何だろうと考えました。そこで浮かんできたのがこの詩集です。いい詩は何度読んでも飽きないし、この本は、表紙や時折出てくる挿絵がきれいなので。春なので、外で読書がしたかったので公園を選びました。ばかばか陽気の中で、まちの音を感じながら、詩のことばをひとつずつたどっていくことができたらいいなと思いました。

読みたい場所

空清町にある自分の家

天王寺区空清町

読みたい場所

「日本の歴史」小和田哲男監修（成美堂出版）

34

読みたい場所

山田将太郎さん

小学4年生

■僕は大阪城の近くで生まれ育ちました。今、小学校の社会科の授業で歴史を習っています。歴史上の人物に興味があり、昔、この近くで起きた出来事を、自分の部屋で誰にも邪魔されず、昔を想像しながら読んでみたいです。

読みたい場所

「図説大阪府の歴史」津田秀夫編（河出書房新社）

36

読みたい場所

真田山公園界限

天王寺区玉造本町・真田山町

読みたい場所

角田昭弘さん

清西振興町会会長

■大阪にもワニがいた、から始まり、千里ニュータウンの大プロジェクトまで、大阪について詳しく書かれているが、私の本箱に何故あるのかははっきりしない。以前よりゆっくり読んでみたいと思っていた。真田山公園界限は、私が子どもの頃、毎日学校が終われば野球をしたり、友達と遊んだ場所であり、真田幸村が作った(?)大阪城への抜け穴(?)らしきものがあり、のんびりできるなつかしい場所である。

読みたい場所

真田山公園

天王寺区真田山町

読みたい場所

「きいろいのぼ ちょうちん」五味太郎（徳義社）

37

読みたい場所

木村 薫さん

大阪市立真田山幼稚園 園長

■春の日に…といえば、黄色い蝶が飛んでくしかけ絵本が頭に浮かびました。真田山公園の春は、桜やたんぽぽが咲きます。そこへ、蝶も飛んできます。でも、絵本の中の黄色い蝶は、あれ？あれ！と、ページをめくるたびに、意外な展開に。子どもさんのいる方は、春の陽ざしの中で「なんで?」「どうなってんの?」と一緒に不思議がり、楽しめます。大人でも、なるほどなあ、こういうことになってるのか…とページとページのつながりに感心させられます。春の陽のように明るい気持ちになれる絵本です。

読みたい場所

「鑊絵放浪記」(こてえほうろうき) 藤田洋三（石蔵社）

39

読みたい場所

高津神社境内

中央区高津1丁目

読みたい場所

酒井一光さん

大阪歴史博物館学芸員

■鑊絵(こてえ)とは、左官が鑊を用いて壁や天井にレリーフ状の絵を描いたもの。誰も見向きもしなかった職人の密かな腕自慢を丹念に追跡し、光をあてたのが大分の藤田洋三さんである。野にひっそりと咲いたような鑊絵は、大阪にはないと思いついていたが、ここ上町台地には静かに息づいているかもしれない。本書に大阪の例は載っていないが、いつしか藤田さんと高津神社や下寺町を歩き、左官職人の活躍した上町台地に光をあててみたい。

読みたい場所

いくたまさん

西側芝生のベンチあたりで 天王寺区生玉町

読みたい場所

「春琴抄」谷崎潤一郎（新潮文庫）

41

読みたい場所

中村文隆さん

生國魂神社・神主

■春の日と上町台地というフレーズから、自然と「春琴抄」が頭に浮かんだ。作品冒頭の“生國魂神社のある高台…”にある盲目の女三味線師“春琴”とその弟子“佐助”の墓前から谷崎文学のひとつの頂点としての本作が始まる。そもそも東京生まれ東京育ちの谷崎は西欧的なスタイルを指向したが、関東大震災を機に関西に移り住み、次第に純日本的な言葉を用いた美しい文体を確立する。ぜひ、リアルな場所(いくたまさん)で春風に吹かれながら、春琴と佐助の深い愛を見届けてください。

読みたい場所

「三国志」吉川英治作品 ほか

43

読みたい場所

シェラトン都ホテル

最上階スイートルーム 天王寺区上本町6丁目

読みたい場所

森 茂樹さん

天王寺区保健福祉センター 担当係長

■映画「レッドクリフ」が公開され、以前から一度は読んでみたいと思いながらも長すぎてなかなか挑戦できていない「三国志」を、誰にも邪魔されことなく、じっくりと時間をかけて読む事ができたらなあと思いました。で、誰にも邪魔されことなくゆっくりと時間を過ごせるのはホテルの部屋かな。上町台地でホテルと言えば「シェラトン都ホテル」。いっそのこと、最上階のスイートルームで、窓から上町台地の景色を眺めながら、中国の壮大な戦国絵巻に夢をはせるのもいいかと…もちろん、どちらも実現はなかなか難しいと思いますが…

読みたい場所

高津神社

境内と公園 中央区高津1丁目

読みたい場所

「アルケミスト 夢を旅した少年」パワロ・コエーリョ（角川文庫・地球社）

40

読みたい場所

宮崎昌久さん

養貝小売商

■物心ついた頃、巷では月刊漫画雑誌という、厚紙をくりぬいて自動車やロボットを作ったり、本誌に掲載されている漫画の続編が別冊小本としてオマケになっているような雑誌が流行していました。「少年」、「少年画報」、「はくら」、「漫画王」、「冒險王」などでした。こういう雑誌は古本屋に行っても置いてなくて……。友達同士で交換して読みあさっていた半世紀前のあの頃にタイムスリップして、今ほど殺伐としていない世間に戻りたいなあ。

読みたい場所

「アルケミスト 夢を旅した少年」パワロ・コエーリョ（角川文庫・地球社）

40

読みたい場所

東高津公園のベンチ

天王寺区東高津町

読みたい場所

小田由布子さん

教師

■この本は少年が旅をしながら自分の人生について考えていくものです。人を信じる自分、人に裏切られ疑う心を持ってしまう自分、人を好きになる自分など様々な自分を発見していきます。そして、旅の途中に出てくる様々な選択肢について、一つ一つ解決していくうちに自分の生き方を見出していくという人生本です。いつも通勤時にこの公園の近くを通りますが、晴れているときは特に広々とした公園に子どもたちの無邪気な声や鳥の声が心地よく響きます。この素敵な空間で午後のひと時をゆっくり過ごしたいです。

読みたい場所

應典院2F気づきの広場

天王寺区下寺町1丁目

読みたい場所

「やさしさの精神病理」大平健（岩波新書）

42

読みたい場所

山口洋典さん

浄土宗應典院主幹・
應典院寺町倶楽部事務局長・
上町台地からまちを考える会事務局長

■学生時代、職員の方に紹介いただいた本です。阪神・淡路大震災のボランティア活動が一段落し、季節は秋に向かっていた頃と思います。「なぜ人と関わっていくと相手を傷つけてしまうんだろう」と悩んでいたで、本文中の「やさしくないやさしさ」などの言葉で、自分自身を見つめ直したことをよく覚えています。ボランティア元年の出版ですが、他者との関係に悩む方は墓場を見下ろすお寺のロビーにて物静かに読みふけてはどうでしょう。

読みたい場所

「海の日曜日」今江祥智作 宇野亜喜良 絵（実業之友社）

44

読みたい場所

上汐町公園

上の段のベンチがすり鉢状の滑り台の上 天王寺区上汐4丁目

読みたい場所

中越慈子さん

夕陽丘ストリート界限の住人

■中学の頃、興味を持っていた宇野亜喜良さん挿絵の本を図書室で見つけ、手に取りました。それがこの本との出会い。そして著者の今江祥智さんの大阪弁口調の文体にのめり込んでしまいました。それがきっかけで児童文学や絵本に興味を持つようになった「始まりの本」というわけです。読書の場所は「海の日曜日」の感じにあったノスタルジックでのんびりしたところということで、古いままあまり変わっていない場所を選びました。この公園は、中学の頃のデート・コース、子育ての公園デビューの場でもあり、春は満開の桜の下で読書も楽しめます。

春の日 上町台地で 読みたい本と 読みたい場所マップ

春の上町台地 あの人の「本」とお散歩&トーク



詩人の上田假奈代さんとともに空堀界隈まち歩き
お気に入りの本を手に、
おすすめの場所を歩き、
それぞれの人の心の風景をたどりました。

2009.4.25



上町台地一帯は、古くから歴史・文化に彩られたところ。そして、生き生きとした自然にも恵まれています。春の一日、あなたもお気に入りの一冊を手に、上町台地のとっておきの場所に出かけてみませんか。



- 読みたい本 00 の読みたい場所 00
- 書店等 ●古書店・古本市
 - ブックカフェ等
 - ライブラリー・出版社・文学団体



子どもの頃遊んだ 急傾斜の階段の上 46 「車輪の下」ヘルマン・ヘッセ (新潮文庫ほか)



富士原純一さん
筑富士原文信堂 代表取締役

■私が高校生だった頃、男の自分のなかに少女のような純真さを感じていた。そのときに手にした一冊の文庫本。名作リストのなかに必ず登場する「車輪の下」だった。それまで読んできた児童文学とはまったく違う世界を体感し、純真な心のなかにせつなさをこの小説から感じたものだ。ここは子どものときによく遊んだ場所で、この急な階段には恐怖とすごいなあと感心した記憶がある。子どもの心のなかに純真さを持っていたあの頃である。

「ふたつの故郷 津軽の星・空州の風」朴才燦 (藤原書店) 48 韓茶cafe 「流れる千年」生野区桃谷4丁目



宋 悟さん
(韓国)コリアNGOセンター 代表理事



■本書は「在日」2世の女性として自らの歩んできた人生を振り返りながら、日常の些細な事柄や季節の移ろいを繊細で流麗な筆致で描いた随筆だ。またフェミニスト・カウンセラーとして、数々の人間関係の修羅場を聴き続けてきた著者の内に秘めた自由への「激しさ」が、時折溢れ出す。「流れる千年」のお洒落なカウンターに座り、本格的な韓国伝統茶を味わいながら本書を読めば、時空を越えた異文化の深さを実感できるだろう。

天王寺蕪の発祥地 四天王寺界隈 50 「なにわ大阪の伝統野菜」なにわ特産物食文化研究会 (農文協)



森下正博さん
なにわ伝統野菜応援団員

■昔から、大阪は食い道楽の街として栄えてきましたが、その人々の食を支えた、野菜の名産地が大阪市内に点在し、そのうちで天王寺蕪は四天王寺の界隈から南にかけての畑場が発祥の地でありました。現在では、住宅が建ち並び、畑など想像できないわけですが、明治の終わり頃までは、十分農地があり、蕪、大根や綿の栽培が盛んでありました。大阪にかかわるその他22種類の野菜の歴史や特徴なども読み知ることができます。

「兄弟のやまばと」(小川未明童話集より) 小川未明 (新潮文庫) 52 天王寺公園 天王寺区茶臼山町



市川久雄さん
天王寺動物公園事務所 担当係長



■公園にはたくさんのハトがいます。彼らは都会のハトです。物語のやまばとの兄弟は、ある日都会のハトに出会い、都会ではハトは人間に守られ人間によっておいしいエサを貰っていると兄弟に話します。彼らは、母親から人間はハトを見ると鉄砲を撃つこわい生き物と教えられていたので、びっくりします。そして、母親に内緒で都会に行きます。半月ほど経ったある日、兄弟のハトは、傷を負い、疲れ果て帰ってきました。都会で何があったのでしょうか? ...公園のハトの中にもこのように都会のハトに誘われて来たハトもいるのではないのでしょうか?

読みたい場所 大阪国際交流センター 45 「日本文学は世界のかけ橋」ドナルド・キーン (ちねば出版)



坂本峰徳さん
四天王寺一書院住職

■大阪国際交流センターは私が子どもの頃、大阪外国語大学であった。親戚が学生向けの下宿をしていたこともあり、エキセントリックな学生たちや外国人留学生は身近な存在で、幼いなりに少なからぬ刺激を受けた。跡地が国際交流の場となり、過日の思い出と重なるのは出来すぎの感もある。お勧めの書は、米国人であるドナルド・キーン先生の中国は杭州大学での講演録を中国人の王勇先生が編纂し、日本で出版したという何とも回くどい本である。しかし、大変読みやすく門外漢にも分かりやすい名著となっているところが、私の交流センターに抱く感情と重なる。

「安吾新日本地理」坂口安吾 (ちくま文庫・河出文庫ほか) 47 御幸森天神宮 生野区桃谷3丁目



鄭 甲寿さん
ワンコリアフェスティバル実行委員長



■大学生の頃、私のルーツである朝鮮と私が住んでいる日本との古代の結びつきを、驚くべき洞察力和率直さで描いていることに感動しました。私が生まれ育った旧「猪飼野」に位置する御幸森天神宮にも、この一帯が百済から先進文明を持って渡来した人々によって開拓されたことが揭示されています。静かな境内で古代の朝・日関係に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

読みたい場所 愛染堂勝鬘院 49 「伯林——ハハ八年」海渡英祐 (講談社文庫)



山岡武明さん
愛染堂・住職

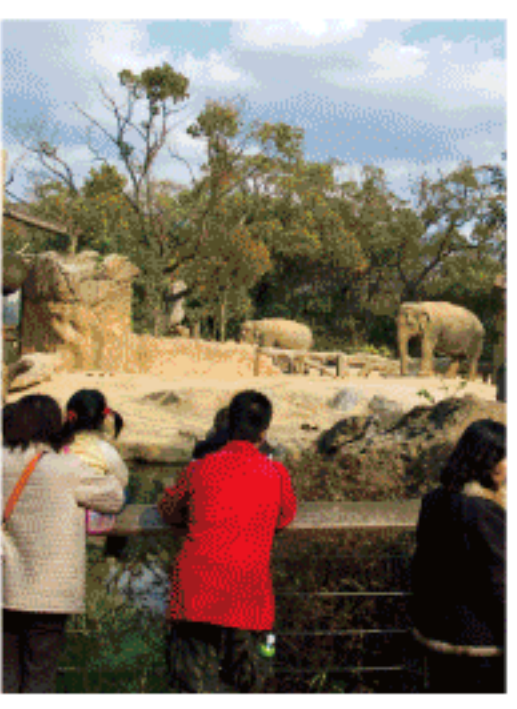
■「私が女子高生の頃に読んだ本が出てきたの。読んでみる?」と差し出された1冊です。日本文学史に必ず出てくる森鴎外とドイツのビスマルク首相を中心とした有名人物たちを登場させている推理小説で、壮大な内容でした。

広々とした境内で、しかも重要文化財の多宝塔を眺め、歴史に思いを馳せながら読むのは、とても清々しい気分です。読後の満足感も倍増です。

「動物園にできること」川端裕人 (文春文庫) 51 天王寺動物園 天王寺区茶臼山町



高見一利さん
大阪市天王寺動物園 担当係長 (獣医師)



■野生動物の絶滅が危ぶまれる時流の中で、開園からまもなく100年になろうかという歴史を持ちつつ新しい考え方を取り入れて野生動物との共存を訴える動物園の中で、そんな動物園の取り組みを紹介する本を読めば、テレビや絵本の中の登場人物でしかなかった野生動物が身近なものになるでしょう。

《わたしたちの情報》発信拠点の未来

高 田 光 雄 京都大学大学院工学研究科教授

都心の街角にある小さな情報発信拠点U-CoRo。居住実験を続けている実験集合住宅NEXT21の1階に位置し、情報により都市居住を支援するとともに、いえとまちをつなぐ役割を果たしてきた。ここで発信されている情報は、既存の媒体では得難いローカルでユニークな情報ばかりである。設定された多様な展示テーマは、どちらかというと普遍的である。だからこそ、都市に住む異なる価値観の人々の心をどこかでとらえてきたのである。一方、展示物は全てこのまちのオリジナル。しかも、それぞれのテーマに関わるまちの人々がいつも参加して、〈わたしの情報〉を《わたしたちの情報》に組み直しているのではないか。普遍的なテーマなのにこんなに身近な情報であふれているのがうれしい。楽しんで作られた情報は見ているのも楽しい。こんな情報発信拠点を、継続できる仕組みを考えて、もっとあちこちに作りたい。そして、いつか、それらがつながっていくことを期待したい。

NEXT21/U-CoRo ウィンドウ・エキジビション 01～09 協力者等一覧

● NEXT21/U-CoRo ウィンドウ・エキジビション 01 「上町台地まつり絵巻」 (2007.2.5～4.28)

主催：大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所(CEL)
企画：U-CoRoプロジェクト・ワーキング
協力：愛染堂勝鬨院、猪飼野保存会、生國魂神社、上町台地からまちを考える会、大阪城天守閣、大阪歴史博物館、からほり倶楽部、高津宮、五條宮奉賛会、(特活)コリアNGOセンター、四天王寺、将軍地蔵尊保存会、玉造稻荷神社、天王寺区役所、なにわ人形芝居フェスティバル事務局、西代官山クラブ、(有)富士原文信堂、堀越神社、そのほかのみなさま(50音順)

● NEXT21/U-CoRo ウィンドウ・エキジビション 02 「上町台地 子どもと遊び いま・むかし」 (2007.5.14～8.31)

主催：大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所(CEL)
企画：U-CoRoプロジェクト・ワーキング
協力：青山富男さん、岡田孝輔さん、白石喜啓さん、服部多嘉男さん、松本和子さん、森茂樹さん、山田浩史さん、吉田光子さんほか「遊びと遊び場聞き取り調査」にご協力いただきました上町台地の住民のみなさま、上町台地からまちを考える会、越中屋「夕陽丘ストリート」、大阪市、大阪市天王寺動物園、大阪府立中之島図書館、太田順一さん、からほり倶楽部、からほりまちアート実行委員会、杉浦貞さん、玉造稻荷神社、西代官山クラブ、(有)富士原文信堂、そのほかのみなさま(順不同)

● NEXT21/U-CoRo ウィンドウ・エキジビション 03 「『いのちをまもる智慧』を伝える 減災に挑む30の風景と上町台地災害史」 (2007.9.3～12.28 [2008.1.18まで延長])

主催：大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所(CEL)
共催：大阪大学コミュニケーションデザイン・センター(CSCD)
監修：「いのちをまもる智慧」制作委員会(事務局：(特活)レスキューストックヤード)
企画：U-CoRoプロジェクト・ワーキング
協力：上町台地からまちを考える会、應典院、大阪城天守閣、大阪市立中央図書館、からほり倶楽部、喫茶上町1961、高津宮、惣(クーデリー・カフェ、books&cafe LOW)、玉造稻荷神社、直木三十五記念館、(有)富士原文信堂、練、そのほかのみなさま(50音順)

● NEXT21/U-CoRo ウィンドウ・エキジビション 04 「緑と鳥の回廊、上町台地」 (2008.1.21～5.9 [5.16まで延長])

主催：大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所(CEL)
共催：日本野鳥の会大阪支部
企画：U-CoRoプロジェクト・ワーキング
協力：上町台地からまちを考える会、江木剛吉さん、大阪市、からほり倶楽部、酒向八智代さん、佐々木勇さん、鈴木伸廣さん、西代官山クラブ、宮崎昌久さん、元山裕康さん、吉見孝信さん、そのほかのみなさま(50音順)

● NEXT21/U-CoRo ウィンドウ・エキジビション 05 「上町台地となにわ伝統野菜物語」 (2008.5.19～8.29 [9.12まで延長])

主催：大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所(CEL)
企画：U-CoRoプロジェクト・ワーキング
協力：味原幼稚園、上町台地からまちを考える会、大阪市農業センター、大阪城天守閣、追手門学院大手前中・高校、應典院、岡本真澄さん、小田切栄子さん、谷町空庭、からほり倶楽部、高津高校、五条小学校、真田山幼稚園、清水谷高校、惣、空畑クラブ、玉造稻荷神社、玉造黒門越瓜出隊、chana、浪花漬四天王寺・西むら、西代官山クラブ、NEXT21入居者自治会、(有)富士原文信堂、萌、松本皓市さん、森下正博さん、結、レストランRiRe、練、そのほかのみなさま(50音順)

● NEXT21/U-CoRo ウィンドウ・エキジビション 06 「減災ゲームで気づく 上町台地の暮らしいろいろ」 (2008.9.16～2009.1.23)

主催：大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所(CEL)
共催：大阪大学コミュニケーションデザイン・センター(CSCD)
企画：U-CoRoプロジェクト・ワーキング
協力：上町台地からまちを考える会、大阪城天守閣、應典院、からほり倶楽部、(特活)コリアNGOセンター、サロンdeありす/(特活)和文化伝承協会、NEXT21入居者自治会、(有)富士原文信堂、船木伸江さん、(特活)プラス・アーツ、まち・コミュニケーション、矢守克也さん、そのほかのみなさま(50音順)

● NEXT21/U-CoRo ウィンドウ・エキジビション 07 「春の日 上町台地で読みたい本」 (2009.1.26～5.22)

主催：大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所(CEL)
企画：U-CoRoプロジェクト・ワーキング
協力：岡本真澄さん、澤井浩一さん、吉見孝信さん、田村 彩さん、小谷真功さん、桑原年弘さん、竹村伍郎さん、元山裕康さん、S.Y.さん、鈴木伸廣さん、藤原沙樹さん、オダギリサトシさん、山内美陽子さん、上田假奈代さん、田中雅人さん、山瀬真太郎さん親子、岸本智嘉子さん、馬庭 達さん、小辻昌平さん、長谷川寧子さん、塩田洋子さん、菅 磨志保さん、酒向八智代さん、岡本泰子さん、北川 央さん、関川 華さん、岡田孝輔さん、徳力修司さん、六波羅雅一さん、奥野素子さん、白石喜啓さん、渡辺尚見さん、T.Y.さん、山田将太郎さん、秋田光彦さん、角田昭弘さん、木村 薫さん、宮崎昌久さん、酒井一光さん、小田由布子さん、中村文隆さん、山口洋典さん、森 茂樹さん、中越慈子さん、坂本峰徳さん、富士原純一さん、鄭 甲寿さん、宋 悟さん、山岡武明さん、森下正博さん、高見一利さん、市川久雄さん(順不同)

● NEXT21/U-CoRo ウィンドウ・エキジビション 08 「上町台地 玉造黒門越瓜栽培 “ツルつなぎ” プロジェクト」 (2009.5.25～9.4)

主催：大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所(CEL)
共催：玉造稻荷神社、玉造黒門越瓜出隊
企画：U-CoRoプロジェクト・ワーキング
協力：味原幼稚園、惣、應典院、大阪教育大学付属天王寺中学校、大阪市農業センター、岡本真澄さん、高津高校、高齢者外出介助の会、cocoroom、真田山幼稚園、清水谷高校、生活ケアの「ぶらっと」、聖公会生野センター、惣、玉造小学校、デイサービスセンター陽だまり、デイセンターいるか空堀・蔵、谷町空庭/空畑クラブ、藤次寺、NANIWAN TAPAS + BAR as、NEXT21入居者自治会、フラットb、萌、丸善ボタンビル、南大江小学校、森下正博さん、結、レストランRiRe、練、そのほかのみなさま(50音順)

● NEXT21/U-CoRo ウィンドウ・エキジビション 09 「“ 減災キャラバン on 上町台地 ” の道程から」 (2009.9.7～2010.1.29)

主催：大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所(CEL)
共催：(特活)レスキューストックヤード(RSY)
大阪大学コミュニケーションデザイン・センター(CSCD)
企画：U-CoRoプロジェクト・ワーキング
協力：五百井正浩さん、上町台地からまちを考える会、應典院、呉光現さん、からほり倶楽部、高津宮、(特活)コリアNGOセンター、白石喜啓さん、直木三十五記念館、萌、まち・コミュニケーション、吉椿雅道さん、練、ロジモク研究会、そのほかのみなさま(50音順)



大阪ガス実験集合住宅 NEXT21 内 1 階北 U-CoRo ウィンドウ
(大阪市天王寺区清水谷町 6-16)
※NEXT21 の 3 階以上は住戸ですので立ち入りはご遠慮ください。

U-CoRo ホームページ
<http://www.osakagas.co.jp/company/efforts/cel/ucoro/index.html>

上町台地 つながりのスタイルブック

●この冊子及び U-CoRo に関するお問合せ先
TEL：06-6205-3518 (担当：CEL 弘本)

発行日 2010 年 3 月 26 日
企 画 U-CoRo プロジェクト・ワーキング
編 集 橋本 護／早川厚志／弘本由香里 デザイン 小倉昌美／北浦千尋
発 行 大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所(CEL)
大阪市中央区平野町 4-1-2
印 刷 (株)国際印刷出版研究所

なにわ伝統野菜 ミニレシピ集



“ツルつなぎ”プロジェクト
参加者から寄せられたレシピです。

たまつくりくろもんしろろう
玉造黒門越瓜

たまつくりくろもんしろろう 玉造黒門越瓜の浅漬け

材料 玉造黒門越瓜、レモン、浅漬けの素

- ① 越瓜を縦半分に切り割り、中の種をとります。
- ② 越瓜を薄くスライスしてからポリ袋に入れ、そこへ浅漬けの素とイチヨウ切りしたレモンを加えます。
- ③ ポリ袋ごと手もみしたあと、中の空気を抜くように袋を絞って、封をします。
- ④ 冷蔵庫の中で30分ほど漬け置けば、シャキシャキとしたサラダ感覚の浅漬けができあがり。



レシピ提供：小田切栄子さん

とてもあまい南瓜なので、デザートにしてみました！ こつまなんさん 勝間南瓜の簡単プリン

材料 勝間南瓜、グラニュー糖、卵、牛乳、生クリーム

- ① 勝間南瓜を切って種をとり(後で使います)、皮をむき、適当な大きさに切って茹でます。
- ② 南瓜と茹で汁を少し入れてミキサーにかけます。
- ③ グラニュー糖と卵と牛乳、生クリームを順番に入れて混ぜ合わせます(南瓜があまりいので、グラニュー糖は控えめに)。
- ④ ③をカップに分け入れ、中火で20分程度蒸します。
- ⑤ 蒸したプリンの上に素揚げした南瓜の種をのせ、冷やしてできあがり。

※勝間南瓜はひじょうにかたいので、切るのが無理な方は、そのまま電子レンジで2分くらい(600wの場合)加熱するとやわらかくなります。



レシピ提供：六波羅雅一さん

しろろう サラダ感覚の越瓜と大葉の浅漬け

材料 玉造黒門越瓜 300g、大葉 5〜6枚、酢 大さじ1〜2、昆布茶 小さじ1/2〜1、塩 小さじ1/2

- ① 越瓜は、皮をむかずに縦半分になり、スプーンで種を取って、厚さ3〜5mmの半月切りにします。大葉は細切りにしておきます。
- ② ①の越瓜に軽く塩をふってしばらく置き、しんなりしたら塩を洗い流し、水分を拭き取ります。
- ③ ピニール袋に越瓜と大葉、酢、昆布茶、塩を入れて全体を混ぜ合わせ、軽くもみこんで冷蔵庫で30分置くとできあがり。

※食べる前にお好みですりゴマや七味唐辛子を加えても美味しくいただけます。



レシピ提供：森田町子さん

夏に冷たい越瓜料理は最高です！

たまつくりくろもんしろろう 玉造黒門越瓜あんかけ冷製

材料 玉造黒門越瓜、昆布、かつおぶし、酒、しょうゆ、みりん、砂糖、塩、片栗粉、ショウガ汁、むきエビ(イカ・貝柱・魚など)

- ① 越瓜は皮をむいて、乱切りにし、大きめの鍋で越瓜を茹で、鍋から取り出します。
- ② ①の茹で汁を冷ましてから、昆布を入れて2時間ほど浸しておきます。
- ③ ②のかつおぶしを加えて、だしをとります。
- ④ ③に越瓜とむきエビやイカ、貝柱、あるいは魚(タイ)などを入れて煮て、酒、しょうゆ、みりん、砂糖、塩などで味を調えます。火を小さくし、水溶き片栗粉でとろみをつけます。
- ⑤ ④を冷やしたものを器に盛り、ショウガ汁をかけます。

※あんかけの水溶き片栗粉の比率は1:1。片栗粉を20分以上水に浸し、なじませると上手くいきます。

レシピ提供：六波羅雅一さん



こつまなんさん 勝間南瓜のクリームグラタン

材料 勝間南瓜 中1個、玉ネギ1個、ベーコン200g、人参小1本、ショートスタ200g、オリーブオイル適量、小麦粉大さじ4〜5、バター50g、牛乳500cc、顆粒コンソメ小さじ1、塩・コショウ 適量、ピザ用チーズ 適量

- ① 勝間南瓜は切って種をとり、スライスして耐熱皿に並べます。
- ② ショートパスタは茹でて、オリーブオイルをかけて置いておきます。
- ③ 玉ネギはスライス、人参はせん切り、ベーコンは適当な大きさにカットし、軽く炒めます。
- ④ 耐熱ボウルに小麦粉とバターを入れ、電子レンジ(600W)で1分加熱し、よくかき混ぜます。
- ⑤ ④のボウルに少しずつ牛乳を入れて、泡だて器で混ぜ、ダマがでないようにのばしていきます。牛乳を全部入れたら、再度電子レンジで1分加熱します。
- ⑥ ⑤のソースをよくかき混ぜ、コンソメと塩・コショウで味付けします。できあがったソースを南瓜の上にかけ、チーズをのせ、210℃のオーブンで20〜25分焼きます。

レシピ提供：長谷川寧子さん



たまつくりくろもんしろろう 玉造黒門越瓜サンド

材料 玉造黒門越瓜、食パン(サンドイッチ用)、サニーレタス、ハム、マヨネーズ、ブラックペッパー、バター

- ① 玉造黒門越瓜の皮をむいて切り、種をとって、薄くスライスします。
- ② 食パンにバターをぬります。
- ③ ②のパンにサニーレタス、ハムと①の越瓜をのせます。
- ④ ③にマヨネーズとブラックペッパーをかけます。



レシピ提供：長谷川寧子さん

たまつくりくろもんしろろう 玉造黒門越瓜のヨーグルト漬け

材料 玉造黒門越瓜、塩、プレーンヨーグルト、味噌

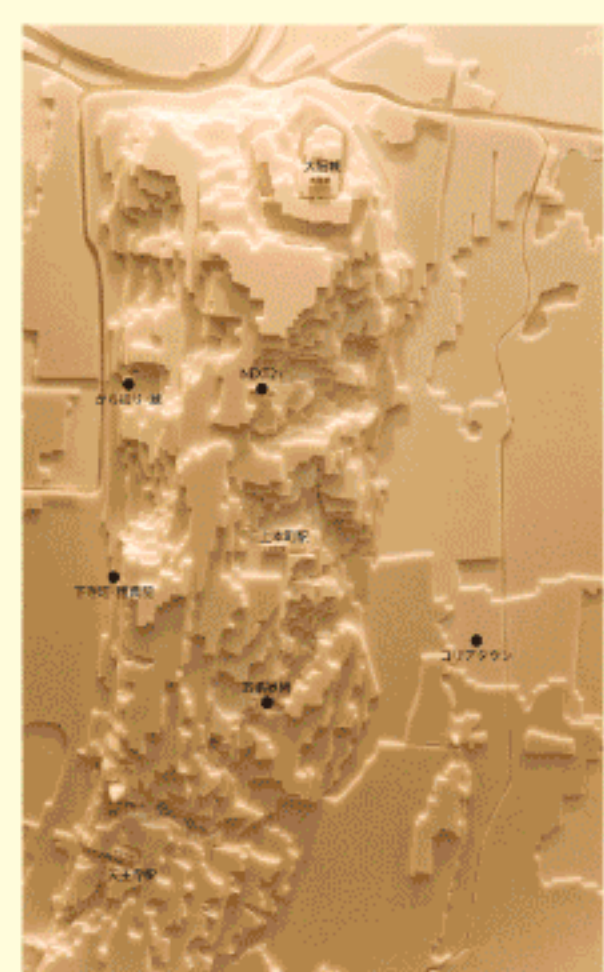
- ① プレーンヨーグルトと味噌を3:1の割合で混ぜ合わせ、漬け床を作ります。
- ② 越瓜を洗って、皮をむかずに縦半分になり、スプーンで種を取ります。越瓜が大きいようなら、さらに半分に切って、漬けやすい大きさにします。
- ③ ②の越瓜に軽く塩をふって30分ほど置きます(夏は冷蔵庫で)。瓜の表面に水分が浮いてくるので、キッチンペーパーなどで拭き取ります。
- ④ ピニール袋に漬け床と③の越瓜を入れ、ピニール袋の中でもみこみます。
- ⑤ ピニール袋ごと冷蔵庫に入れて1〜2日置きます。早く取り出せば浅漬けに、2〜3日置けば、しっかりと漬かります。

レシピ提供：森田町子さん

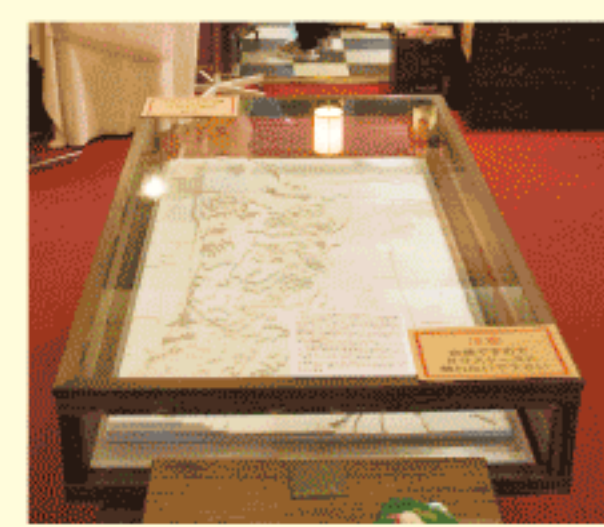


上町台地等高線図

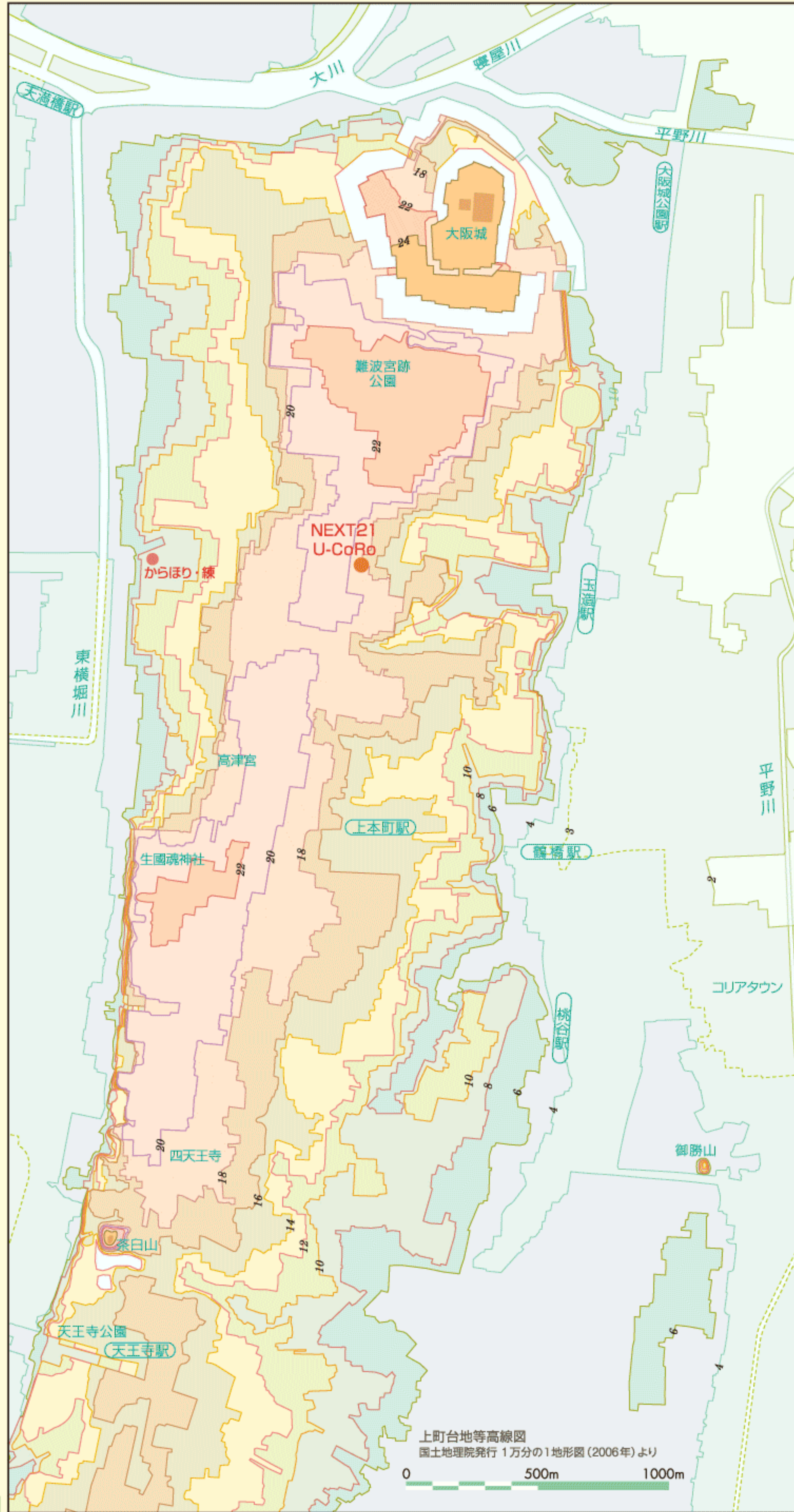
左の図は、上町台地境界の2mごとの等高線をトレースしたもので、大阪城から天王寺付近までの範囲ですが、台地を取り巻く谷の位置や微妙な起伏の状況などを、この地図から読み取ることが出来ます。
この図を拡大したものを台紙にして、等高線ごとにボードを切り出し貼り合わせることで、下の写真のような上町台地の立体模型が出来ます。



写真は、NEXT21/U-CoRo ウィンドウ・エキジビション03「減災ゲームできつく 上町台地の暮らしいろいろ」で展示した上町台地の立体模型(土地の特徴や起伏がよく分かるように、垂直方向に15倍の比率にしています)。



現在、この上町台地の立体模型は、地域学習素材としての活用などを目的として、からほりにある「練」の1階に恒久的に設置されています。お立ち寄りの際には、ぜひご覧ください。



CHAUSU
YAMA



U-CoRo ゆーころ
上町台地コミュニケーション・ルーム
Uemachidaichi Communication Room